Panasonic

ビデオカセットレコーダー
BSチューナー内蔵
Hi-Fi（ステレオ）タイプ

品番 NV-SB800W

取扱説明書

S-VHS　VIDEO Plus+

このたびはパナソニックビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。

保証書別添付　上手に使って上手に節電

ごあいさつ

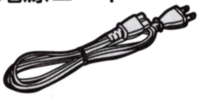
このたびは、パナソニックビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

このビデオは、私たち技術とサービス部門で、より多くの方々にお使いいただける商品を目標に開発いたしました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、末永くお楽しみください。

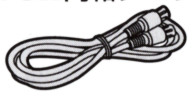
付属品

**本機には、以下の付属品があります。
お確かめください。**

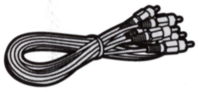
■電源コード



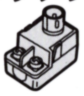
■75Ω同軸ケーブル



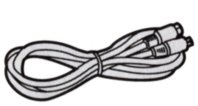
■映像・音声コード



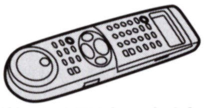
■アンテナプラグ



■S映像コード



■ワイヤレスリモコン



単3形電池2本付

ビデオヘッドのよごれについて

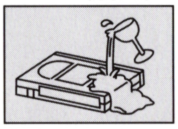
ビデオヘッドがよごれてくると、映像がきれいに録画・再生されなくなってきます。（下記の状態）

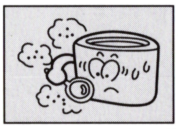
正常な映像

よごれの初期状態

よごれの末期状態

このようなときは、クリーニングカセットNV-TCLV（別売）をご使用ください。





ビデオヘッドのよごれの主な原因は、テープの傷やよごれ、温度や湿度の高い場所での使用、空気中のほこりなどです。特に、ジュースなどをこぼしてよごしたテープやいたみのひどいテープは、ヘッドのよごれだけでなく、故障の原因となりますので使用しないでください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意……………………4
使用上のお願い……………………8
各部の名前…………………………10

再生・録画

電源／使用テープ………………14
●電源「入／切」のしかた……………14
●使用テープについて…………………14
カセットの出し入れ………………15
●カセットの入れかた…………………15
●カセットの出しかた…………………15
早送り／巻戻し……………………16
●早送り／巻戻し………………………16
●スピードサーチ（**100倍速サーチ**）……16
ビデオを見るための準備………17
●映像・音声コードで接続している場合…17
●RFアダプターで接続している場合……17
再生…………………………………18
●ビデオを見る…………………………18
●3次元ワイドボタンについて…………18
●快速早見………………………………19
●いろいろな再生………………………20
・早送り／巻戻し／静止画／スロー再生…20
・コマ送り／コマ戻し／変速再生………21
●頭出しをする…………………………22
・番組を指定して頭出しする…………22
・カセットの中身を確認しながら頭出しする（**テープチェック機能**）…22
●好きな場面まで巻き戻す……………23
●繰り返し見る…………………………24
●CMをとばして見る……………………25
●音声を切り換える……………………26
●表示を切り換える（**時計／残量コール**）……27
●画面のノイズを消す…………………28
●（静止画再生時の）画面の揺れを止める……28
●ヘッドホンで聞く……………………28
●コンパクトカセットについて…………29
●大切な録画を消さないために………29
●TBC切／入スイッチについて………29
録画…………………………………30
●録画のしかた…………………………30
●録画時間（標準／3倍）について………30
●録画の一時停止………………………31
●裏番組録画……………………………31
●外部入力録画…………………………32
●終了時刻予約録画……………………33
●録音レベルについて…………………33
BS（衛星放送）…………………34
●BSを見る………………………………34
●BSの音声を切り換える………………34
●地上放送を録画中にBSを見る………35

タイマー予約録画

タイマー予約録画 ………………36
●タイマー予約録画について………………36
●タイマー予約録画時の録画時間（標準／3倍）…36
●ジャストレック機能………………………37
●リモコン予約……………………………38
・リモコン予約のしかた…………………38
・予約日について（毎日／毎週予約）…39
●Gコード予約 ……………………………40
●タイマー予約を解除する…………………42
●予約内容を確認する………………………42
●予約内容を取り消す………………………43
●タイマー予約録画を途中でやめる………43
●タイマー予約録画した番組を頭出しする
（メモ付留守録頭出し機能）……44

編集

編集 ……………………………………46
●前面の外部入力2端子への接続 …………46
●後面に接続する場合………………………46
●編集時のお願い……………………………46
●編集（ダビング）のしかた………………47
●インサート編集……………………………48
・音声について……………………………49
・AVインサート編集 ……………………49
●アフレコ編集………………………………50
・アフレコ編集を行ったカセットを
再生するときは…………………51
・マイク／オーディオ機器との接続……51
●編集端子について…………………………51

設置

接続 ……………………………………52
●アンテナ・テレビとの接続………………52
●アンテナ線の加工…………………………54
●BSアンテナとの接続 ……………………55
●BSアンテナの接続方法 …………………56
●BSデコーダーとの接続 …………………57
●M-Nコンバーターとの接続 ……………58
●BSデコーダー・M-Nコンバーターを
同時に接続するには…………………59
●テレビコントロール
（システムコントロール）…………60
リモコンの準備 …………………61
●電池の入れかた……………………………61
●リモコンの扱いかた………………………61
●初期設定ボタンについて…………………61
●リモコンモード設定………………………62
●テレビメーカー／連動（今すぐ再生）設定 …63
●予約チャンネル表示設定…………………64

設置（つづき）

受信チャンネルの設定 …………65
●受信チャンネルの設定について…………65
●ガイドチャンネル一覧表…………………67
●市外局番入力チャンネル設定一覧表……68
●市外局番入力チャンネル設定……………70
●マニュアルチャンネル設定………………71
・チャンネルの設定（登録）……………72
・不要なチャンネルをとばす（削除）…73
・微調整をする……………………………74
●工場出荷時の設定に戻す…………………75
オプション設定 ………………76
●オプション設定のしかた…………………76
●オプション設定を初期化する……………76
●オプションメニュー………………………77
時計の合わせかた ……………78
●ぴったり時計………………………………78
●時刻合わせ…………………………………79
画面表示 ……………………………80
●オンスクリーン表示………………………80

その他

困ったとき!? ………………………81
リモコンが働かないとき ………84
自己診断表示機能 ………………84
Q&A ……………………………………85
保証とアフターサービス ………86
定格…………………………………裏表紙

■**設置の手順**

ご使用の前に、まず以下の手順で設置を行ってください

アンテナ・テレビと接続する ☞52
↓
リモコンの準備をする ☞61
↓
受信チャンネルを設定する ☞65
↓
時計を確認する ☞78

●必要があれば、時刻合わせを行ってください。

以上で設置は終了です

メモ

●本書では、参照ページのことを（☞52）のように表示しています。

ご使用の前に
再生・録画
タイマー予約録画
編集
設置
その他

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

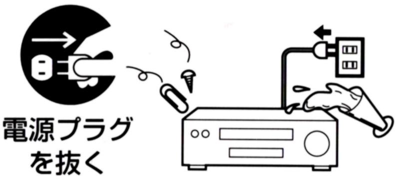
⚠ 警告

煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがするときなどは、使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

●販売店にご相談ください。

内部に水や異物が入ったときは、使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く



そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。

●販売店にご相談ください。

電源コードがいたんだ（芯線の露出など）ときは、使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

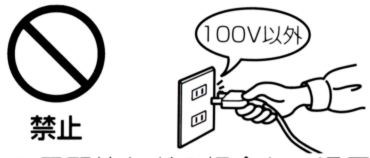
●販売店にご相談ください。

キャビネットがこわれたときは、使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

●販売店にご相談ください。
●<u>お客様による修理は、絶対おやめください。</u>

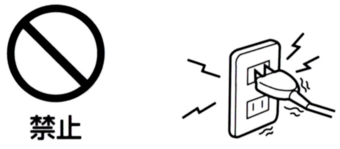
指定（交流100ボルト）以外の電源電圧で使わないまた、配線器具の定格を超える使いかたをしない



たこ足配線などの場合も、過電流により発熱し、火災・故障につながります。

●接続する前に、指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

電源プラグが不完全な接続状態で使わない



不完全な差し込みは、接触不良となり発熱・火災・感電につながります。

●根元までしっかりと接続してください。
●いたんだプラグやゆるんだコンセントは使わないでください。
●時々点検してください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠警告

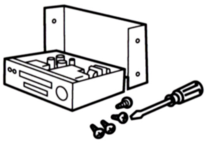
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

禁止

水は電気を通しますので、ぬれていると、感電のおそれがあります。

●必ず、かわいた手で持ってください。

分解や改造をしない

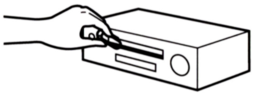


分解禁止

分解、改造は火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

内部に金属物や燃えやすいものを入れない

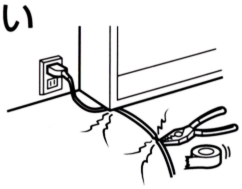


禁止

内部に金属物などが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。

●幼児にご注意ください。

電源コードやプラグを破損させない



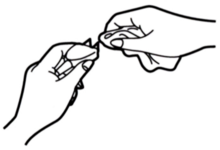
禁止

破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電につながります。

例えば、無理な折り曲げ、ねじり、束ね、引っ張り、加工、熱器具への接近、角が鋭利なものや重いものの下敷きなど。

●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

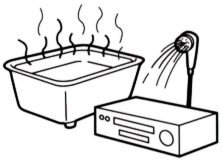
電源プラグのほこりなどはとる



プラグにほこりや金属物が付着すると、湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●付着しているときは、プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
●時々点検してください。

水をかけたり、ぬらしたりしない



禁止

内部に水が入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障につながります。

●雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすい所で使うときは、ぬらさないようにご注意ください。
●水が入ったと思われるときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な所に置かない

禁止

頭や足の上に落下すると、けががにつながるだけでなく、製品の故障にもつながります。

●コード類が下に垂れないように注意し、安定した所に置いてください。

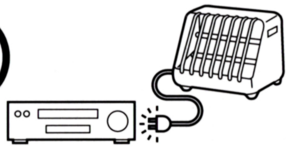
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない

接触禁止

落雷すると、誘導電雷により感電死につながります。

●雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

本機後面の電源コンセント（アウトレット）は、BSデコーダー／M-Nコンバーター専用です また、消費電力の合計が80ワットを超える接続をしない



禁止

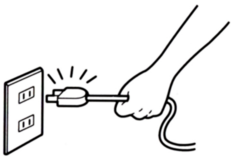
過大な電流が流れ、接続部やコードが発熱し、火災につながります。

●BSデコーダー／M-Nコンバーター以外の機器は、接続しないでください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠注意

電源コードを持って抜かない

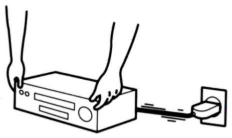


禁止

コードが破損します。破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、電源プラグを持ってください。

電源コード、その他のコードを接続したまま移動させない

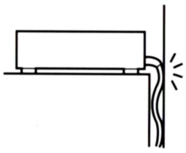


禁止

コードが破損します。破損したまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

●コード類が引っ張られる場合は、接続を外してから移動させてください。
（テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください）

電源コードが無理に曲げられるような設置はしない

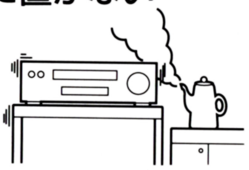


禁止

ラックなどに収納するときに、無理に押し曲げられると、電源コードが破損します。そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電・故障のおそれがあります。

●風通しをよくするためにも、後面は壁から10センチメートル以上あけてください。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い所、振動が激しい所に置かない

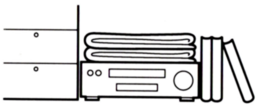


禁止

内部に水やほこりが入ったり、激しい振動で内部部品が破損したりすると、 ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
（特に、湿度が高くなる梅雨期の前に点検すると、より効果的です）
●費用についても、そのときお確かめください。

風通しの悪い狭い所に置かない



禁止

内部に熱がこもり、高温になると、キャビネットが変形するだけでなく、内部部品が破損して故障の原因となります。そのまま使うと、ショートや絶縁不良で発熱し、火災・感電のおそれがあります。

●次のような使いかたはしないでください。
・テーブルクロスを掛ける。
・じゅうたんや、ふとんの上に置く。

本機の上に、重いものを置いたりのったりしない

禁止

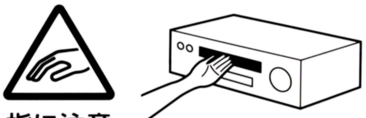
バランスがくずれ、倒れたり落下などしてけがをするおそれがあります。
また、重量でキャビネットが変形して内部部品が破損し、火災・故障の原因となるおそれがあります。

●幼児にご注意ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠注意

カセットそう入口に手を入れないよう注意する



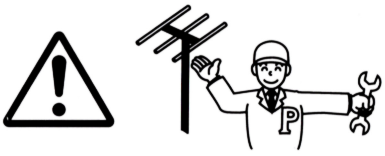
はさまれたり、金具にふれると、けがをするおそれがあります。

●幼児にご注意ください。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜く

あやまって内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながるおそれがあります。
（テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください）

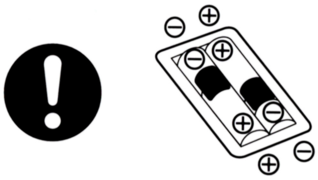
アンテナ工事には技術と経験が必要です



アンテナが倒れた場合、感電するおそれがあります。

●送配電線から離れた場所に設置してください。
●販売店にご相談ください。

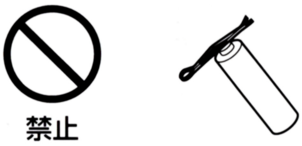
電池の極性表示（⊕と⊖）を確かめ、正しく入れる



間違えると、液もれ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。

●必ず、指定の電池を使ってください。（☞61）

電池の端子部（⊕と⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない



液もれ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

電池を分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

液もれ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。

電池の液もれ処置について
●万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
●目に入ったときは、失明のおそれがあります。こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

●4 ～7ページの製品のイラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

使用上のお願い

設置について

■接続する機器の電源を「切」にしてから接続してください。
- ●オーディオ機器などでは、スピーカーをいためるおそれがあります。
- ●接続する機器の説明書をよくお読みください。

■高温になる所をさけてください。
- ●熱器具の近くや直射日光の当たる所に置くと、キャビネットが変形したり、故障するおそれがあります。

■他の機器とあまり近づけないでください。
- ●お互いに悪い影響を受けるおそれがあります。

ご使用について

■強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの（携帯電話など）を近づけないでください。
- ●映像や音声に悪い影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。

■周囲で殺虫剤など揮発性のものを使うときは、本機にかからないようにしてください。
- ●キャビネットが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ●また、ゴム製品やビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

移動について

■落としたり、ぶつけたりしないでください。
- ●故障につながります。

■閉めきった自動車内に放置しないでください。
- ●異常な高温のため、キャビネットが変形したり、故障するおそれがあります。

■引っ越しなどで輸送するときは、次の手順をお守りください。

1）カセットを取り出す
2）電源プラグや他の接続コードを外す
3）購入時のパッキングケースに入れる
（ない場合は、毛布などで傷が付かないように包む）

リモコンについて

■落としたりして衝撃を与えたり、足で踏んだりしないでください。
- ●部品がこわれたりして、故障するおそれがあります。

■長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。
- ●長期間そのままにしておくと、液もれが起こり、故障するだけでなく、液にさわるとやけどをするおそれがあります。
- ●液もれが起こったときは、リモコン内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。
- ●液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

お手入れについて

■キャビネットなどのよごれは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ●よごれがひどいときは、布を水でうすめた台所用洗剤にひたし、よくしぼってからよごれをふき取り、かわいた布で仕上げてください。
- ●化学ぞうきんをお使いの際は、その注意書に従ってください。

■ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。
- ●キャビネットが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

アンテナについて

- ●妨害電波の影響を避けるために、交通量の多い自動車道路の近くや電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に設置してください。
- ●アンテナ線に同軸ケーブルを使うと、妨害電波の影響の少ない良好な画面が得られます。
- ●アンテナは、風雨にさらされます。特に煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早くいたみます。映りが悪くなった場合は、美しい映像でお楽しみいただくために、販売店に点検・交換をご相談ください。

使用後は

■**使用後は、必ずカセットを取り出し、電源を「切」にしてください。**
- ●カセットを入れたままにしておくと、テープがたるみ、テープをいためるおそれがあります。
- ●このときも、微少電流が流れているため、多少の発熱があります。

大切な録画の場合は

- ●大切な録画の場合は、必ず事前に録画をし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- ●本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

使用しないとき

■**長期間使わないときは、ときどき電源を「入」にし、動作させてください。**
- ●長期間使わないと、機能に支障をきたすおそれがあります。1ヵ月に一度ぐらいは、テープを走行させてください。

■**長時間使用されないときには、電源プラグを持って抜いてください。**
（電源を切っただけでは、約6.5ワットの電力を消費しております。）

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This video tape recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

カセットについて

- ●カセットテープも「露付き」を起こすことがあり、そのまま使うとテープをいためますので、部屋の温度になじませて、「露付き」が解消されてからお使いください。
- ●強い磁気を持っているものの近くに置かない。（大切な記録が損なわれることがあります）
- ●ほこりやちりの多い所に置かない。
- ●湿気の多い所、カビの発生しやすい所に置かない。
- ●直射日光の当たる所や熱器具のそばなど高温になる所に置かない。（特に車のダッシュボードやリアウインドウに放置しない）
- ●強い磁気の発生する所に置かない。
- ●使用後は、テープをたるませたりテープに傷を付けたりしないために、テープの巻き始めまで巻き直してから、所定のケースに入れ、立てて置いてください。
- ●カセットの上に重いものをのせないでください。変形してカセットが使用できなくなることがあります。

「露付き」について

■**「露付き」とは、**
夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。このような状態を「露付き」といいます。

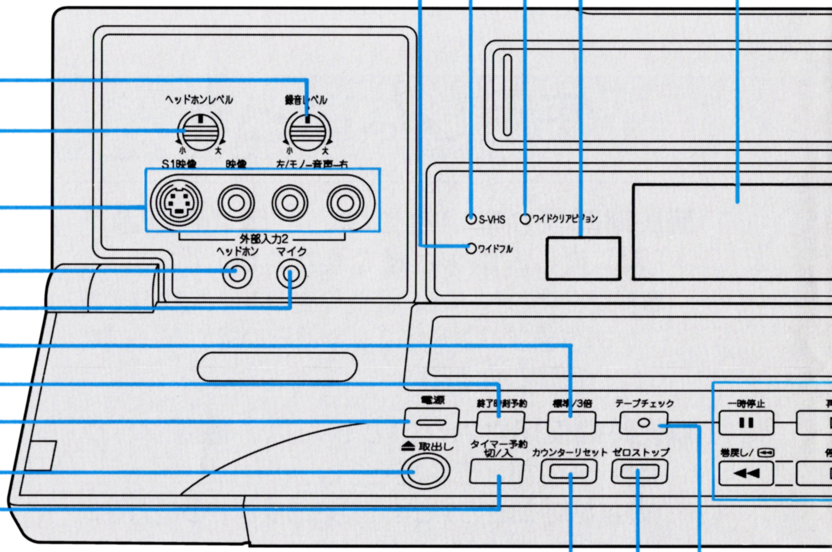
■**「露付き」が起こる原因は、**
下記のように温度差、湿度差があると起こります。
- ●寒い所から急に暖かい所に移動させたとき。
- ●寒い部屋を急に暖房したとき。
- ●エアコンなどの冷たい空気が本機に直接当たっていたとき。

■**「露付き」が起こったら、**
「露付き」が起こると、
本体表示部に「d」が点滅し、「U10」が表示され、機械やテープの保護のため、正常に操作できなくなります。
（電源が「切」の時でも、「露付き」が起こると自動的に電源が「入」になり、同じ現象になります）
- ●「露付き」が起こってから、実際に上記の表示が出るまでに15分くらいかかりますので、温度や湿度が変わったときは20分くらいたってから使用してください。

「露付き」が起こったときは、
「d」や「U10」の表示が消えるまで（長くても数時間）お待ちください。乾燥すれば表示は消え、機能は回復します。

各部の名前

本体前面部



ワイドクリアビジョンランプ
●地上放送（VHF/UHF）でのワイドクリアビジョン放送（EDTVⅡ）を受信または入力したとき（外部入力1端子のみ対応）や、その映像を録画したテープを再生したときに点灯します。

ワイドフルランプ
●M-Nコンバーターからフルモード映像を入力したときや、その映像を録画したテープを再生したときに点灯します。

S-VHSランプ（☞14）

本体表示部

リモコン受信部（☞61）

録音レベルつまみ（☞33）

ヘッドホンレベルつまみ（☞28）

外部入力2端子（☞46）

ヘッドホン端子（☞28）

マイク端子（☞51）

標準／3倍（☞30）

終了時刻予約（☞33）

電源（☞14）

取出し（☞15）

タイマー予約切／入（☞42、43）

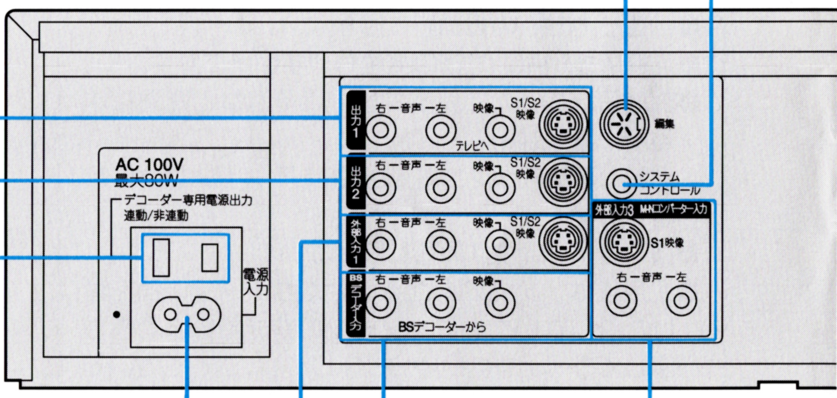
カウンターリセット（☞23）

ゼロストップ（☞23）

テープチェック（☞22）

本体後面部

●本書では、参照ページを（☞52）のように表示しています。
●本書では、リモコンでの操作を基本として操作説明をしていますが、リモコンと同じ名称のボタンがビデオ本体にもある場合は、そのボタンでも同じ操作ができます。（一部できない操作もあります）



システムコントロール端子（☞60）

編集端子（☞51）

出力1端子（☞52）

出力2端子

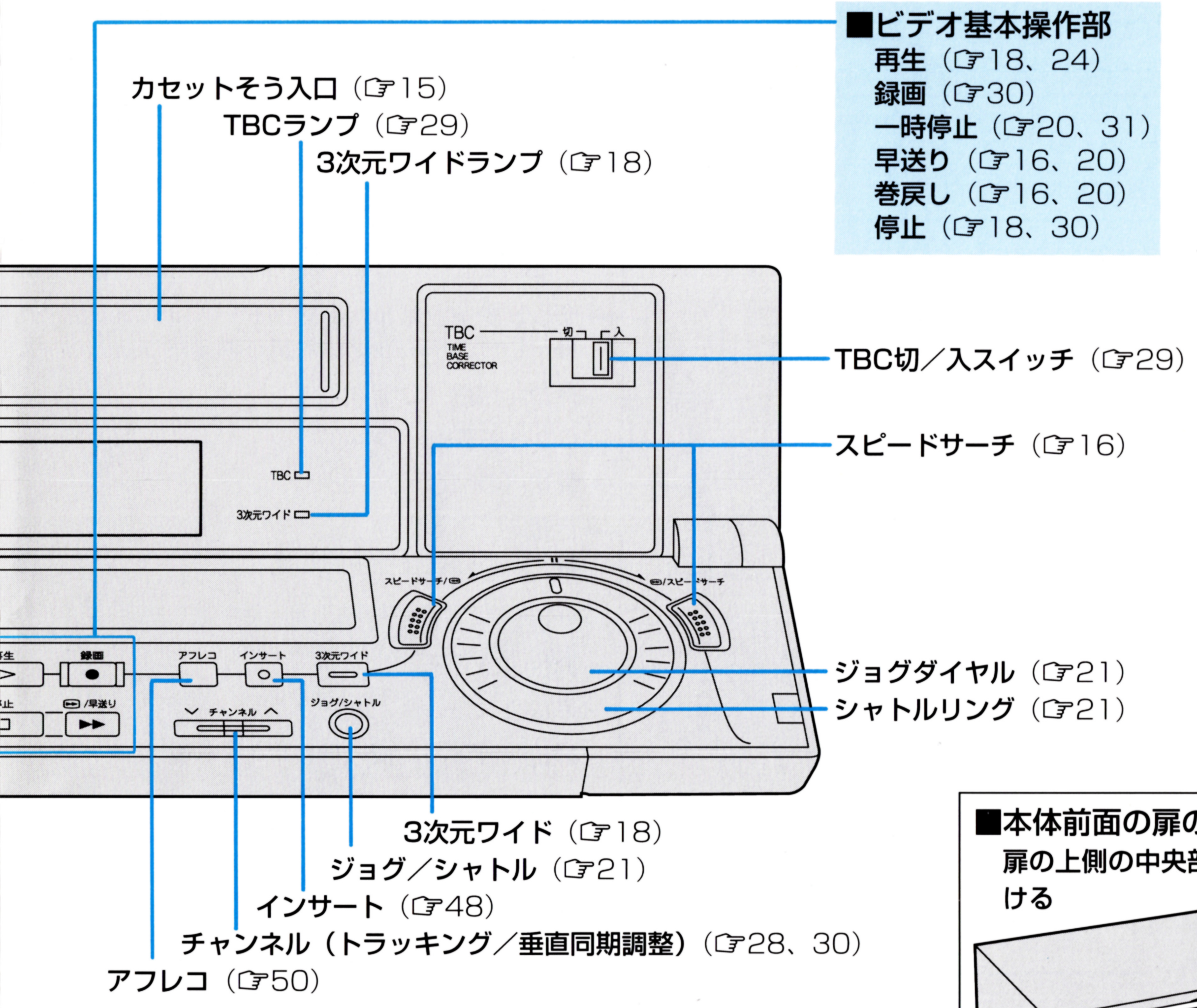
デコーダー専用電源出力コンセント（☞57、58、59）
●BSデコーダーまたはM-Nコンバーター専用ですので、他の機器は接続しないでください。

電源入力ソケット（☞52、53）

外部入力1端子（☞46）

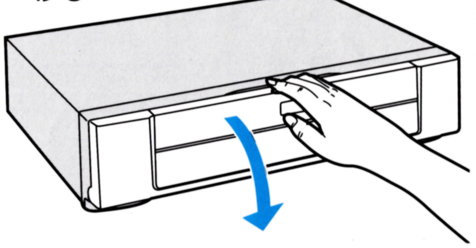
BSデコーダー入力端子（☞57、59）

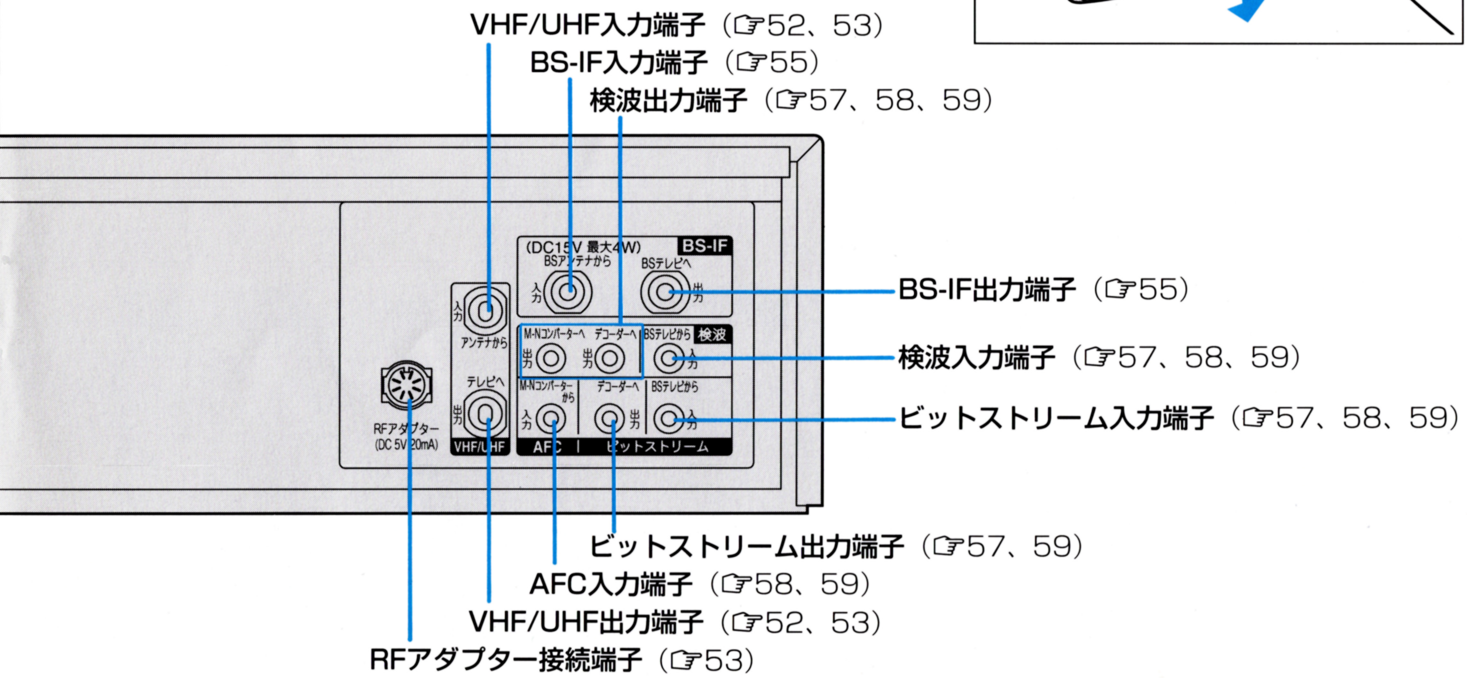
外部入力3／M-Nコンバーター入力端子（☞46、58、59）



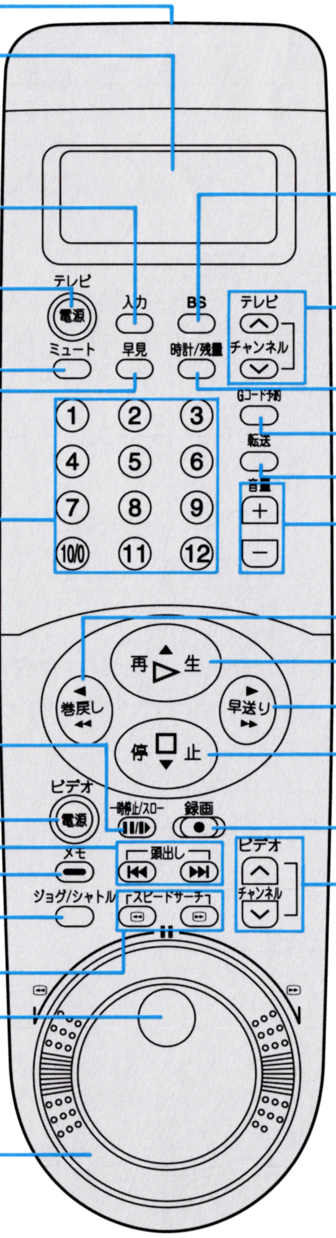
■本体前面の扉の開けかた

扉の上側の中央部を手前に引いて開ける





リモコン（閉じたとき）



リモコン送信部（☞61）

リモコン表示部
（☞38、40、62～64、70）
●電池の消耗をおさえるため、しばらく放置すると表示は消えます。

入力（☞17）
●テレビの入力を切り換えます。

テレビ電源（☞17）
●テレビの電源を入／切します。

ミュート
●テレビの音声を「切」にします。

早見（☞19）

数字（①～⑫）（☞31、40、70）
●テレビのチャンネルを選ぶとき、Gコード予約を行うとき、市外局番入力チャンネル設定を行うときに押します。

一時停止／スロー（☞20、31）

ビデオ電源（☞14）

頭出し（☞22）

メモ（☞44）

ジョグ／シャトル（☞21）

スピードサーチ（☞16）

ジョグダイヤル（☞21）

シャトルリング（☞21）

BS（下記メモ）
●テレビのBSチャンネルを選ぶときに押します。

テレビチャンネル（下記メモ）
●テレビのチャンネルを切り換えます。

時計／残量（☞27）

Gコード予約（☞40）

転送（☞40、70）

音量
●テレビの音量を調節します。

巻戻し（☞16、20）＊

再生（☞18、24）

早送り（☞16、20）

停止（☞18、30）

録画（☞30）

ビデオチャンネル（☞30）

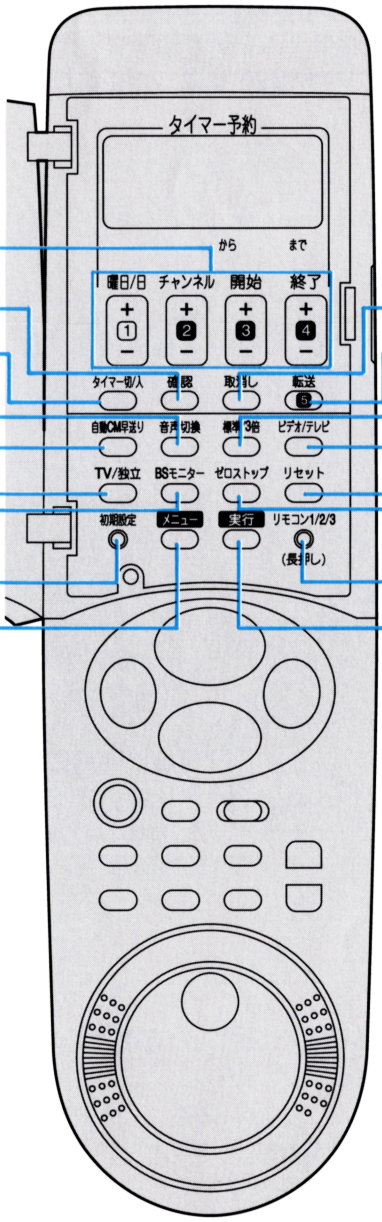
メモ

＊これらのボタンは、メニュー画面の操作ボタン（▲▼◀▶ボタン）を兼ねています。
（☞56、62、71、76、79）

■テレビのチャンネルの選びかた

1. 数字ボタン（①～⑫）で選ぶ
   - ●数字ボタン押すと、その数字のVHF/UHFチャンネルが選ばれます。
   - ●BSチャンネルを選ぶときは、BSボタンを押してリモコン表示部に「BS」表示を出し、その表示が出ている間に続けて数字ボタンを押して選んでください。
（ただし、BS13チャンネルを選ぶときはBSボタンのあとに「10/0」ボタンを、BS15チャンネルを選ぶときはBSボタンのあとに「12」ボタンを押してください）
2. テレビチャンネルボタンで選ぶ
   - ●テレビのチャンネルポジションを一つづつ上下させて選びます。

リモコン（開いたとき）

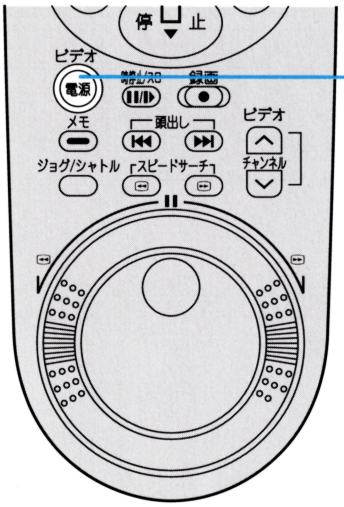


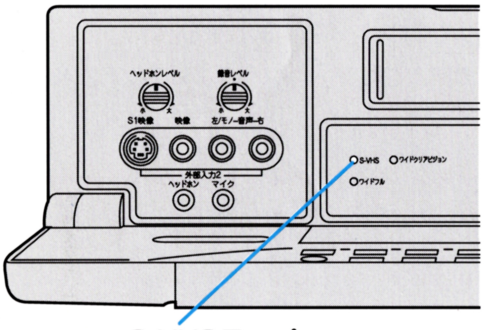
- リモコン予約設定部（☞38）
- 確認（☞42、43）
- タイマー切／入（☞42、43）
- 音声切換（☞26）
- 自動CM早送り（☞25）
- TV／独立（☞34）
- BSモニター（☞35）
- 初期設定（☞61）
- メニュー（☞56、62、71、76、79）
- 取消し（☞43、73）
- 転送（☞38）
- 標準／3倍（☞30、36）
- ビデオ／テレビ（☞17、53）
- リセット（☞23）
- ゼロストップ（☞23）
- リモコン1／2／3（☞62）
- 実行（☞56、62、71、76、79）

電源／使用テープ

電源「入／切」のしかた

準備：●52ページからの設置を行う。





S-VHSランプ

電源を「入」にするには
ビデオ電源ボタンを押す

●もう一度押すと、電源が「切」になります。

本体表示部

メモ

●電源を「入」にすると、本体表示部が明るく表示されます。
●カセットを入れたときも、自動的に電源が「入」になります。

■電源を「入」にすると、S-VHSランプも点灯します
次の場合にS-VHSランプが消えます。
●オプション設定の「SVHS録画」を「切」にしているとき。(☞76)
●VHS方式で録画されたテープの再生中。
●VHSビデオカセットテープを入れているとき。

お願い

●ご使用にならないときは、必ず電源を「切」にしておいてください。
(テープ保護のため、カセットも取り出しておいてください)

■自動電源［切］機能

本機には、ご使用後に電源を「切」にすることを忘れたときなどのむだな電力の消費を防ぐため、自動電源［切］機能があります

本機をご使用中、何も操作せずに放置すると、約6時間後に自動的に本機の電源を「切」にする機能です。

●オプション設定の「自動電源［切］」の設定を変えることで、約2時間後に電源を「切」にするようにしたり、この機能を解除したりすることができます。(☞76)

使用テープについて

■このビデオはS-VHS規格のビデオです

●S VHSマーク・VHSマークの付いたビデオカセットテープ以外は使用できません。

●S VHSマークの付いたビデオカセットテープを使って高画質録画・再生ができるとともに、VHSマークの付いたビデオカセットテープでも従来通り録画・再生がお楽しみいただけます。

●S-VHS方式で録画したビデオカセットテープは、VHS規格のビデオでは再生できません。

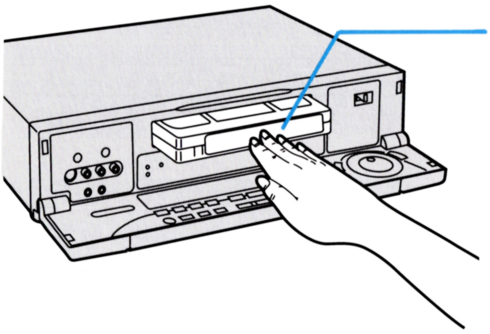
■コンパクトカセットについて、☞29

■カセットの保管などについて、☞9

●ジュースをこぼすなどしてよごしたテープや、いたんだテープは使用しないでください。

カセットの出し入れ

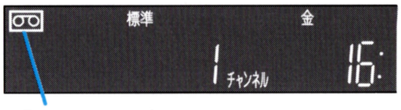
カセットの入れかた



カセットの中央部を、ゆっくりと押し込む

●本体表示部に、「カセット表示▭▭」が出ます。

本体表示部

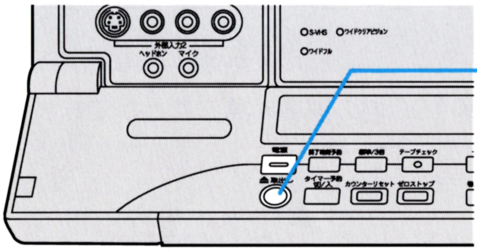


「カセット表示▭▭」

メモ

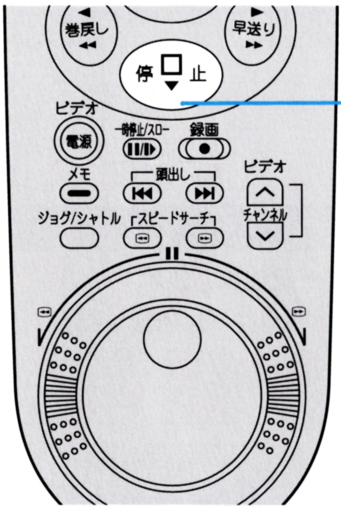
●カセットを入れると、自動的に電源が「入」になります。
●"つめ"の折れているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
●カセットを入れると、その位置のカウンターの値が「0:00.00」になります。

カセットの出しかた



■本体で取り出すには

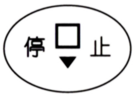
取出しボタンを押す



■リモコンで取り出すには

本機前面の扉を開いた状態で、

停止ボタンを3秒以上押し続ける



お願い

●本機前面の扉が閉じられているときは、必ず扉を開いてから取り出してください。扉を閉じた状態でリモコンで取り出そうとすると、カセットが取り出せずにビデオデッキの中にとどまり、ビデオの電源が「切」になり、本体表示部に「F06」と表示されます。

本体表示部

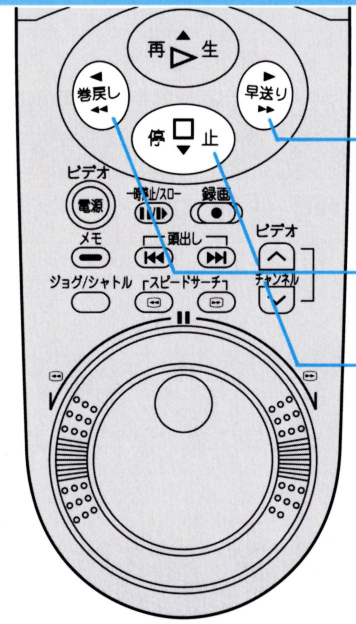
サービス番号

→このときは、本機前面の扉を開き、本体の電源ボタンを押して本機の電源を「入」にすると、ビデオが通常の状態に戻り、カセットの取り出しもできるようになる場合があります。それでも「F06」の表示が消えずに通常の操作ができない場合は、故障と思われますので、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。

●タイマー予約録画の実行中や待機中は、カセットは取り出せませんのでご注意ください。
●録画中は、本体での取り出しはできません。また、録画中にリモコンで取り出そうとすると、録画を停止してしまいますのでご注意ください。

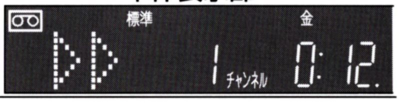
早送り／巻戻し

早送り／巻戻し



■早送りをするには
停止中に、
早送りボタンを押す

本体表示部



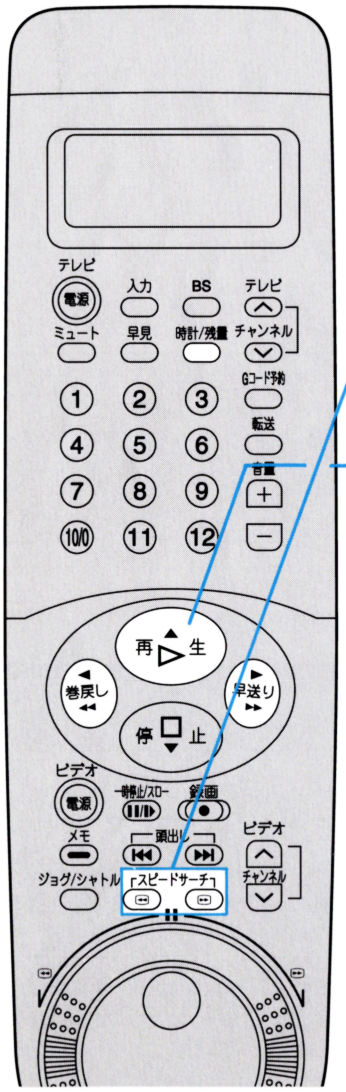
■巻戻しをするには
停止中に、
巻戻しボタンを押す

■早送り／巻戻しをやめるには
停止ボタンを押す

メモ
●テープの終端まで早送りをすると、自動的にテープの始端まで巻戻しをします。

スピードサーチ（100倍速サーチ）

「3倍」で録画されたテープの早送りと巻戻し中の映像を、通常の再生の約100倍の速度で見ることができます（音声は出ません）



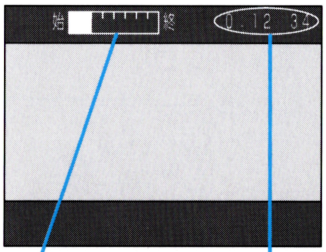
準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）

■早送り方向のスピードサーチを行うには
早送り方向の
スピードサーチボタンを押す

■巻戻し方向のスピードサーチを行うには
巻戻し方向の
スピードサーチボタンを押す

■ふつうの再生に戻すには
再生ボタンを押す

テレビ画面



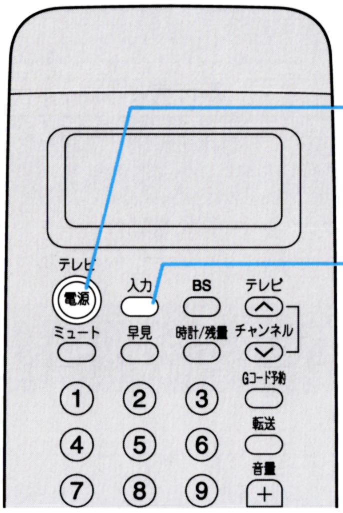
「テープ位置」表示

「カウンター／残量／時計」表示

メモ
●早送り中に早送りボタンを押したり、巻戻し中に巻戻しボタンを押してもスピードサーチを行うことができます。
●「カウンター／残量／時計」表示は、リモコンの時計／残量ボタンで切り換えることができます。（☞27）
●「標準」で録画されたテープは約33倍速になります。
●テープの始端や終端の付近では、画像が乱れる場合があります。
●ご使用になるカセットのテープ位置や種類によっては、スピードサーチを行えない場合があります。また、テープ残量の計算ができていないときにスピードサーチボタンを押すと、まず残量計算を行ってからからスピードサーチを行います。

ビデオを見るための準備

映像・音声コードで接続している場合



テレビにビデオの画面を出すには、以下のテレビ側の準備が必要です

1　テレビの電源を「入」にする

テレビ 電源

●テレビ電源ボタンを押す。

2　テレビの入力切換を「ビデオ」にする

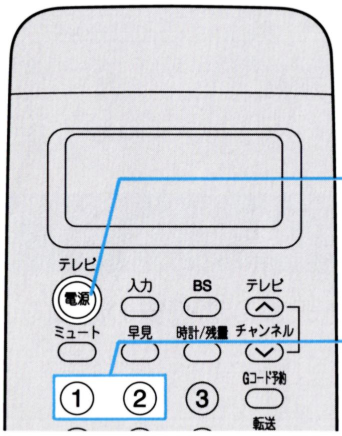
入力

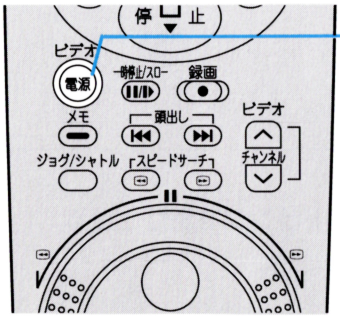
●入力ボタンを押す。

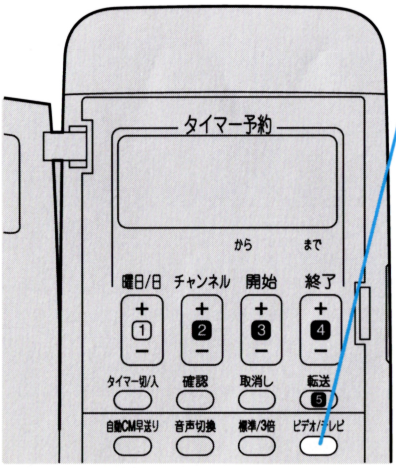
お願い

●テレビの操作ができないときは、リモコンのテレビメーカー設定を行ってください。(☞63)

RFアダプター（別売）で接続している場合







テレビにビデオの画面を出すには、以下のテレビとビデオの準備が必要です

準備：●RFアダプター（別売）のRFスイッチを「CH1」または「CH2」にしておく。(☞53)

1　テレビの電源を「入」にする

テレビ 電源

●テレビ電源ボタンを押す。

2　テレビのチャンネル「1」か「2」を選ぶ

① または ②

●数字ボタンで選ぶ。

3　ビデオの電源を「入」にする

ビデオ 電源

●ビデオ電源ボタンを押す。

4　本体表示部に「ビデオ」表示を出す

ビデオ/テレビ

●ビデオ／テレビボタンを押す。

「ビデオ」表示

お願い

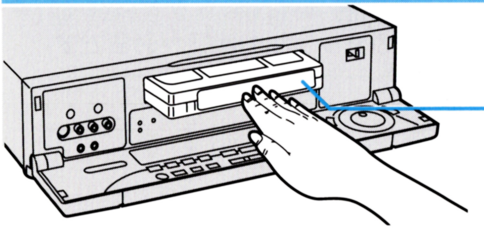
●テレビの操作ができないときは、リモコンのテレビメーカー設定を行ってください。(☞63)
●本機とテレビの接続には、別売のRFアダプターVW-RF10をご使用下さい。(☞53)
●手順2では、RFアダプターで設定したチャンネルを選んで下さい。

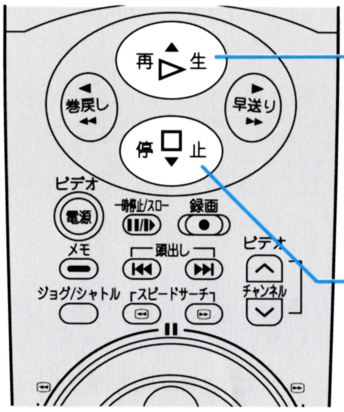
メモ

●ビデオ／テレビボタンを押すごとに、「ビデオ」表示が出たり消えたりします。また、再生を始めたときも、自動的に「ビデオ」表示が出ます。
●「ビデオ」表示は、RFアダプターでの接続をしているときのためのものですが、映像・音声コードでの接続をしているときにも表示されます。

再生

ビデオを見る



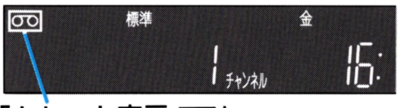


準備：●テレビにビデオの画面を出す。(☞17)

1 **カセットを入れる**

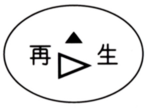
●本体表示部に、「カセット表示」が出ます。

本体表示部



「カセット表示」

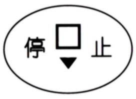
2 **再生を始める**



●再生ボタンを押す。

■やめるには

停止ボタンを押す



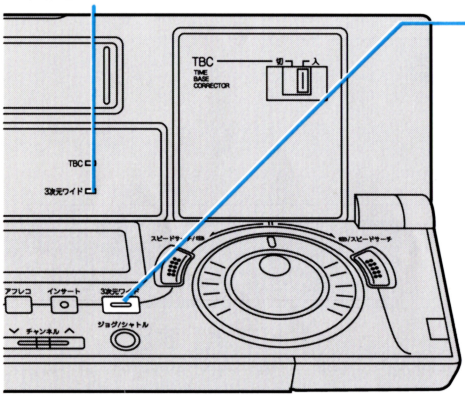
メモ

●"つめ"の折れているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
●電源が「切」のときでも、再生ボタンを押すと再生を始めます。

3次元ワイドボタンについて

3次元ワイドを「入」にすると、ワイドテレビや大画面テレビに対応した、より高画質の映像をお楽しみいただくことができます

3次元ワイドランプ



3次元ワイドボタンを押し、3次元ワイドランプを点灯させる

●3次元ワイドが「入」になります。

■3次元ワイドを「切」にするには

3次元ワイドボタンを押し、3次元ワイドランプを消灯させる

メモ

●3次元ワイドが「入」になっているときは、よりきれいな映像をお楽しみいただくための映像処理を行っています。そのため、編集などを行うときには、かえって画質が落ちてしまう場合があります。編集などを行うときは、3次元ワイドは「切」にしておいてください。

■編集（ダビング）を行うときは、3次元ワイドを「切」にしてください

3次元NR（ノイズ・リダクション）が「切」になります

●編集を行うときは、画質の劣化をおさえる効果があります。

早送り／巻戻し／スロー再生中の音声を聞くことができます

●編集時の頭出しをより行いやすくします。

オンスクリーン表示が出なくなります

●編集時に、画面に文字などが出ないようにします。

快速早見

音声を聞きながら、再生速度を変えて見ることができます

■快速早見には、1.3倍速再生、2倍速再生と、逆にゆっくり見たいときのための0.75倍速再生があります

●1.3倍速再生

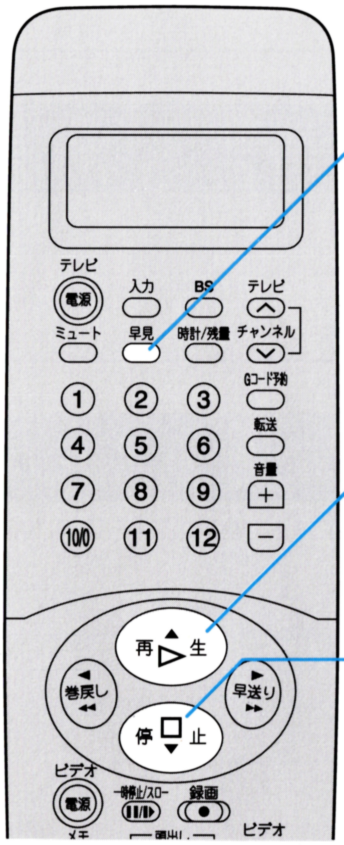
再生画面と音声のズレがなく、音声情報の欠落がありません。
（1時間番組を、内容を理解しながら約45分で見ることができます）

●2倍速再生

音声情報の欠落を少なくするため、再生する音声の速度を調整しています。
（1時間番組を約30分で見ることができますので、時間に余裕のないときや、番組の流れを知りたいときに便利です）

●0.75倍速再生

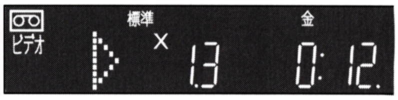
再生画面と音声のズレがなく、音声情報の欠落がありません。
（1時間番組を約1時間20分かけて見ることになりますので、語学の勉強などで音声をゆっくり聞きたいときに便利です）



準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●カセットを入れる。

早見ボタンを、ゆっくり確実に押す

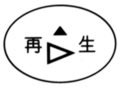
本体表示部



●押すごとに、下記のように再生速度が変わります。
●電源が「切」のときでも、早見ボタンを押すと、快速早見を始めます。

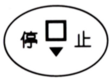
■ふつうの再生にするには

再生ボタンを押す



■やめるには

停止ボタンを押す



メモ

■再生速度の変わりかた

→ ＜1.3倍速再生＞（▷×1.3と表示） → ＜2倍速再生＞（▷×2.0と表示） → ＜0.75倍速再生＞（▷×0.7と表示） →（＜1.3倍速再生＞に戻る）

■快速早見中の音声について

●快速早見中は、音声をデジタル処理しています

2倍速再生時は、画像と音声のズレや、音声情報の欠落が生じる場合があります。

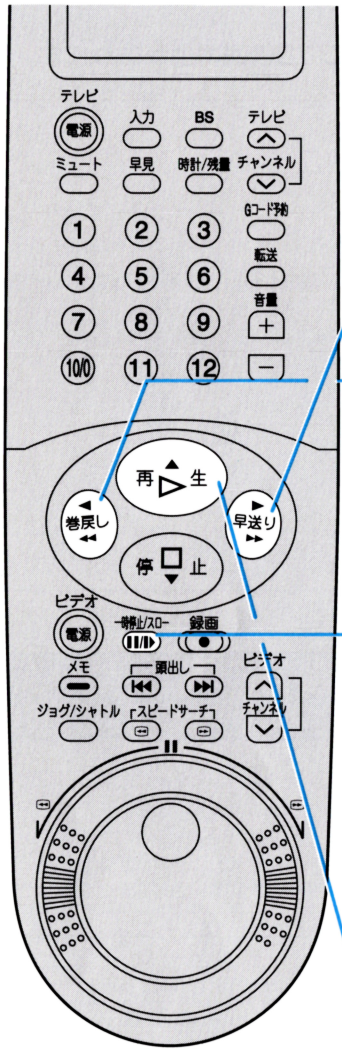
●快速早見中は、ノーマル音声を出力します

通常の再生時に比べて多少音質が異なる場合があります。また、2カ国語放送を録画したテープを再生したときは、副音声は聞くことができません。

お願い

●快速早見中の画面にノイズが出るときは、トラッキング調整を行ってください（☞28）
（ご使用になるカセットによっては、調整しきれない場合があります）

いろいろな再生（早送り／巻戻し／静止画／スロー再生）



下記の操作は、再生中に行ってください（音声は出ません）

■早送り再生をするには

**再生中に、早送りボタンを
ポンと短く押す**

本体表示部

■巻戻し再生をするには

**再生中に、巻戻しボタンを
ポンと短く押す**

■静止画再生をするには

**再生中に、一時停止／スロー
ボタンをポンと短く押す**

●本体の一時停止ボタンでも同じ操作ができます。

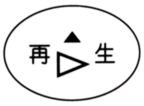
■スロー再生をするには

**再生中に、一時停止／スロー
ボタンを2秒以上押し続ける**

●本体の一時停止ボタンでも同じ操作ができます。

■ふつうの再生に戻すには

再生ボタンを押す



メモ

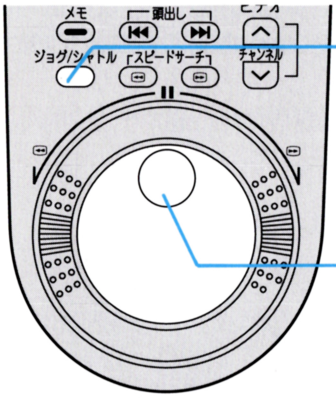
●早送り／巻戻し再生では、早送りボタンまたは巻戻しボタンを押し続けると、押している間だけ早送り／巻戻し再生を行い、指を離すとふつうの再生に戻ります。
●静止画再生時は、再生ボタンを押す代わりに、一時停止／スローボタンまたは本体の一時停止ボタンをもう一度押してもふつうの再生に戻すことができます。
●3次元ワイドを「切」にすると（3次元ワイドランプが消灯）、早送り／巻戻し／スロー再生時の音声が聞こえます。（☞18）

お願い

●以下のとき、テープとヘッドの保護のため、それぞれの再生が解除されますのでご注意ください。
・早送り／巻戻し再生を約5分以上続けると、ふつうの再生に戻ります。
・静止画／スロー再生を約5分以上続けると、停止します。

いろいろな再生（コマ送り／コマ戻し／変速再生）

■コマ送り／コマ戻し再生をするには（音声は出ません）



1 **ジョグ／シャトルボタンを押す**

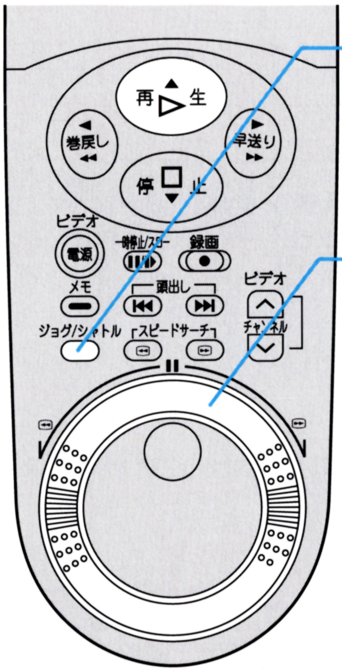
本体表示部

●静止画再生になります。

2 **ジョグダイヤルをゆっくりと回す**

●1クリック回すごとに、右に回すと送り方向、左に回すと戻し方向に1コマづつ送っていきます。

■変速再生をするには（送り方向のふつうの再生時のみ音声が出ます）



1 **ジョグ／シャトルボタンを押す**

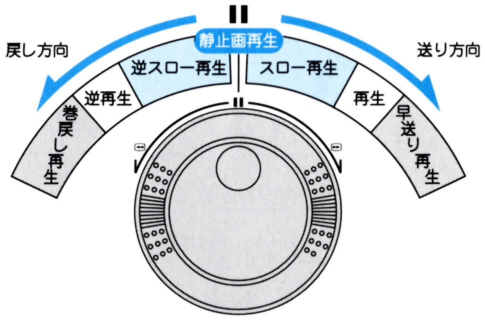
本体表示部

●静止画再生になります。

2 **シャトルリングを回す**

●右へ回すと送り方向へ、左へ回すと戻し方向へと速度を増していきます。

●回す角度により、再生速度や再生の向きが変わります。



メモ

●コマ送り／コマ戻し再生や変速再生を行ったあと、再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

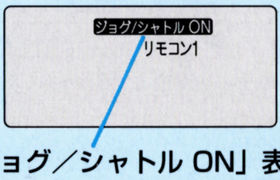
●3次元ワイドを「切」にすると（3次元ワイドランプが消灯）、静止画再生以外の音声が聞こえます。（☞18）

お願い

●リモコンで上記の操作を行うときは、必ずリモコンのジョグ／シャトルボタンを押してください。また、本体で行うときは、必ず本体のジョグ／シャトルボタンを押してください。

●リモコンのジョグ／シャトルボタンを押すと、リモコン表示部に「ジョグ／シャトル ON」表示が出ます。リモコンで上記の操作をするときは、必ずこの表示が出ていることを確認してください。「ジョグ／シャトル ON」表示が消えているときは、リモコンのジョグ／シャトルボタンを押して「ジョグ／シャトル ON」表示を出してから操作してください。

リモコン表示部



「ジョグ／シャトル ON」表示

頭出しをする（頭出し／テープチェック）

■頭出しのしくみ

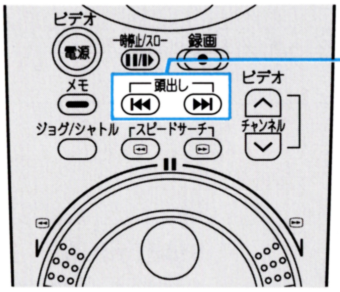
本機で録画を行うと、録画の最初の部分に自動的に「頭出し信号」が記録され、頭出しの際は、この信号をさがすことによって録画した番組の最初の部分を見つけ、そこから再生（テープチェック時は早送り再生）を始めます

●「頭出し信号」は次のようなときに記録されます。

・録画ボタンを押して録画を始めたとき　・タイマー予約録画が始まるとき　・録画中に録画ボタンを押したとき

●誤動作を防ぐため、番組の録画は約5分以上行ってください。

■番組を指定して頭出しする（電源が「入」で、停止または再生中に操作します）



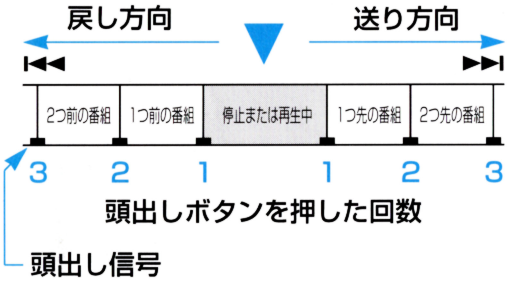
見たい番組がある方向の、頭出しボタンを押す

頭出し ⏮ ⏭

●早送り、または巻戻しを始めます。

●指定した番組の最初の部分を見つけたら、そこから再生を始めます。

本体表示部



■途中でやめるには
停止ボタンを押す

メモ

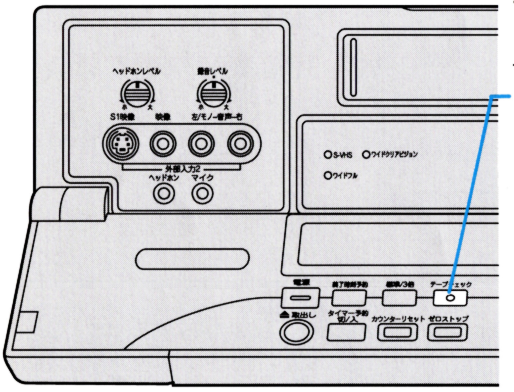
■頭出しする番組の設定のしかた

●頭出しボタンを押すごとに、最大20番組先までの頭出しが設定できます。

●ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押して設定を変更することができます。

■カセットの中身を確認しながら頭出しする（テープチェック機能）

録画されている番組の最初の部分だけを次々に早送り再生し、見たい番組を素早く見つけることができます



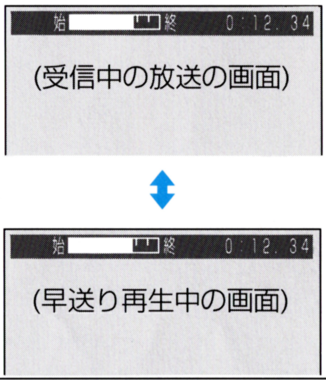
準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●録画済みのカセットを入れる。

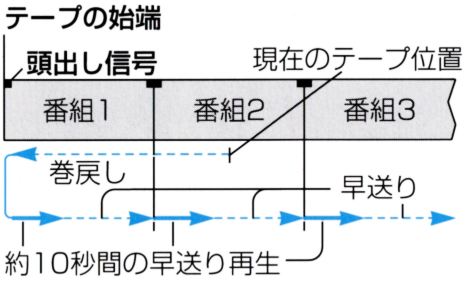
1　電源「切」、もしくは電源「入」で停止または再生中に
テープチェックボタンを押す

テープチェック ○

●テープの始端まで巻戻してから、約10秒間の早送り再生を行います。そのあと早送りを行いながら次々に「頭出し信号」をさがし、見つけるたびにそこから約10秒間の早送り再生を行います。

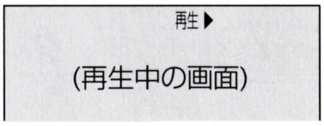
テレビ画面





2　見たい番組が見つかったら、再生ボタンを押す

●ふつうの再生になります。

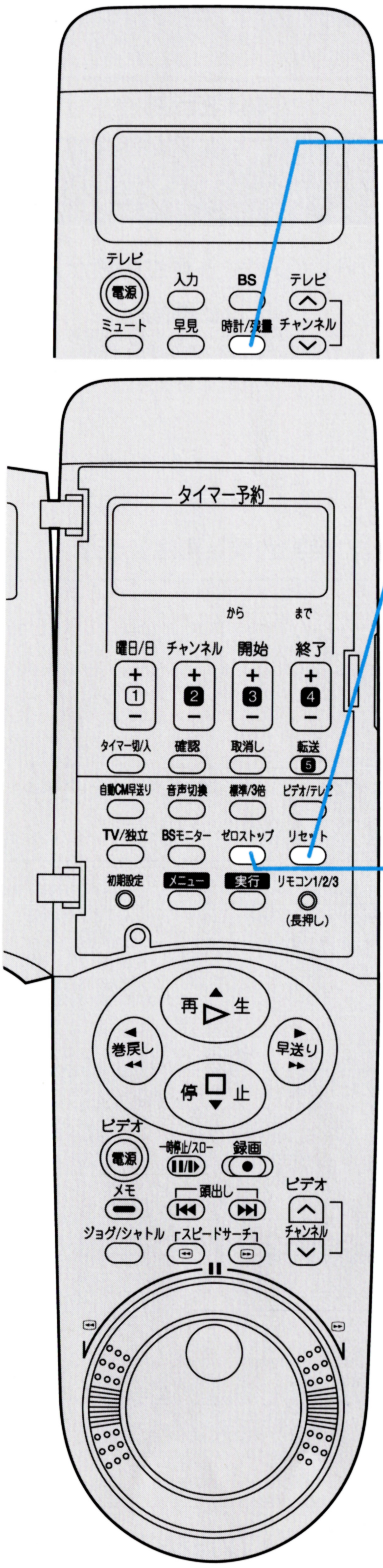


■途中でやめるには
停止ボタンを押す

お願い

●自動巻戻し再生中は、テープチェックボタンを押しても正しく頭出しの動作を行いません。このときは、一度ビデオの電源を切／入してから行ってください。

好きな場面まで巻き戻す



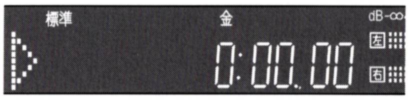
再生中もう一度見たい場面があったときに、その場面を記憶し、再生が終わったあと、その場面を簡単に探し出すことができます

1 本体表示部の表示がカウンター表示になっていることを確認する

●時計表示、または残量表示になっているときは、時計／残量ボタンを2回押すとカウンター表示になります。(☞27)

本体表示部

2 再生中に、あとからもう一度見たい場面があったら、リセットボタンを押す

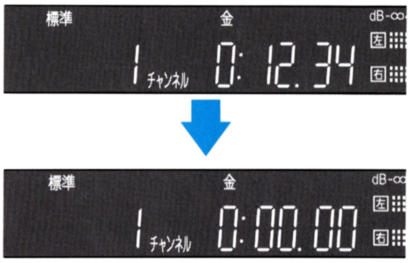


リセット

●本体表示部のカウンター表示の値が「0：00.00」になります。

●本体のカウンターリセットボタンを押しても同じ操作ができます。

3 再生が終わったあと、停止状態にして、ゼロストップボタンを押す



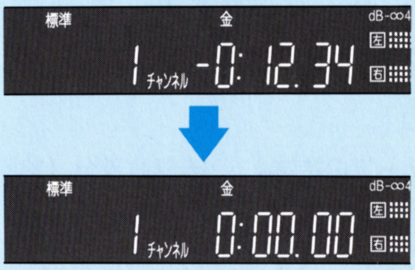
ゼロストップ

●巻戻しを始め、カウンターの値が「0：00.00」の付近まで巻き戻したら停止します。

メモ

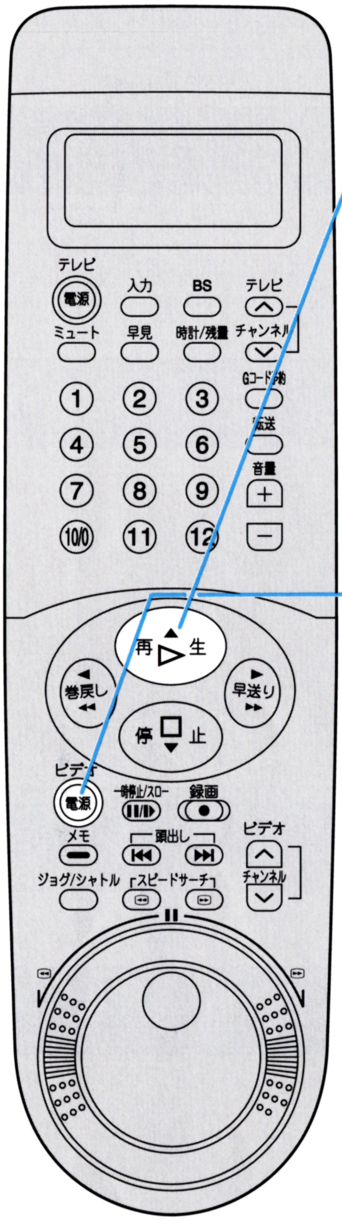
●カウンターの値が「0：00.00」の所よりも巻き戻されたところにあるときにゼロストップボタンを押すと、「0：00.00」の付近まで早送りを行い、停止します。

本体表示部

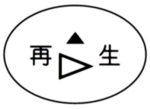


繰り返し見る（自動巻戻し再生機能）

再生中の番組を、繰り返し再生します



再生中に、
再生ボタンを5秒以上押し続ける

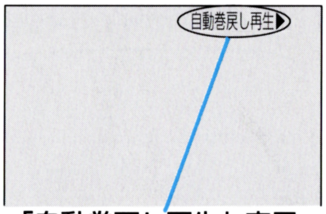


本体表示部

「R」（リピート再生の表示）

●自動巻戻し再生中は、本体表示部には「R」（リピート再生の意味）と表示し、テレビ画面には「自動巻戻し再生」と表示します。

テレビ画面



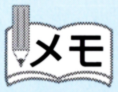
「自動巻戻し再生」表示

■やめるには

ビデオ電源ボタンを押し、電源を「切」にする

ビデオ

●停止ボタンを押して再生をやめただけでは、次に再生をしようとすると「自動巻戻し再生」になりますのでご注意ください。



●番組の終わりの未録画部分を検知し、そこから巻戻しを行い、再びテープの最初から再生を行います。（下図1）

●番組の終わりを検知するには、未録画部分は約5秒以上必要です。つなぎ録画を行った場合など、未録画部分が短かったり、なかったりすると、次の番組まで再生されますのでご注意ください。

●テープの始端に約5秒以上の未録画部分があるときは、正しく働かないことがありますのでご注意ください。

●現在再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分がある場合は、一度巻き戻したあとは、テープの始端からその部分までの繰り返し再生となりますのでご注意ください。（下図2）

図1

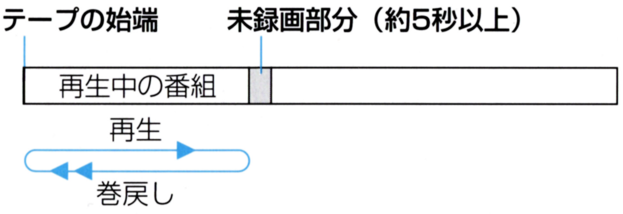
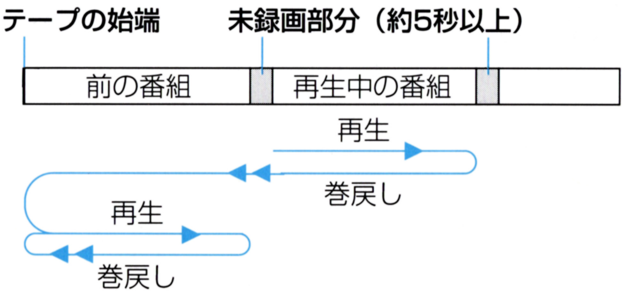
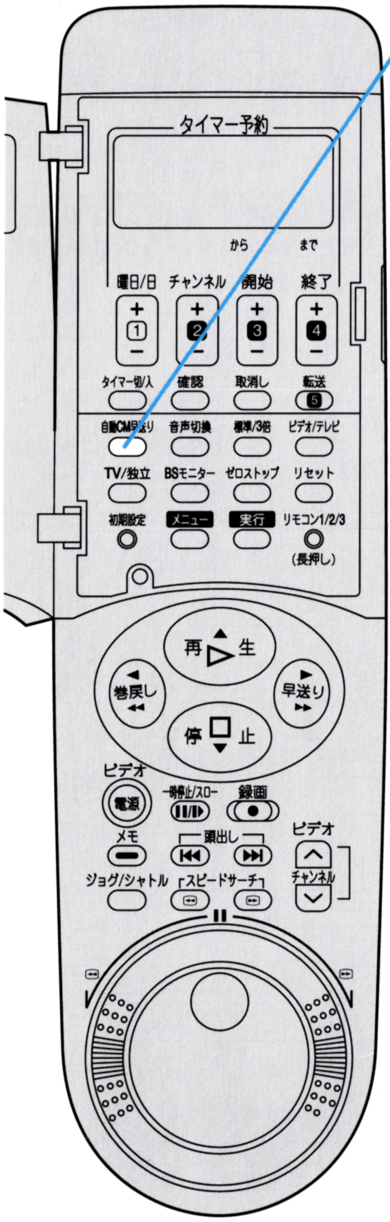


図2



CMをとばして見る

テレビ番組を録画したテープを再生するときに、CM部分を自動的にとばして再生します
録画した番組がモノラル放送や二重放送（2カ国語放送など）のときに働きます



自動CM早送りボタンを押す

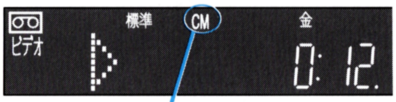
自動CM早送り

●本体表示部に「CM」が表示され、テレビ画面に「自動CM早送り 入／切」表示が出ます。

■解除するには
自動CM早送りボタンを押す

自動CM早送り

本体表示部



「CM」表示

テレビ画面

「自動CM早送り　入／切」表示

メモ

■自動CM早送り機能のしくみ
現在放送されているCM（コマーシャル）のほとんどはステレオ放送になっていますが、番組の方は、一部の音楽番組やスポーツ中継などを除き、ほとんどがモノラル／二重放送となっています。自動CM早送り機能は、ステレオ放送とモノラル／二重放送の違いを検知し、ステレオ放送部分のみを早送り再生する機能です。（下図1）
●CM以外でも、モノラル／二重放送からステレオ放送の番組が始まると、早送り再生されます。また、番組の時間が短すぎると、正しく働かない場合があります。このようなときは、自動CM早送り機能を解除してください。
●ステレオ放送の番組の再生中や、CMがモノラル／二重放送の場合は正しく働きません。（下図2、3）
●本機および当社の自動CM早送り機能の付いたビデオで録画したカセットにのみ働きます。
●外部入力録画をしたカセットには働きません。

図1

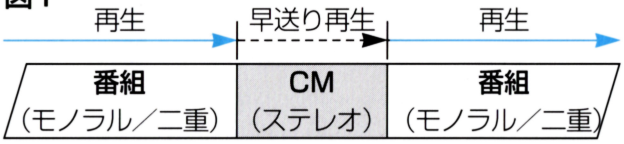
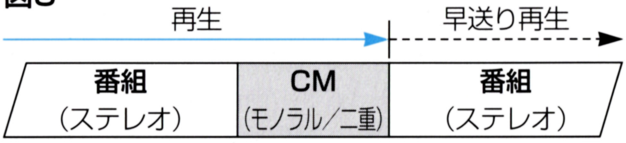


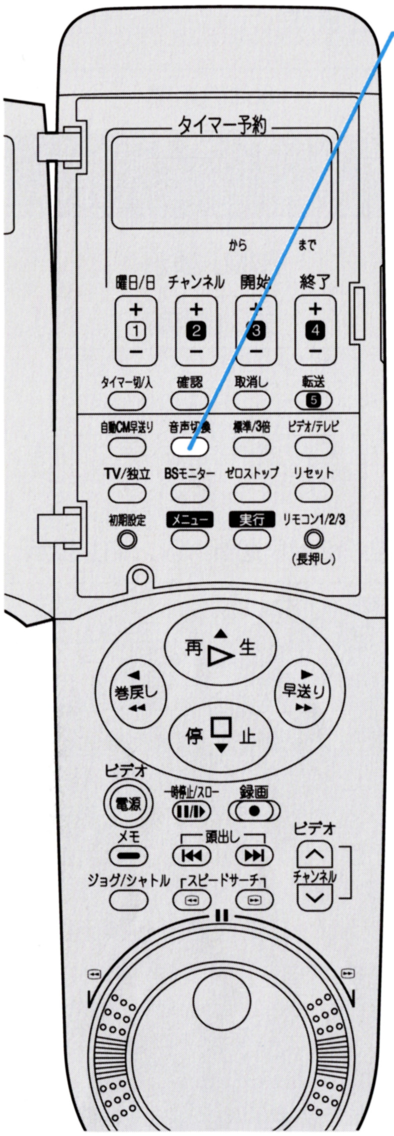
図2

図3



音声を切り換える

本機で受信、または再生中の音声を切り換えるには



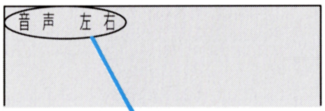
音声切換ボタンを押す

●押すごとに、下の表のように音声が切り換わり、本体表示部とテレビ画面の音声表示が変わります。

本体表示部

音声表示

テレビ画面



音声表示

表1

受信／再生中の音声	本体表示部の表示	テレビ画面の表示	選ばれた音声
ステレオ放送	左　右	ステレオ　左　右	ハイファイ音声（ステレオ）
	左	ステレオ　左	左の音声
	右	ステレオ　　右	右の音声
＊		音　声	ノーマル音声（左＋右）
＊	左　右	音　声　MIX	ハイファイ音声＋ノーマル音声
二重放送（二カ国語放送など）	左　右	二　重　左　右	ハイファイ音声（主音声＋副音声）
	左	二　重　左	主音声
	右	二　重　　右	副音声
＊		音　声	ノーマル音声（主音声）
＊	左　右	音　声　MIX	ハイファイ音声＋ノーマル音声
モノラル放送	左　右	音　声　左　右	ハイファイ音声（モノラル）
	左	音　声　左	モノラル
	右	音　声　　右	モノラル
＊		音　声	ノーマル音声（モノラル）
＊	左　右	音　声　MIX	ハイファイ音声＋ノーマル音声

＊再生中にしか選べません。

メモ

●テレビ画面の音声表示は、再生中は、ステレオ放送や二重放送を録画したものであっても「音声」と表示されます。

●録画中に音声を切り換えても、録画される音声には関係ありません。

●ビデオとテレビを映像・音声コードで接続していない場合は、テレビの音声は常にモノラルになります。

■2ヵ国語オート再生（オートバイリンガル）機能について

本機で二重放送（二カ国語放送など）やステレオ放送を受信したり、録画して再生すると、二重放送では主音声が、ステレオ放送ではステレオ音声が自動的に選ばれます。

●番組の途中から再生すると誤動作する場合があります。このようなときは、音声切換ボタンを押して聞きたい音声を選んでください。

●音声切換ボタンで音声を選ぶと、2ヵ国語オート再生（オートバイリンガル）機能は働かなくなります。このときは一度電源を「切／入」すると、2ヵ国語オート再生（オートバイリンガル）機能が働くようになります。

●この機能は、本機および当社の2ヵ国語オート再生（オートバイリンガル）機能の付いたビデオで録画したカセットにのみ働きます。

●外部入力録画をしたカセットには働きません。

表示を切り換える

**テレビ画面で時刻やテープ残量の確認をすることができます（「時計コール／残量コール」）
また、本体やテレビ画面の表示を切り換えることができます**

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●カセットを入れる。

■現在日／時刻、テープ残量を知るには（「時計コール」、「残量コール」）

時計／残量ボタンを1回押す

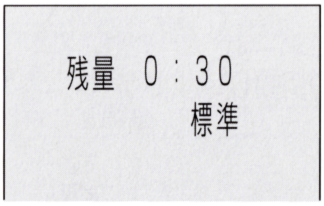
●「時計コール」を画面に出し、約3秒後に「残量コール」の画面を出します。

●カセットを入れた直後などでテープ残量が計算されていないときは、「残量コール」の画面に残量は表示されません。このときは、時計／残量ボタンを何度か押してテープ残量表示に切り換えると、すぐに残量の計算を始めます。

●本体表示部の表示は、現在時刻表示になります。

テレビ画面

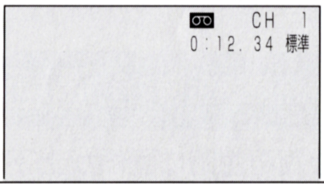
「時計コール」の画面



「残量コール」の画面

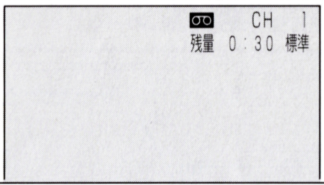
■テープカウンター表示にするには
「時計コール」または「残量コール」の画面が出ている間に、

時計／残量ボタンを続けてもう一度押す



■テープ残量表示にするには
「時計コール」または「残量コール」の画面が出ている間に、

時計／残量ボタンを続けて2回押す



■「時計コール」の画面、および現在時刻表示について
- ●現在時刻を表示します。
- ●「自動時刻合わせ機能」が働いているときは「時計コール」のときに時刻を“秒”まで表示します。（☞78）

■「残量コール」の画面、およびテープ残量表示について
- ●テープの残り時間を表示します。
- ●残量計算がされた状態で電源を「切」にした場合、次に電源を「入」にすると、テレビ画面右上と本体表示部に、自動的にテープ残量表示を約5秒間行います。
- **●「オプション設定」で「テープ長さ」を正しく設定していないと、残量を正しく計算できません。（☞76）**
- ●テープ残量は、そのときに本体で選ばれている録画時間（標準／3倍）で計算し、表示されますのでご注意いください。また、あくまでも目安としてお使いください。
- ●残量計算のため、テープ残量表示が出るまでに多少時間がかかる場合があります。
- ●ご使用になるカセットによっては、残量が正しく表示されない場合があります。

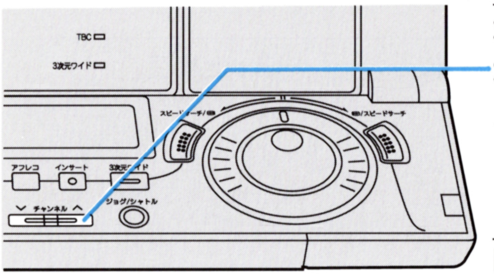
■テープカウンター表示について
- ●テープ走行に応じた経過時間を表示します。
- ●この表示のときにリセットボタンを押すと、表示が「0:00.00」になります。
（本体のカウンターリセットボタンを押しても、同じ操作ができます）

●ここではオプション設定（☞76）の「オンスクリーン」の設定が**「自動」**のときの説明をしています。
「入」：時計／残量ボタンを押すと、「時計コール／残量コール」が画面に出て、そのあと現在時刻表示になります。
「切」：時計／残量ボタンを押すごとに、本体表示部の表示が切り換えられます。（テレビ画面には表示されません）
●終了時刻を設定しているときは、時計／残量ボタンを押していくと、本体表示部ではその時刻の表示も行います。（☞33）

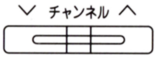
画面のノイズを消す

ふつうの再生、静止画再生、スロー再生中の画面に、右の写真のような白い帯状のノイズが出る場合は、以下の調整をしてください

＜トラッキング調整＞●通常は、ふつうの再生時には自動調整されています。



再生中に（スロー再生中に）、
本体のチャンネルボタンの∨または∧ボタンを押し続けてノイズを消す



■自動調整に戻すには
∨と∧ボタンを同時に押す

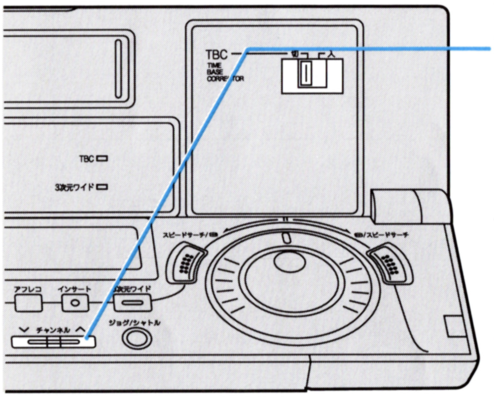
お願い

メモ

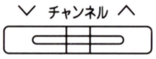
●静止画再生中の画面のノイズは、一度スロー再生にしてから調整してください。
●調整をすると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがありますのでご注意ください。
●画面全体にノイズが出ているときは、ビデオヘッドがよごれていると思われます。別売のクリーニングカセットNV-TCLVを使用して、ビデオヘッドのクリーニングを行ってください。（☞2）
●ご使用になるカセットによっては、調整しきれない場合があります。

（静止画再生時の）画面の揺れを止める

静止画再生時に画像が上下（垂直方向）に揺れる場合は、以下の調整をしてください
＜垂直同期調整＞



静止画再生中に、
本体のチャンネルボタンの∨または∧ボタンを押し続けて揺れを止める

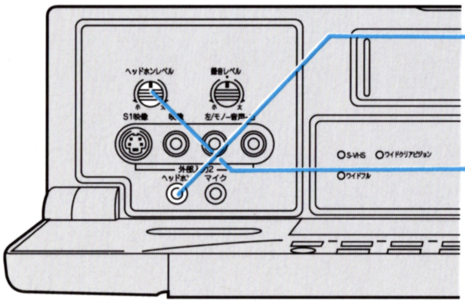


メモ

●TBC切／入スイッチが「入」のときは、この調整は必要ありません。
●ご使用になるテレビによっては、調整しきれない場合があります。

ヘッドホンで聞く

別売のヘッドホンを接続して聞くことができます



1 **ヘッドホンのプラグを接続する**
●ミニステレオプラグ（M3）が接続できます。

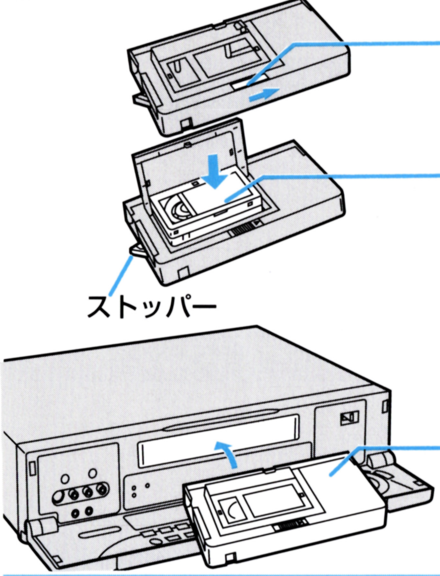
2 **音量を調節する**

お願い

●耳を刺激するような大きな音量で、長時間聞くことはさけてください。

コンパクトカセット（VHS-C/S-VHS-Cカセット）について

ビデオムービーカメラで撮影したテープを本機で再生できます
カセットアダプター（VW-TCA7、別売）を使用すると、コンパクトカセットがふつうのカセットと同じように使用できます



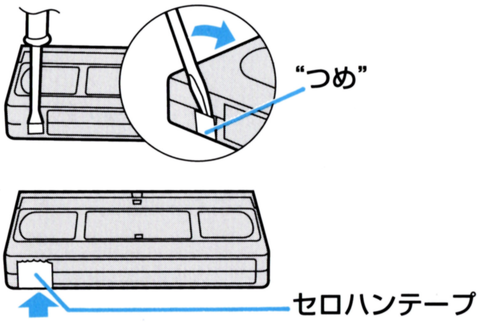
1 オープンスイッチを矢印側にずらす
●カセットを取り出すときも同じ操作です。

2 コンパクトカセットを図のように入れる
●取り出すときは、カセットアダプターの底面の孔からカセットを押し出してください。

3 ふたを閉じる
●テープがカセットアダプター内にセットされ、ストッパーが収納されます。

4 本機にカセットアダプターを入れる
●再生などの操作は、ふつうのカセットと同じです。

大切な録画を消さないために

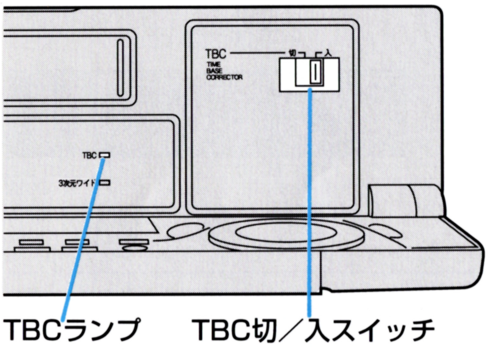


■録画済みのテープを誤って消さないために
録画済みのカセットにもう一度録画すると、前の録画内容は消え、新しく録画することができます。
大切な録画の場合は、カセットの"つめ"を折ることにより録画できなくなり、誤消去を防止できます。

■"つめ"の折れているカセットに再び録画するには
"つめ"を折り取った部分に、セロハンテープを二重にしっかりと貼ります。（"つめ"の代わりになります）

TBC切／入スイッチについて

繰り返し録画したテープや、ビデオムービーカメラで撮影したテープの再生時の画面の細かい揺れ、画面のゆがみをおさえます



■TBC（タイムベースコレクター）とは
ご使用になるテープによっては、再生画像が左右に揺れたり、画面がゆがむことがあります。これは、テープが伸びたり変形している場合や、録画・再生時にテープ走行が不安定になった場合に起こる現象です。このようなときは、TBC切／入スイッチを「入」にすると、タイムベースコレクター機能が働き、揺れやゆがみの少ない安定した画像を再生することができます。
●通常は「入」の位置にしてご使用ください。
（「入」のときは、TBCランプが点灯します）

お願い

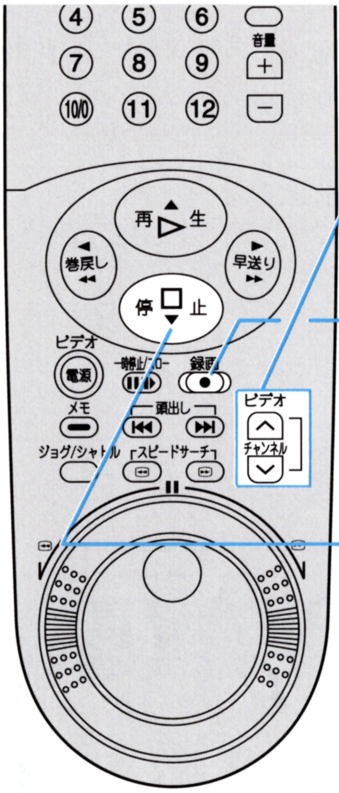
●ご使用になるカセットによっては、TBC切／入スイッチを「入」にすると、再生画像が縦方向に揺れる場合があります。このようなときは、「切」にしてください。

■クローズド・キャプション・デコーダー（別売）を接続して字幕をご覧になる場合
TBC切／入スイッチは「切」にしておいてください。「入」にしていると、クローズド・キャプション・デコーダーが正常に働かない場合があります。

録画

録画のしかた

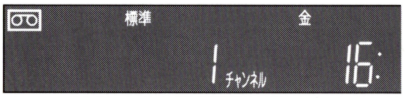
準備：●テレビにビデオの画面を出す。(☞17)
●"つめ"の折れていないカセットを入れる。



1 **チャンネルを選ぶ**

●ビデオチャンネルボタンで選ぶ。

本体表示部



2 **録画を始める**

●録画ボタンを押す。

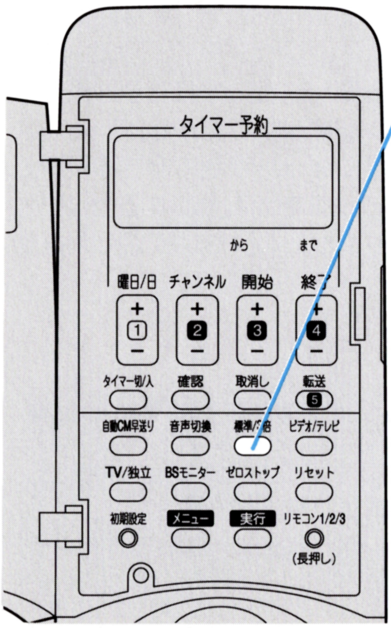
■やめるには
停止ボタンを押す

●録画中は、チャンネルの変更はできません。

■著作権について
あなたがテレビ放送や、録画物などから録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

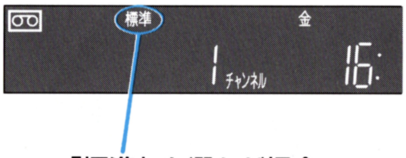
録画時間（標準／3倍）について

録画ボタンを押す前に、録画時間（標準／3倍）を選んでください
選ばないで録画を行うと、本機ですでに選んでいる録画時間（標準／3倍）で録画します



■録画時間（標準／3倍）を選ぶには
録画ボタンを押す前に、
標準／3倍ボタンを押す

本体表示部



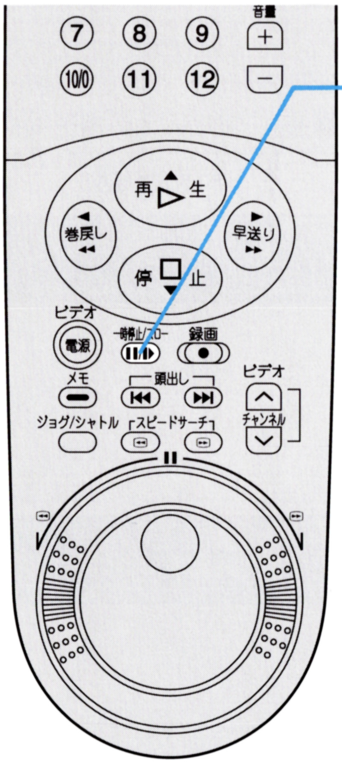
「標準」を選んだ場合

■録画時間（標準／3倍）を選ぶ目安

標準：　カセットに表示してある時間の録画ができます。
3倍：　標準に対して3倍の時間の録画ができます。

録画の一時停止

不要な場面を入れずに録画するには



本体表示部

■録画中に不要な場面がきたら

録画の一時停止にする

●一時停止／スローボタンを押す。

■不要な場面が過ぎたら

録画を再開する

●一時停止／スローボタンを押す。

●本体の一時停止ボタンでも同じ操作ができます。

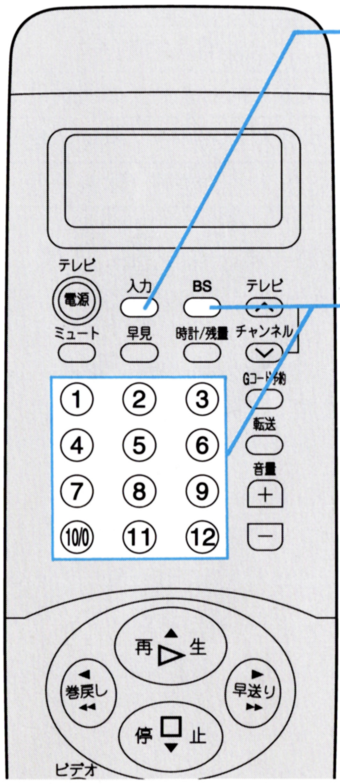
●録画の一時停止を約5分以上続けると、テープとヘッドの保護のため停止しますのでご注意ください。

裏番組録画

録画中に、テレビで別の番組を見るには

準備：●録画の操作を行う。（☞30）

操作例：1チャンネルを録画しながら、4チャンネルの番組を見る場合。



1 **30ページの録画の操作をしたあとに、テレビの入力を「ビデオ」から「テレビ」に切り換える**

●入力ボタンを押す。

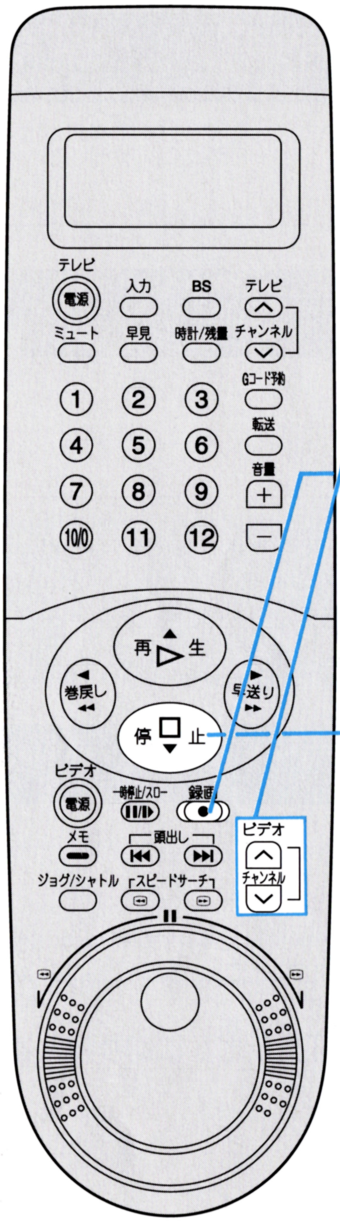
2 **テレビで見たいチャンネルを選ぶ**

●数字ボタン、またはテレビチャンネルボタンで選ぶ。
（チャンネルの選びかたについては、☞12）

●テレビの操作ができないときは、リモコンのテレビメーカー設定を行ってください。（☞63）
●映像・音声コードでの接続をしていない場合は、リモコンの**ビデオ／テレビボタン**を押し、本体表示部の「ビデオ」表示を消してください。（☞17）

外部入力録画

準備：●外部入力端子に機器を接続する。（☞46）
●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●“つめ”の折れていないカセットを入れる。



操作例：本機後面の「外部入力1端子」に接続した機器から録画する場合。

1 外部入力チャンネル「L1」を選ぶ

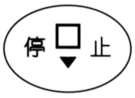
本体表示部

●ビデオチャンネルボタンで選ぶ。
●外部入力チャンネルについては、下の表をご参照ください。

2 録画を始める

●録画ボタンを押す。

■やめるには
停止ボタンを押す



メモ

機器を接続している外部入力端子に合わせて外部入力チャンネル「L1」「L2」または「L3」を選んでください

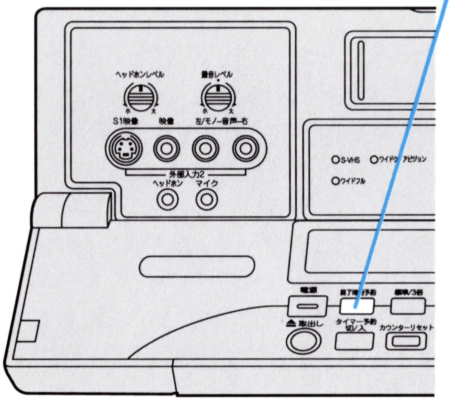
外部入力チャンネル	外部入力端子
L1	外部入力1端子（本機後面）
L2	外部入力2端子（本機前面）
L3	外部入力3端子（本機後面）

●M-Nコンバーターと接続すると（☞58、59）、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の状態に戻すには、M-Nコンバーターとの接続をすべて外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」を元の表示に戻してください。（☞72）

終了時刻予約録画

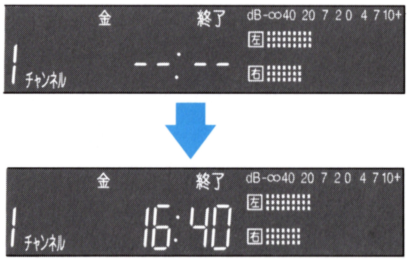
終了時刻予約機能を使うと、録画／再生中であっても設定した時刻になると自動的に本機の電源を「切」にします急なお出かけの際の簡単な予約録画や、おやすみになる前などの電源オフタイマーとしてお使いください

操作例：現在時刻が16時10分で、30分先（16時40分）まで設定する場合。



終了時刻を設定する

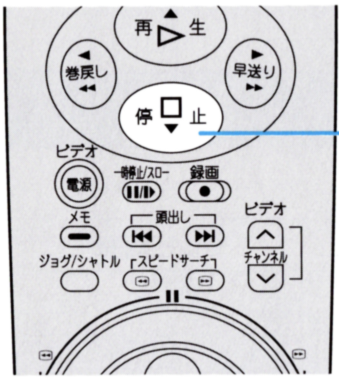
本体表示部



●終了時刻予約ボタンを1回押すと、「−−：−−」が表示され、そのあと押すごとに、30分単位で、最大9時間先まで設定できます。
●設定した時刻になると、自動的に電源が「切」になります。

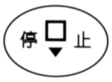
■解除するには

終了時刻予約ボタンを何度か押し、「−−：−−」を表示させる



■録画や再生などをやめるには

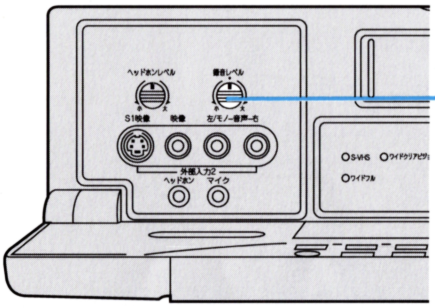
停止ボタンを押す



お願い
●タイマー予約録画中は働きませんのでご注意ください。

録音レベルについて

お好みに合わせて録音レベルを調整することができます

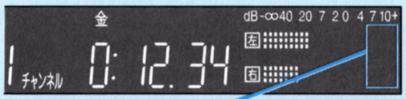


準備：●「オプション設定」の音声入力レベルを「手動」にする。（☞76）
（工場出荷時は「手動」になっています）

録音レベルつまみを回して調整する

●録音レベルをお好みに合わせて調整できます。
●通常はセンターの位置（クリック点）に合わせておいてください。

お願い
●録音レベルが大きすぎて、メーターを振り切ることのないようご注意ください。



●レベルメーターがこの範囲に入らないようにする。

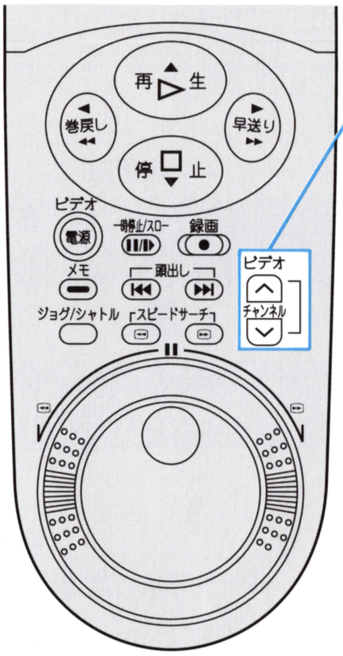
メモ
●ノーマル音声は、常に適正なレベルで録音されます。

■「オプション設定」の音声入力レベルを「リミッター」にすると（☞76）
録音レベルのつまみの位置に関係なく、録音レベルが大きいときでもひずみを軽減して録音されます。（録音レベルつまみは働きません）

BS（衛星放送）

BSを見る

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）



ビデオチャンネルボタンでBSのチャンネルを選ぶ

テレビ画面

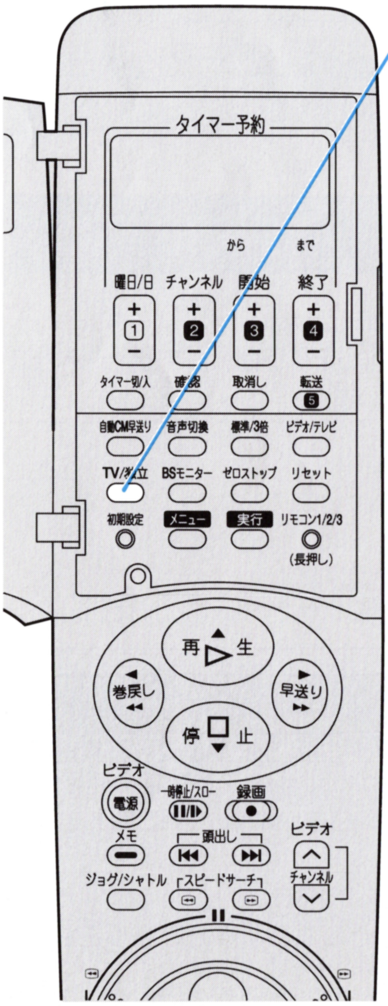
メモ

●本機には、高感度のBSチューナーを使っており、悪天候のときにもきれいな映像をお楽しみいただけます。ただし、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると、電波が弱くなり、一時的に画面や音声にノイズが出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、BSアンテナやビデオの故障ではありません。

●春分と秋分の前後には、食（放送衛星が地球や月の影に入り、電波がとぎれる現象）のため、放送が一時的に休止する場合があります。

BSの音声を切り換える

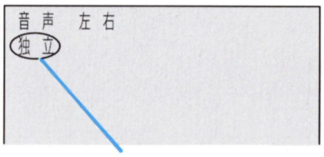
BSを受信中に操作します



TV／独立ボタンを押し、音声を選ぶ

●独立音声を選ぶと、テレビ画面に「独立」表示が出ます。

テレビ画面



「独立」表示

メモ

■テレビ音声と独立音声

テレビ音声 …テレビ映像と合った音声

独立音声 ……映像と関係のない音声

■Aモード音声とBモード音声

BSの音声には、「Aモード」と「Bモード」があり、放送によって自動的に切り換わります。（下表1）

（Bモード受信時はテレビ画面に「Bモード」と表示）

■BSデコーダーをご使用の場合

BSデコーダーで音声を切り換えてください。

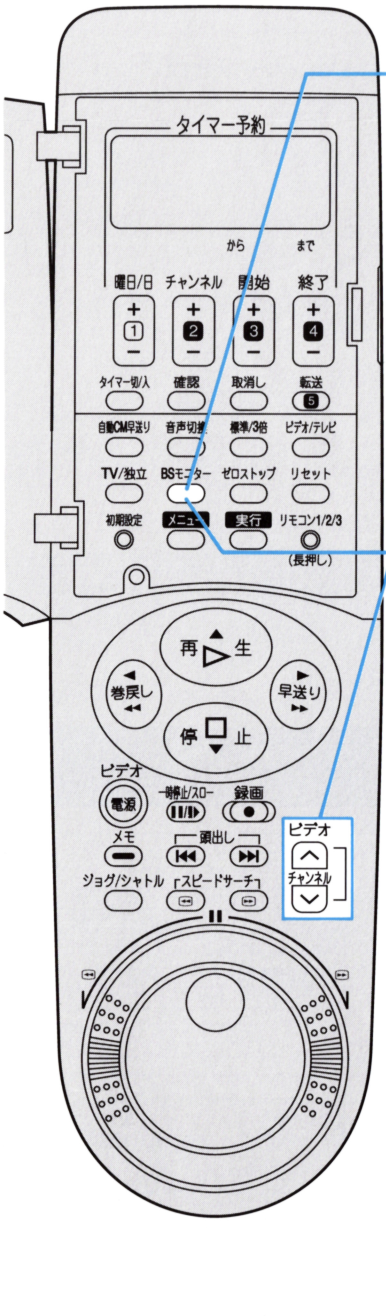
表1

モード	BS音声	テレビ／独立音声の切り換え
Aモード受信時	テレビ音声と独立音声が送られてきます。	テレビ音声、または独立音声が選べます。
Bモード受信時	高音質のテレビ音声が送られてきます。	切り換えは関係ありません。

地上放送を録画中にBSを見る

BS（衛星放送）チューナーが内蔵されていないテレビと接続しているときでも、地上放送を録画中にBSチャンネルの放送を見ることができます

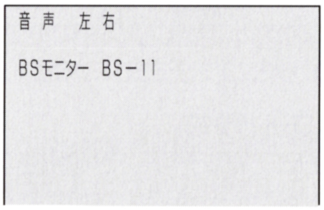
操作例：1チャンネルの番組を録画中に、BS7チャンネルを見る場合。



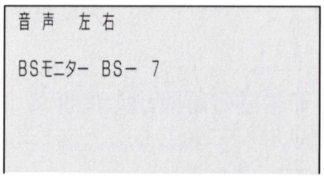
1 **地上放送の録画中に、**
BSモニターボタンを押す

●本機のBSチューナー部の電源が「入」になります。

テレビ画面



2 **ビデオチャンネルボタンで**
BSのチャンネルを選ぶ



■BSを見るのをやめるには
もう一度、BSモニターボタンを押す

●この機能は、タイマー予約録画中やタイマー予約録画の待機中にも働きます。

●BS放送の録画中に、本機のチューナーを使って別のBSチャンネルの放送を見ることはできませんのでご注意ください。

タイマー予約録画

タイマー予約録画について

お出かけや、おやすみになっているときにも、ビデオが自動的に見たい番組を録画します

本機でタイマー予約を行うには、「リモコン予約」と「Gコード予約」の2つの方法があります

■リモコン予約

リモコンで、予約したい番組の、① 予約日 ② チャンネル ③ 開始時刻 ④ 終了時刻、の4つを設定し、本体に転送するだけで予約ができます

●「リモコン予約のしかた」（☞38）をお読みください。

■Gコード予約

リモコンに予約したい番組のGコードを入力し、本体に転送するだけで予約ができます。

●「Gコード予約のしかた」（☞40）をお読みください。

●Gコード予約を行うにはガイドチャンネルの設定が必要です。受信チャンネルの設定は正しく行ってください。（☞65）

■メモ付留守録頭出し機能について（☞44）

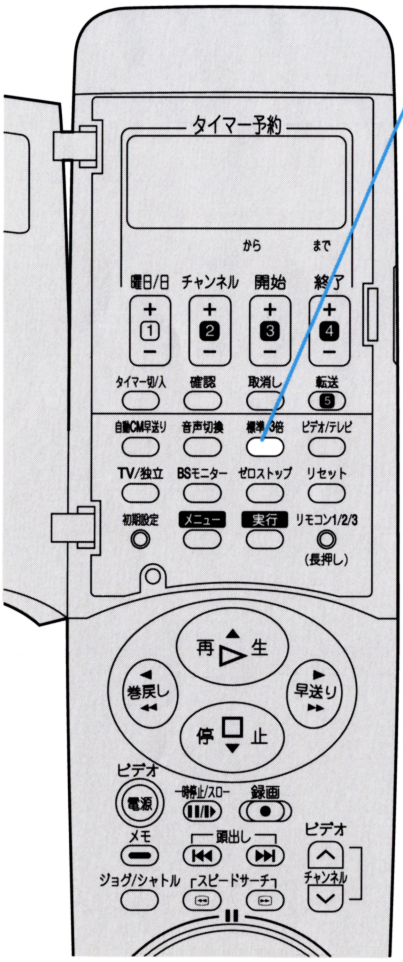
タイマー予約録画した番組を簡単に頭出しするための機能です。

●この機能では、タイマー予約録画した番組をテープ残量で記憶しますので、「オプション設定」の「テープ長さ」は常に正しく設定しておいてください。（☞76）

メモ

●1カ月以内の番組が、毎日／毎週予約を含めて8番組まで予約できます。

タイマー予約録画時の録画時間（標準／3倍）



■リモコン予約の場合

上記の ① ～ ④ の設定を行ったあと、転送ボタンを押す前に、リモコンの標準／3倍ボタンを押すと選べます

リモコン表示部

■Gコード予約の場合

Gコードを入力したあと、転送ボタンを押す前に、標準／3倍ボタンを押すと選べます

メモ

■標準／3倍ボタンを押すごとに、リモコン表示部の録画時間が以下のように変わります

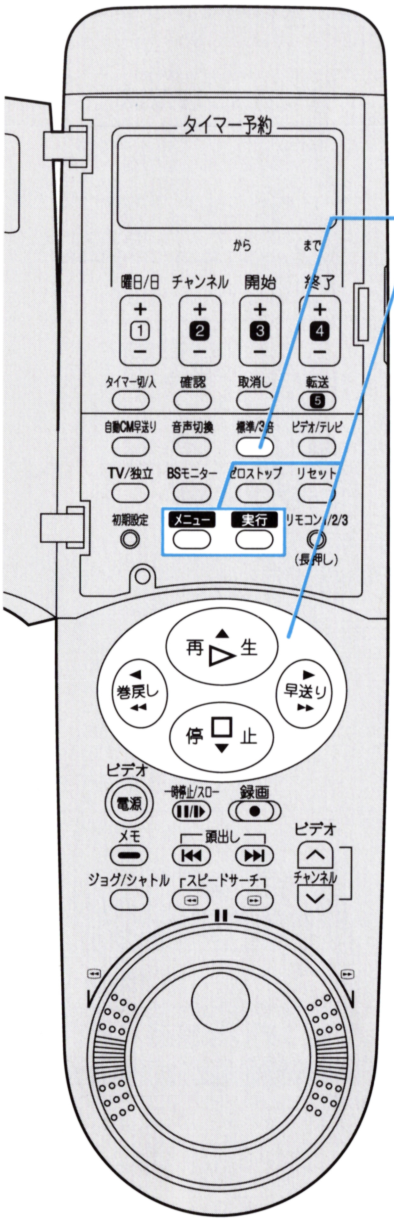
→標準 → 3倍 → 標準3倍 →（標準に戻る）

●「標準3倍」を選ぶとジャストレック機能（☞37）が働きます。

●録画時間を選ばずに転送すると、本体表示部に表示されている録画時間が“標準”のときは「標準3倍」（ジャストレック）が、“3倍”のときは「3倍」が選ばれます。

ジャストレック機能

録画時間「標準」でタイマー予約録画中にテープの残量が足りなくなると、テープの残量を計算して番組の途中から自動的に「3倍」で録画し、その番組を最後まで録画する機能です



1 **「テープ長さ」を設定する**

●「オプション設定のしかた」(☞76)をよくお読みください。

2 **録画時間を「標準3倍」にしてタイマー予約を設定する**

●36ページをよくお読みください。

メモ

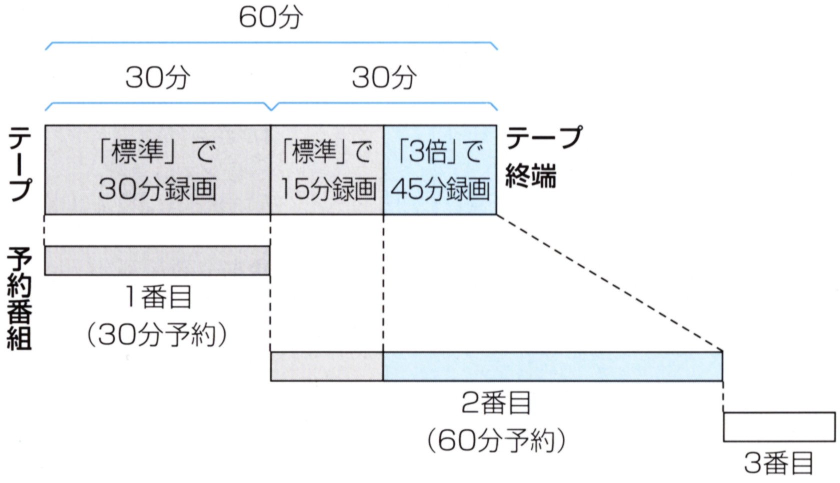
■ジャストレック機能について

ジャストレック機能は、1番組ごとに働きます。
また、テープ残量よりも長い番組のタイマー予約録画を実行しているときに働きます。

●下の図1の場合、2番目の番組のタイマー予約録画中にジャストレック機能が働き、その途中から「3倍」で録画を行います。3番目の番組は録画されません。

●ご使用になるカセットによっては、ジャストレック機能が正しく働かない場合があります。

図1

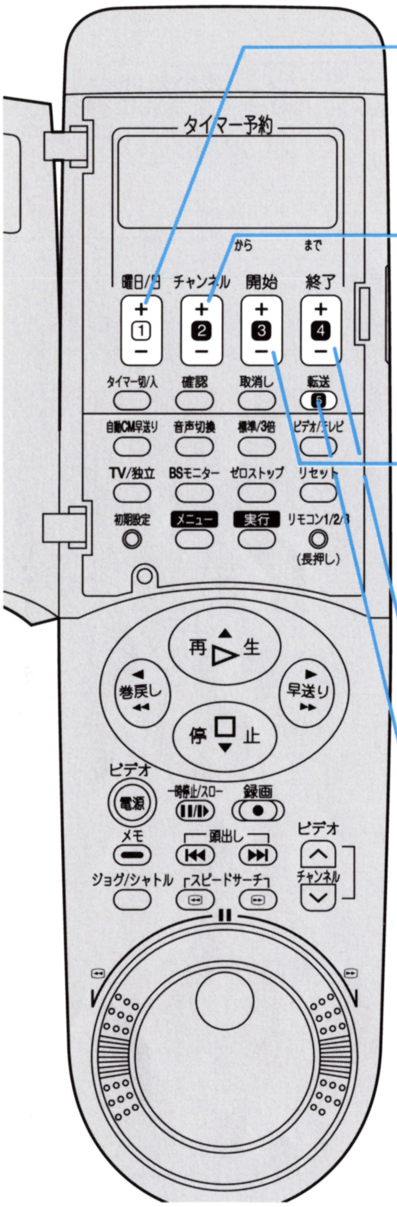


リモコン予約

■リモコン予約のしかた

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●“つめ”の折れていないカセットを入れる。
●ビデオの時計が正しいことを確認する。
●再生や録画などの動作中は、停止させる。

操作例：23日の21時から22時30分まで放送される4チャンネルの番組をタイマー予約する場合。



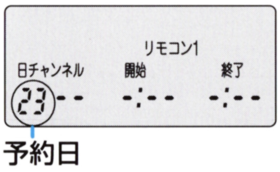
リモコン表示部

1 予約日を合わせる

（☞39）

曜日/日

●曜日／日ボタンで合わせる。

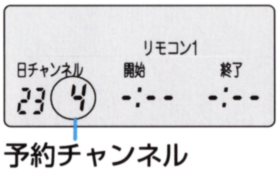


2 予約チャンネルを合わせる

（☞39）

チャンネル

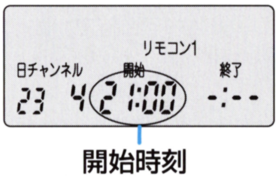
●チャンネルボタンで表示チャンネルに合わせる。



3 開始時刻を合わせる

開始

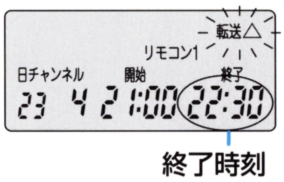
●開始ボタンで合わせる。
●1回押すと1分単位、押し続けると30分単位で変わります。



4 終了時刻を合わせる

終了

●終了ボタンで合わせる。

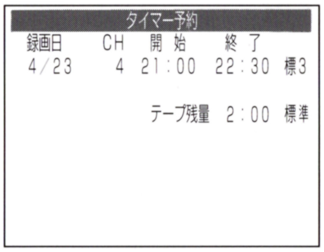


5 転送する

転送

●転送ボタンを押す。
●本体表示部とテレビ画面に予約内容が表示され、約14秒後にタイマー予約録画の待機状態になります。

テレビ画面



メモ

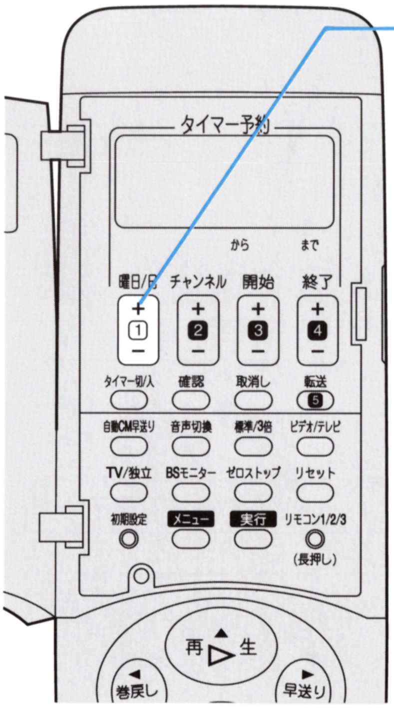
●手順3と4では、時刻の表示は24時間表示です。
●予約チャンネルと終了時刻（手順2と4）のみを合わせて転送すると、すぐに録画を始め、終了時刻までのタイマー予約録画を行います。
●録画時間（標準／3倍）については、☞36。
●2つ以上の予約を行うときは、上記の手順を繰り返してください。
●「タイマー予約」画面にテープ残量を表示しますので、現在入っているカセットで予約録画ができるかどうかの目安としてください。ただし、現在選ばれている録画時間（標準／3倍）で表示しますので、現在の設定と違う録画時間で予約するときにはご注意ください。（カセットを入れた直後など残量計算ができていないときは、テープ残量は表示されません）

お願い

●タイマー予約は全部で8番組までできます。すでに8番組の予約が設定されているときは、本体表示部に「FULL」が表示され、新しい予約を受け付けません。不要な予約を取り消してから（☞43）、もう一度予約を行ってください。

リモコン予約（つづき）

■予約日について（毎日／毎週予約）



リモコン予約の手順1で、曜日／日ボタンの＋側を押すごとに、以下のように変わります

●－側を押すと、逆の方に戻ります。

＜「今日」の予約＞
　今から24時間以内に始まる番組を予約します

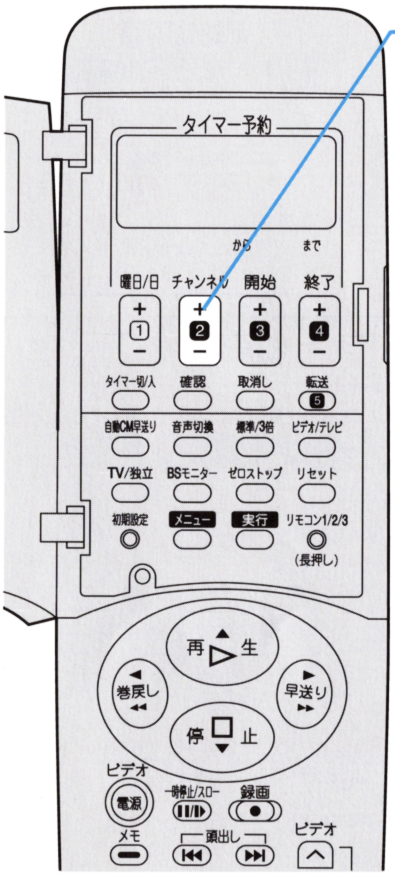
＜1週間以内の予約＞
　曜日を指定して予約します
　●日→月…→土

＜1カ月以内の予約＞
　日付を指定して予約します
　●1→2…→31

＜毎日予約＞
　同じ番組を、毎日録画する予約をします
　●毎週日～土（1週間、毎日）→毎週月～土→毎週月～金

＜毎週予約＞
　同じ曜日の番組を、毎週録画する予約をします
　●毎週日→毎週月…→毎週土

■予約チャンネルについて



リモコン予約の手順2で、チャンネルボタンの＋側を押すごとに、以下のように変わります

●押し続けると、10ずつ変わります。
●－側を押すと、逆の方に戻ります。

＜地上放送のチャンネル＞
　●1→2…→62（**表示チャンネル**です）

＜BSチャンネル＞
　●BS1→BS3…→BS15

＜CATVチャンネル＞
　●C13→C14…→C63
　●工場出荷時はとばされています（設定について、☞64）

＜外部入力チャンネル＞
　●L1→L2→L3

> **メモ**
> ●予約は**表示チャンネル**で行ってください。（表示チャンネルとは、☞71）
> ●不要なチャンネルをとばして素早く予約したいときは、リモコンの「予約チャンネル表示設定」を行ってください。（☞64）
> ●本体で設定されていない表示チャンネルで予約をしようとしても、正しく予約できません。

■予約内容の修正について

手順4までの間はどの項目からでも修正できますが、転送ボタンを押したあとの修正はできません

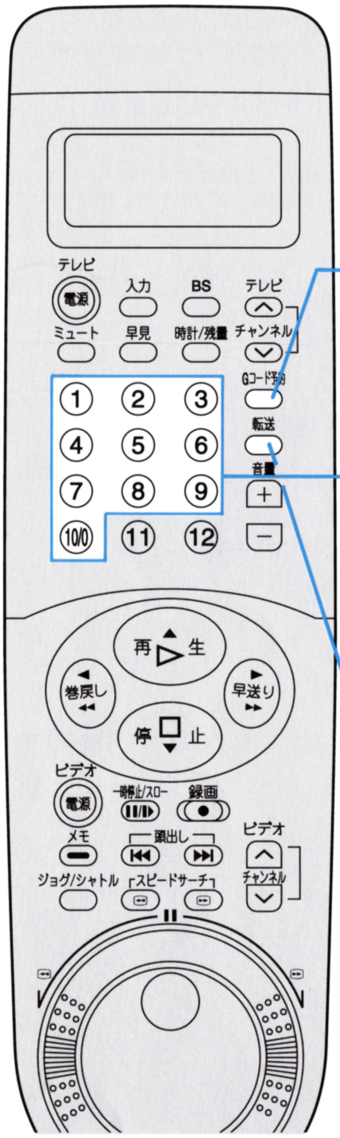
●修正したい予約内容を取り消し、もう一度予約し直してください。（☞43）

Gコード予約

■Gコード予約のしかた

新聞や雑誌のテレビ番組欄に付けられたGコードを入力するだけで、簡単に予約ができます

Gコード予約を行うには、ガイドチャンネルの設定が必要です（☞65）



準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●"つめ"の折れていないカセットを入れる。
●ビデオの時計が正しいことを確認する。
●再生や録画などの動作中は、停止させる。

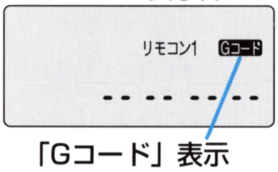
操作例：Gコードが「78864」の番組を予約する場合。

1　リモコン表示部に「Gコード」表示を出す

Gコード予約

●Gコード予約ボタンを押す。

リモコン表示部



2　Gコードを入力する

⑦⑧⑧⑥④

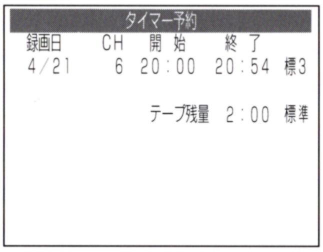
●番号ボタンで入力する。
●間違えたときは、Gコード予約ボタンを2回押し、正しい番号を再入力してください。

3　転送する

転送

●転送ボタンを押す。
●本体表示部とテレビ画面に実際の予約内容が表示され、約14秒後にタイマー予約録画の待機状態になります。

テレビ画面



4　リモコン表示部の「Gコード」表示を消す

●Gコード予約ボタンを押す。

メモ

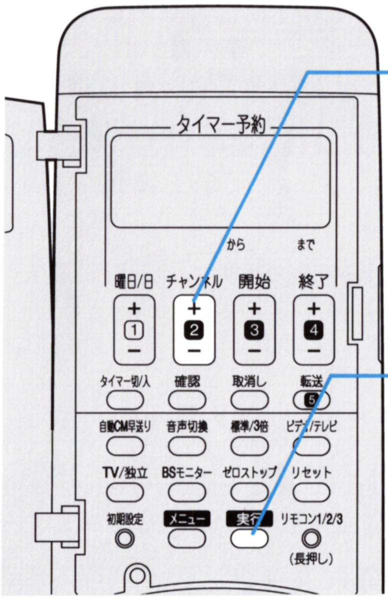
●Gコード予約の場合、実際の番組よりも多少長めに録画される場合があります。
●録画時間（標準／3倍）については、☞36。
●2つ以上の予約を行うときは、上記の手順を繰り返してください。
●「タイマー予約」画面にテープ残量を表示しますので、現在入っているカセットで予約録画ができるかどうかの目安としてください。ただし、現在選ばれている録画時間（標準／3倍）で表示しますので、現在の設定と違う録画時間で予約するときにはご注意ください。（カセットを入れた直後など残量計算ができていないときは、テープ残量は表示されません）
●手順3のイラストは、表示の一例です。Gコードは各番組ごとに付けられていますので、予約する時期によって、同じ番号でも予約内容は異なります。

お願い

●転送できないときは、もう一度最初から予約を行ってください。
●同じガイドチャンネルが複数のチャンネルポジションに設定されていると、Gコード予約が正しく行われない原因となります。不要なチャンネルは必ずとばしておいてください。（☞73）
●タイマー予約は全部で8番組までできます。すでに8番組の予約が設定されているときは、本体表示部に「FULL」が表示され、新しい予約を受け付けません。不要な予約を取り消してから（☞43）、もう一度予約を行ってください。

Gコード予約（つづき）

■チャンネルが選ばれないとき



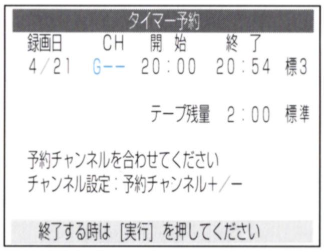
操作例：6チャンネルの番組をGコード予約したとき。

1 Gコード予約を行ったときに「G−−」表示が出たら、予約チャンネルを合わせる

チャンネル ＋2−

●リモコン予約設定部のチャンネルボタンで合わせる。

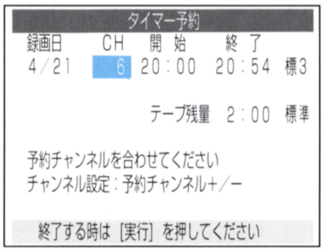
テレビ画面



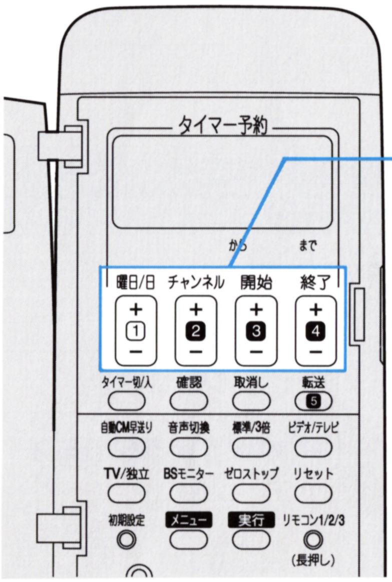
2 実行ボタンを押す

実行

●手順1で合わせたチャンネルのガイドチャンネルが設定されます。



■予約内容の修正について



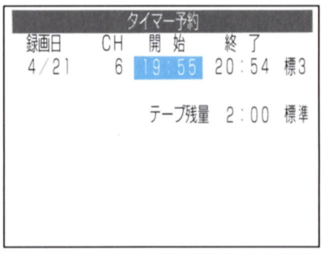
操作例：開始時刻を5分早める場合。

転送したあと、「予約設定」画面が表示されている間に、リモコン予約設定部のボタンで予約内容を修正する

開始 ＋3−

●例の場合、開始ボタンで修正する。

テレビ画面



メモ

●どの項目からでも修正ができます。
●各ボタンは、リモコン予約のときと同じように操作してください。（☞38）
（ただし、曜日／日ボタンを押しても、毎日／毎週予約はできますが、日付の変更はできません）

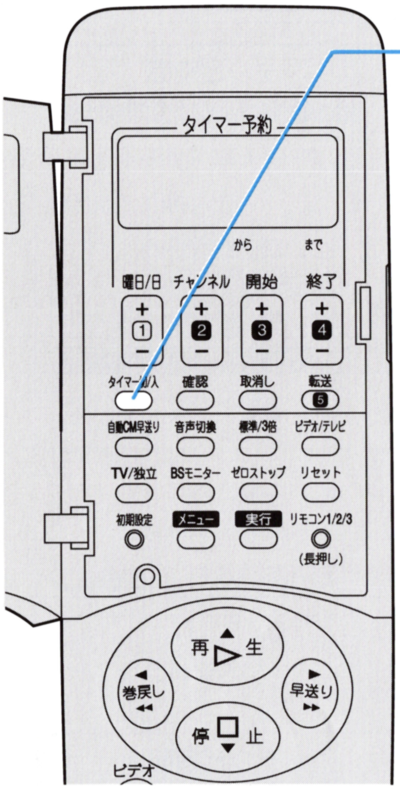
■Gコードについて

Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

●Gコードとは、新聞やテレビ番組ガイド誌などのテレビ番組欄で、それぞれの番組に付けられている最大8桁の数字のことです。Gコードを入力して転送すると、本機で実際の予約内容に変換します。

タイマー予約を解除する

タイマー予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などの操作をするには



本体表示部の「予約」表示を消す

タイマー切/入

●タイマー切／入ボタンを押す。

本体表示部

「予約」表示

■待機状態に戻すには

タイマー切／入ボタンを押し、「予約」表示を出す

タイマー切/入

お願い

●「予約」表示を出しておかないと、タイマー予約録画は実行されませんのでご注意ください。

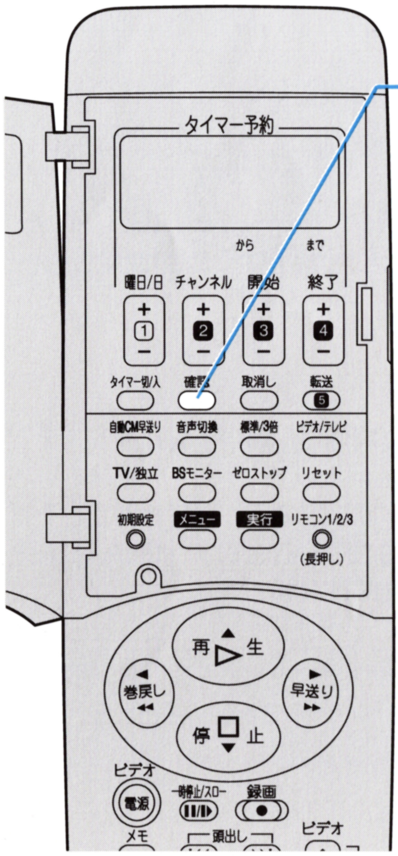
メモ

●本体のタイマー予約切／入ボタンでも同じ操作を行うことができます。

予約内容を確認する

ビデオの電源が「入」のとき、または「予約」表示が出ているときに操作します

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）

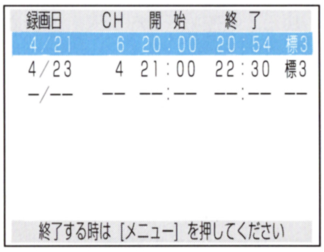


確認ボタンを押す

確認

●予約内容の一覧が表示され、約1分後に元の状態に戻ります。

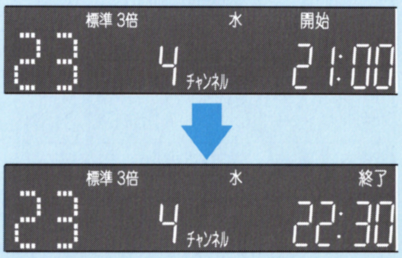
テレビ画面



メモ

●確認ボタンを押すごとに、本体表示部に、タイマー予約内容が実行される順番に表示されます。

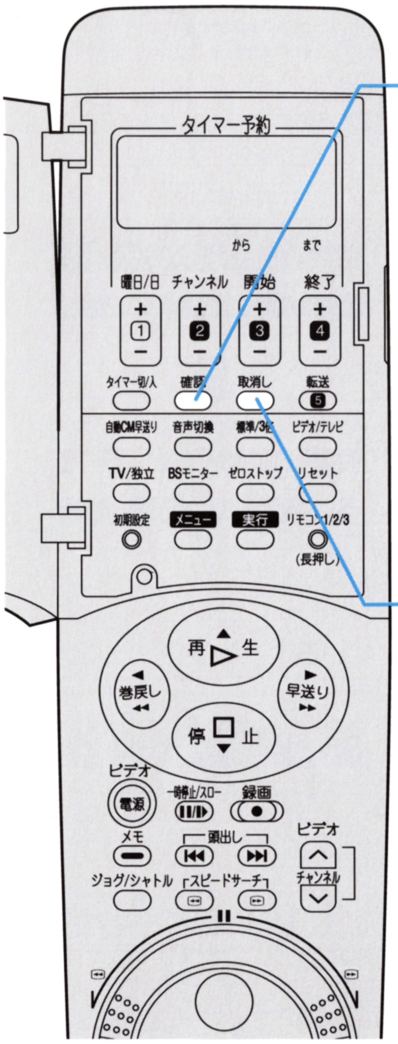
本体表示部



●「−−」の表示が出るときは、タイマー予約内容が8つ未満であることを示しています。

予約内容を取り消す

ビデオの電源が「入」で録画や再生などの動作状態でないとき、または「予約」表示が出ているときに操作します



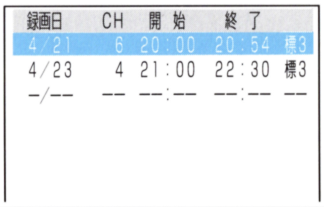
準備：●テレビにビデオの画面を出す。(☞17)

1　確認ボタンを押す

確認

●予約内容の一覧が表示されます。

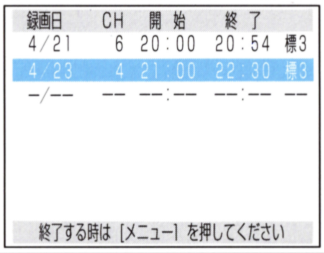
テレビ画面



2　取り消したい予約内容を選ぶ

確認

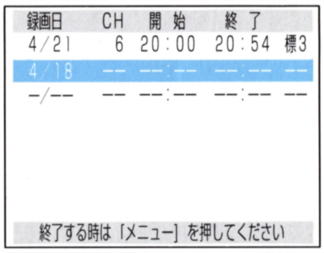
●確認ボタンを、さらに何度か押す。



3　予約内容を取り消す

取消し

●取消しボタンを押す。
(予約内容が表示されている間に押してください)

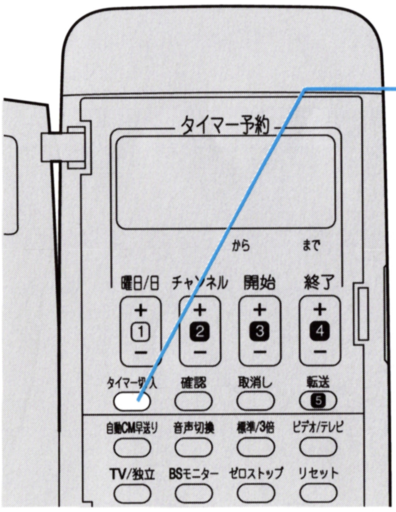


メモ

●確認ボタンを押すごとに、本体表示部に、タイマー予約内容が実行される順番に表示されますので、こうして不要な予約内容を表示させ、取消しボタンを押して取り消すこともできます。

タイマー予約録画を途中でやめる

タイマー予約録画が始まってから、途中でやめるには



タイマー予約録画中に、「予約」表示を消す

タイマー切/入

●タイマー切／入ボタンを押す。

本体表示部

「予約」表示

メモ

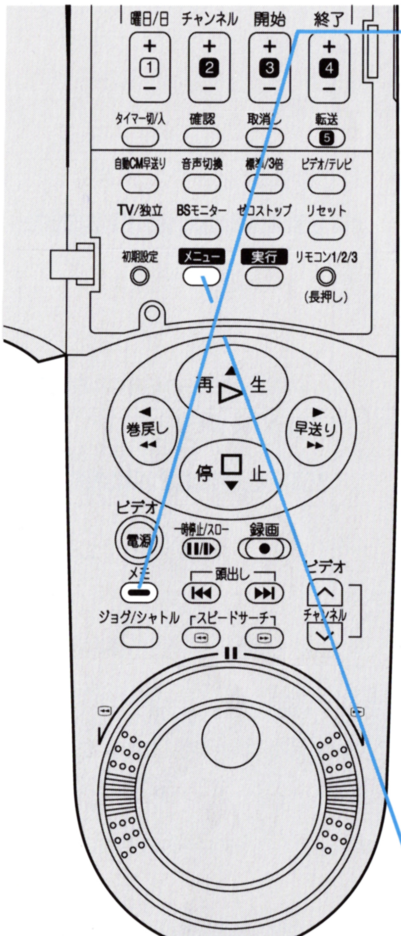
●録画が終わり、電源「入」の状態になります。
●本体のタイマー予約切／入ボタンでも同じ操作を行うことができます。

タイマー予約録画した番組を頭出しする（メモ付留守録頭出し機能）

■留守録メモ機能を使って頭出しする

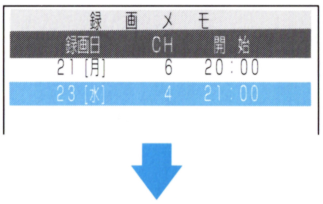
本機でタイマー予約録画を行うと、その予約内容をビデオが覚えていて、その予約内容のリストで番組を選び、頭出しを行うことができます（タイマー予約録画を実行したあとにカセットを取り出したときは働きません）

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●タイマー予約録画の待機中になっているときは、待機状態を解除する。（☞42）

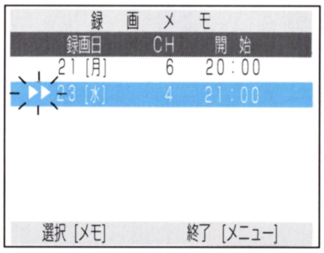


「録画メモ」画面を出す

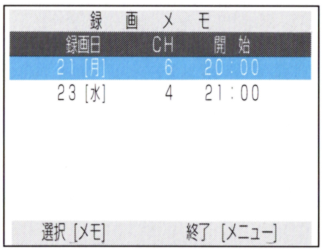
テレビ画面



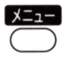
●メモボタンを押す。
●そのまま約3秒以上放置すると、一番最後にタイマー予約録画した番組の頭出しを行い始めます。
●頭出しが終わると、そこから再生を始めます。



■他の番組を頭出しするには
メモボタンを何度か押し、頭出ししたい番組を選ぶ。
●頭出しを始めたあとも、メモボタンを押すことによって別の番組を選ぶことができます。



■途中で頭出しをやめるには
メニューボタンを押し、「録画メモ」画面を消す



お願い

●メモ付留守録頭出し機能は、タイマー予約録画したカセットにのみ働きます。
●メモ付留守録頭出し機能は、そのときに入っているカセットにのみ働きますので、カセットを取り出したり入れ換えたりすると、予約内容の情報がすべて消去されてしまいます。このときは、通常の「頭出し」（☞22）を行ってください。
●番組の録画を約15分以上行わないと、メモ付留守録頭出し機能が正常に働かない場合がありますのでご注意ください。
●メモ付留守録頭出し機能は、タイマー予約録画した番組をテープ残量で記憶しますので、「オプション設定」の「テープ長さ」が正しく設定されていないときは、メモ付留守録頭出し機能は正しく働きません。（☞76）

■テレビ連動操作（今すぐ再生）を行っているとき（☞63）
メモボタンを押したときに、同時にテレビの入力を「ビデオ1」にする信号も出しているため、ご使用になるテレビによっては、メモボタンを押すたびにテレビ画面に「ビデオ1」表示が出たり、テレビ画面が一瞬黒くなったりすることがあります。
この現象が気になるときは、テレビ連動（今すぐ再生）設定を解除してください。

メモ

●再生中にメモボタンを押すと、そこで再生をやめ、「録画メモ」画面を出します。

タイマー予約録画した番組を頭出しする（メモ付留守録頭出し機能）（つづき）

■「録画メモ」画面について

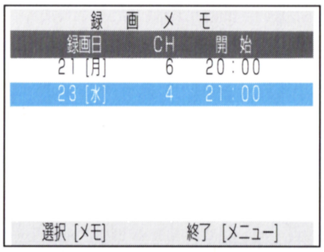
■「録画メモ」画面には、タイマー予約録画を行った内容が、実行された順番に表示されます

●メモボタンを1回押したときには、1番最後にタイマー予約録画された番組を選んだ状態になっていますが、そのあとメモボタンを押すごとに、一つ前の番組（画面上では一つ上の番組）を選ぶことができます。

●頭出しを始めたあとも、メモボタンを押すことによって別の番組を選ぶことができます。

●一番上の番組を選んでいるときにメモボタンをもう一度押すと、一番下の番組を選んだ状態になります。

テレビ画面



■「録画メモ」画面に「−−」表示が出ているとき

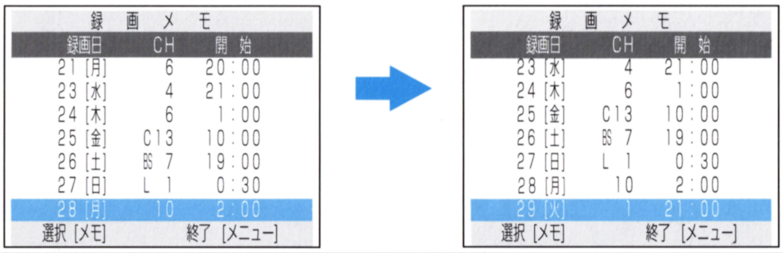
カセットを入れ換えた直後など、タイマー予約録画を実行していないときにメモボタンを押すと、「録画メモ」画面に「−−」が表示されます

●メモ付留守録頭出し機能は働きません。

●メニューボタンを押して、「録画メモ」画面を消してください。

■「録画メモ」画面には、最大7番組まで表示されます

8番組以上のタイマー予約録画を行うと、「録画メモ」画面から1番古い番組が削除され、新たにタイマー予約録画した番組が、登録・表示されていきます。

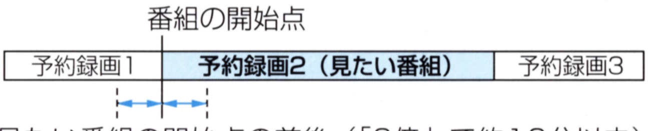


■見たい番組の開始点から、「3倍」で約10分以内のテープ位置にあるときにその番組を選ぶと、その位置からの再生となります。（右図1）

●誤動作を防ぐため、テープ残量の誤差の範囲内として管理しています。

●早送り／巻戻し再生を行って、番組の開始点を探してください。

図1



見たい番組の開始点の前後（「3倍」で約10分以内）

●このテープ位置にあるときに、その番組を選ぶと、その位置からすぐに再生を始めます。

■カセットの同じ部分に、重ねて別の番組をタイマー予約録画したとき

元々録画されていた方の番組が、「録画メモ」画面から削除されます。また、新たに録画した番組の前後から、「3倍」で約10分以内の場所から始まる番組も「録画メモ」画面から削除されます。

●右の**図2**・**図3**の場合は、**予約録画2・予約録画3**が削除されます。

●右の**図4**の場合は、**予約録画2・予約録画3**は削除されません。

●通常の録画を行ったときも、同様に古い番組が削除されますが、新たに行った録画は登録されません。

図2

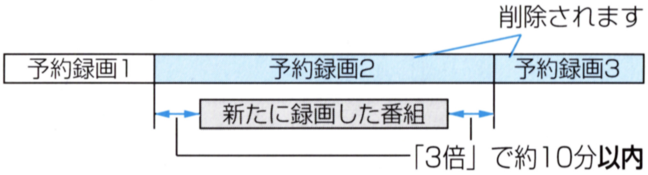


図3

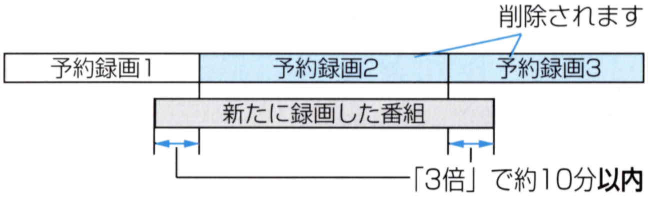
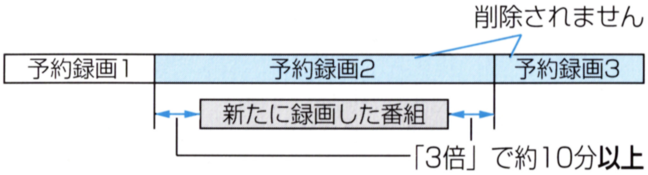
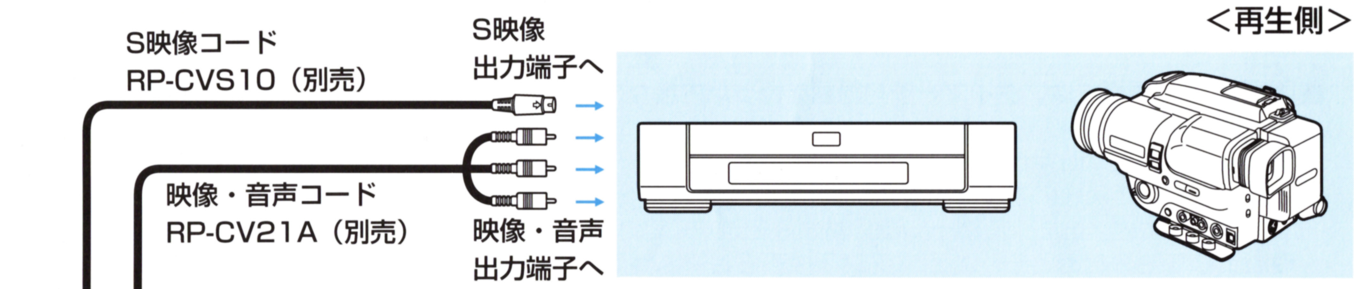


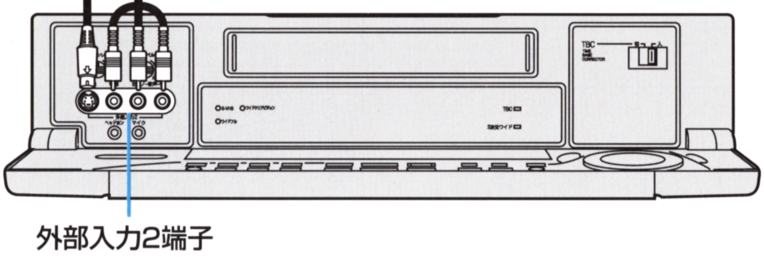
図4



編集

前面の外部入力2端子への接続

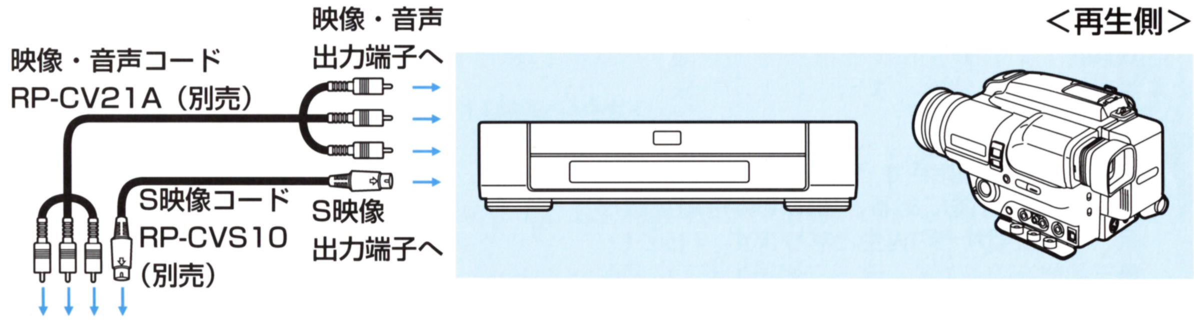


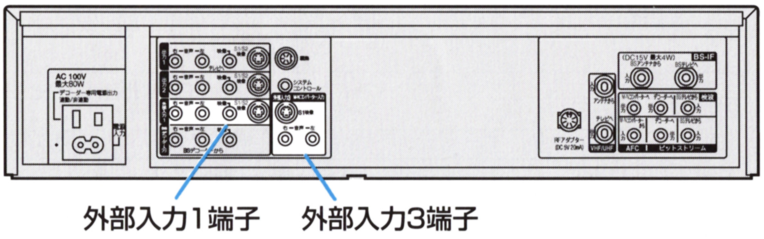


本機＜録画側＞

●S映像コードと映像・音声コードを同時に接続しているときは、S映像入力端子からの映像を常に優先しています。再生側の機器にS映像出力端子がない場合は、正しく録画するために、S映像コードは本機に接続しないでください。

後面に接続する場合





本機＜録画側＞

●S映像コードと映像・音声コードを同時に接続しているときは、S映像入力端子からの映像を常に優先しています。再生側の機器にS映像出力端子がない場合は、正しく録画するために、S映像コードは本機に接続しないでください。

編集時のお願い

●接続をするときは、それぞれの機器の電源を、必ず「切」にしておいてください
●S映像・映像・音声コードの接続のしかたについては、接続する機器の説明書もよくお読みください。
●接続する機器（再生側）にS映像出力端子がある場合は、S映像コードで接続してください。
●外部入力3端子には映像入力端子はS映像入力端子しかありませんので、外部入力3端子に接続する場合はS映像コードRP-CVS10（別売）と音声コードRP-CA34A（別売）をご使用ください。
●モノラル音声を録音するときは、前面の外部入力2端子の音声「左／モノ（白色）」端子に接続してください。
●画質の劣化をおさえるため、3次元ワイドは「切」にしておいてください。また、本機を再生側として使用するときにも、テレビ画面の文字を記録してしまうことを防ぎます。（☞18）
●再生側ビデオに音声切換の機能があるときは、あらかじめ録音したい音声を選んでから編集を始めてください。
●ダビング用として、2台以上のビデオをテレビ専用台に収納する場合、テレビからの妨害を軽減させるために、録画機を上段、再生機を下段に収納してください。再生側ビデオをテレビに近づけると、黒い帯状のノイズが録画される場合があります。
●とばした外部入力チャンネルは選べません。（☞73）

編集（ダビング）のしかた

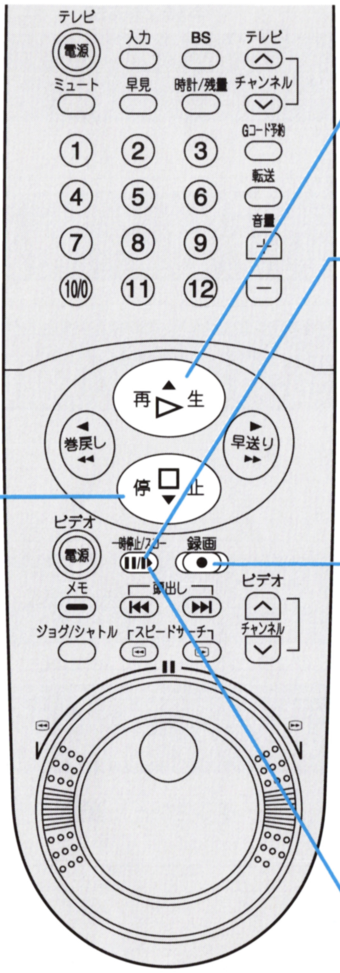
録画済みの映像・音声を、別のカセットに録画（ダビング）します

準備：
- 再生側ビデオに、録画済みのカセットを入れる。
- 録画側ビデオ（本機）に、"つめ"の折れていないカセットを入れる。
- 3次元ワイドを「切」にする。（☞18）
- 録画側ビデオ（本機）で、接続した外部入力チャンネルを選ぶ。（右の表1をご参照ください）
- 標準／3倍ボタンを押し、録画時間を選ぶ。

表1

接続した端子	表示CH
外部入力1端子	L1
外部入力2端子	L2
外部入力3端子	L3

操作例：外部入力2端子（前面）に接続した場合。



本体表示部

1 録画側（本機）
録画の開始点をさがす

再▷生

●再生を行う。

2 録画の開始点で、静止画再生にする

一時停止/スロー

●再生中に、一時停止／スローボタンをポンと短く押す。
●スロー再生になっていないことを確認してください。

3 録画の一時停止にする

録画

●録画ボタンを押すと、録画の一時停止になります。

4 再生側
再生を始める

5 録画側（本機）
録画を始める

一時停止/スロー

●一時停止／スローボタンを押すと、録画の一時停止が解除され、ダビングが始まります。

■**やめるには**
停止ボタンを押す

停□止

●再生側ビデオも停止させてください。

メモ
- M-Nコンバーターと接続すると（☞58、59）、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。
- 手順2と5は、本体の一時停止ボタンでも同じ操作ができます。

インサート編集

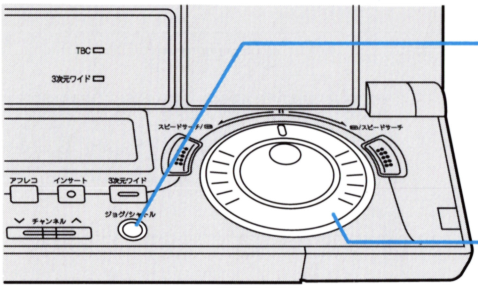
録画済みのテープの一部を、別の映像・音声に入れ替える編集です

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）
●“つめ”の折れていないカセットを入れる。
●3次元ワイドを「切」にする。（☞18）
●映像を出力する機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ。
（右の表1をご参照ください）

表1

接続した端子	表示CH
外部入力1端子	L1
外部入力2端子	L2
外部入力3端子	L3

操作例：外部入力2端子（前面）に接続した場合。



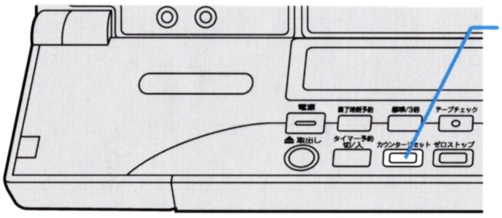
1 ジョグ／シャトルボタンを押す

ジョグ/シャトル

●静止画再生になります。

本体表示部

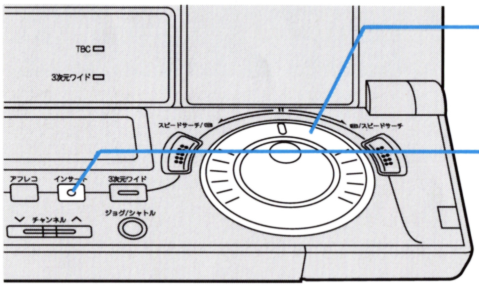
2 編集の終了点をさがし、そこで静止画再生にする



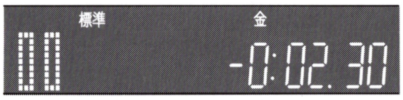
3 カウンターリセットボタンを押す

カウンターリセット

●テープカウンター表示の値が「0：00.00」になります。



4 編集の開始点をさがし、そこで静止画再生にする

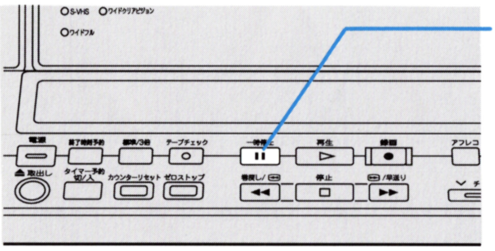


5 インサートボタンを押す

インサート

●本体表示部に「インサート表示」が出ます。

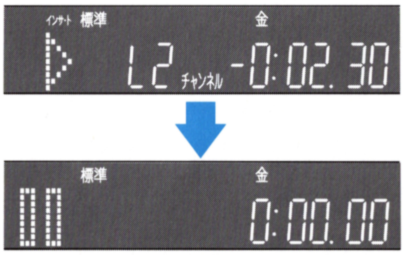
6 インサートする映像を準備する



7 一時停止ボタンを押す

一時停止

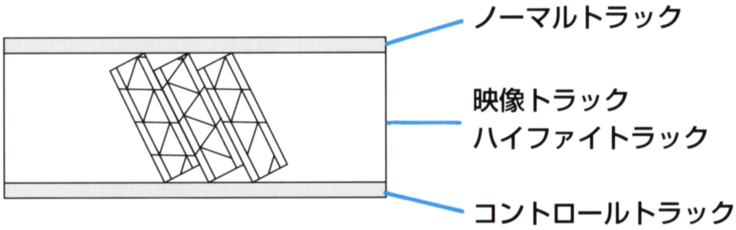
●インサート編集が始まります。
●カウンター「0：00.00」の付近で編集を終了し、静止画再生に戻ります。



インサート編集（つづき）

■音声について

Hi-Fi（ステレオ）タイプのビデオで録画されたビデオテープには、ハイファイトラックとノーマルトラックの2種類の音声トラックがあります



ハイファイトラック上にはステレオ音声・二重音声（主・副音声）が、ノーマルトラック上にはモノラル音声（ステレオ音声の左＋右）・主音声が記録されています

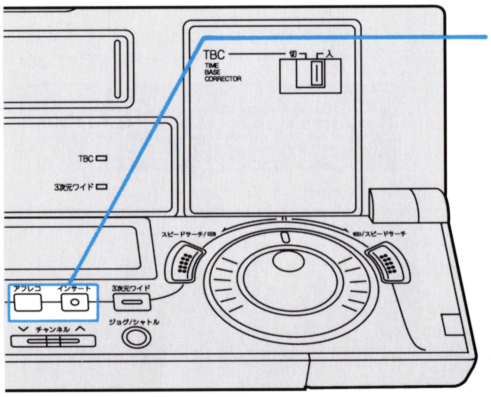
●本書では、ハイファイトラック上の音声を「ハイファイ音声」、ノーマルトラック上の音声を「ノーマル音声」と呼んでいます。

インサート編集時には、音声はハイファイトラックにのみ録音されます

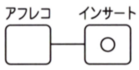
ノーマルトラックには、インサート編集前の音声が残ります。ノーマルトラックの音声も新しい音声に入れ替えたいときは、下記のAVインサート編集を行ってください。

■AVインサート編集

ノーマルトラックにもインサート編集時の音声を録音します



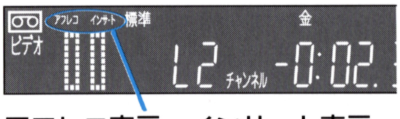
インサート編集の手順5の時に、インサートボタンを押したあと、続けてアフレコボタンを押してください



●本体表示部に、インサート表示とアフレコ表示が同時に出ます。

●その他の操作は、インサート編集の操作と同じです。

本体表示部



アフレコ表示、インサート表示

お願い

●カセットの未録画部分では、映像を正しく再生するためのコントロール信号がコントロールトラックに記録されていないため、インサート編集を行うことはできませんのでご注意ください。

●S-VHSのカセットにVHS方式で録画したテープをご使用になるときは、オプション設定で「SVHS録画」を「切」にしてください。（☞76）

メモ

●手順2と4の、ジョグダイヤルおよびシャトルリングの操作については、☞21。

●手順3は、リモコンのリセットボタンでも同じ操作ができます。

●M-Nコンバーターと接続すると（☞58、59）、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。

アフレコ編集

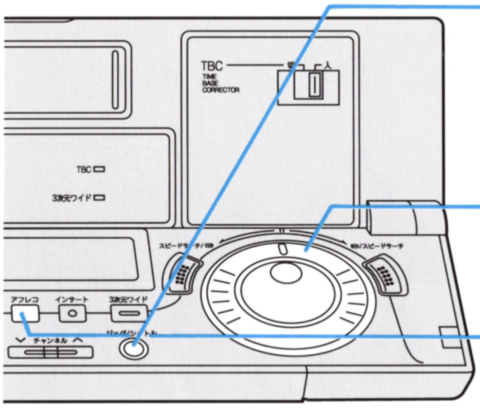
録画済みのテープにナレーションなどをあとから追加する編集です

準備：●テレビにビデオの画面を出す。(☞17)
●“つめ”の折れていないカセットを入れる。
●3次元ワイドを「切」にする。(☞18)
●音声を出力する機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ。
（右の表1をご参照ください）

表1

接続した端子	表示CH
外部入力1端子	L1
外部入力2端子	L2
外部入力3端子	L3

操作例：外部入力2端子（前面）に接続した場合。



1 ジョグ／シャトルボタンを押す
ジョグ/シャトル

●静止画再生になります。

本体表示部

2 編集の開始点をさがし、そこで静止画再生にする

3 アフレコボタンを押す
アフレコ

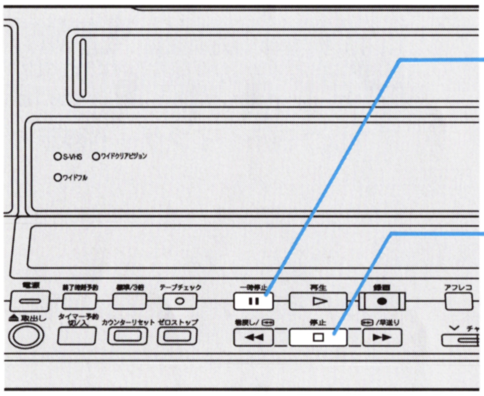
●本体表示部に「アフレコ表示」が出ます。

アフレコ表示

4 アフレコする音声を準備する

5 一時停止ボタンを押す
一時停止

●アフレコ編集が始まります。

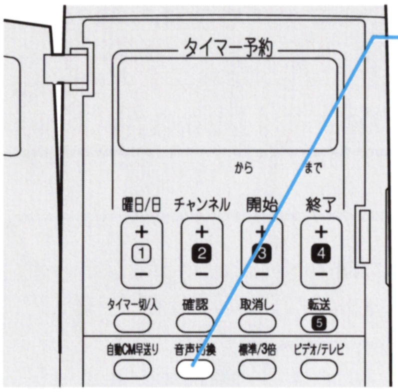


■やめるには
停止ボタンを押す
停止

メモ
●手順2の、ジョグダイヤルおよびシャトルリングの操作については、☞21。
●M-Nコンバーターと接続すると（☞58、59)、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。

アフレコ編集（つづき）

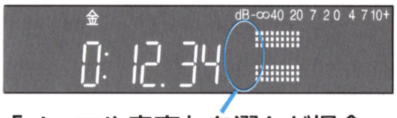
■アフレコ編集を行ったカセットを再生するときは



音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶ（☞26）

●「ノーマル音声」を選ぶとアフレコした音声が聞こえます。
●「ミックス音声」を選ぶとハイファイ音声とノーマル音声を同時に聞くことができます。

本体表示部



「ノーマル音声」を選んだ場合

「ミックス音声」を選んだ場合

メモ

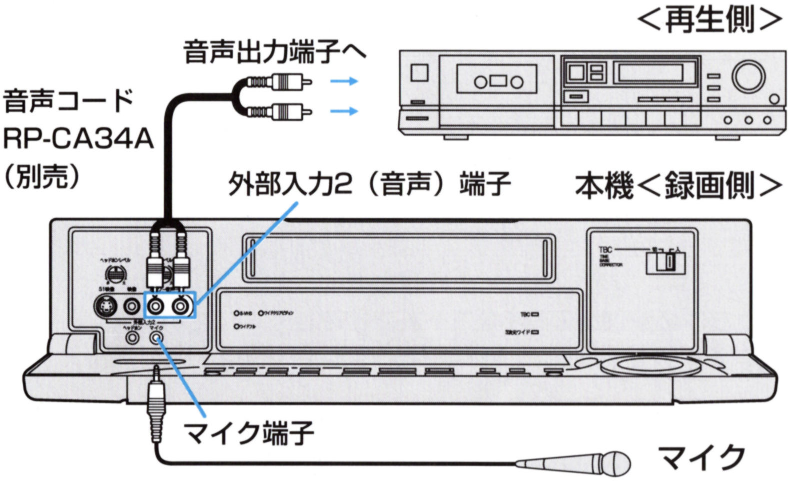
■アフレコ編集後の音声について
ノーマルトラックに新しい音声が記録され、アフレコ編集前の音声は消去されます
●ハイファイトラックには元の音声が残っています。

お願い

●「ミックス音声」は、アフレコ編集を行うときや、アフレコ編集を行ったテープを再生するときに選んでください。（「ミックス音声」を選ぶと、音声がこもって聞こえる場合があります）

■マイク／オーディオ機器との接続

接続をするときは、それぞれの機器の電源を「切」にしておいてください



メモ

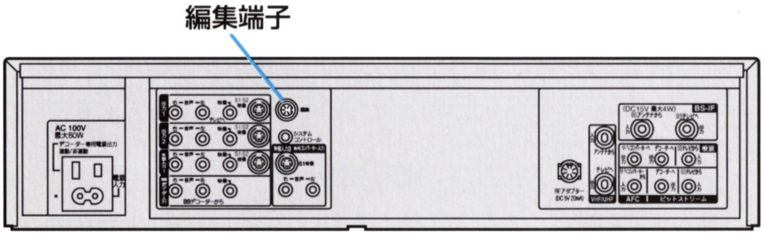
●モノラル音声を録音するときは前面の外部入力2（音声）端子の「左／モノ」に接続してください。

お願い

●マイクを接続しているときは常にマイクからの音声を録音しますので、マイクを使わないときは必ず外しておいてください。（マイクからの音声はモノラルで録音されます。）

編集端子について

エディティングコントローラー（VW-EC300、別売）を編集端子に接続することにより、よりスピーディーに編集を楽しむことができます



メモ

●本機ともう一台の編集端子付きビデオが必要です。

お願い

●編集端子には保護キャップが付いています。編集端子を使用するときは、保護キャップを外しておいてください。

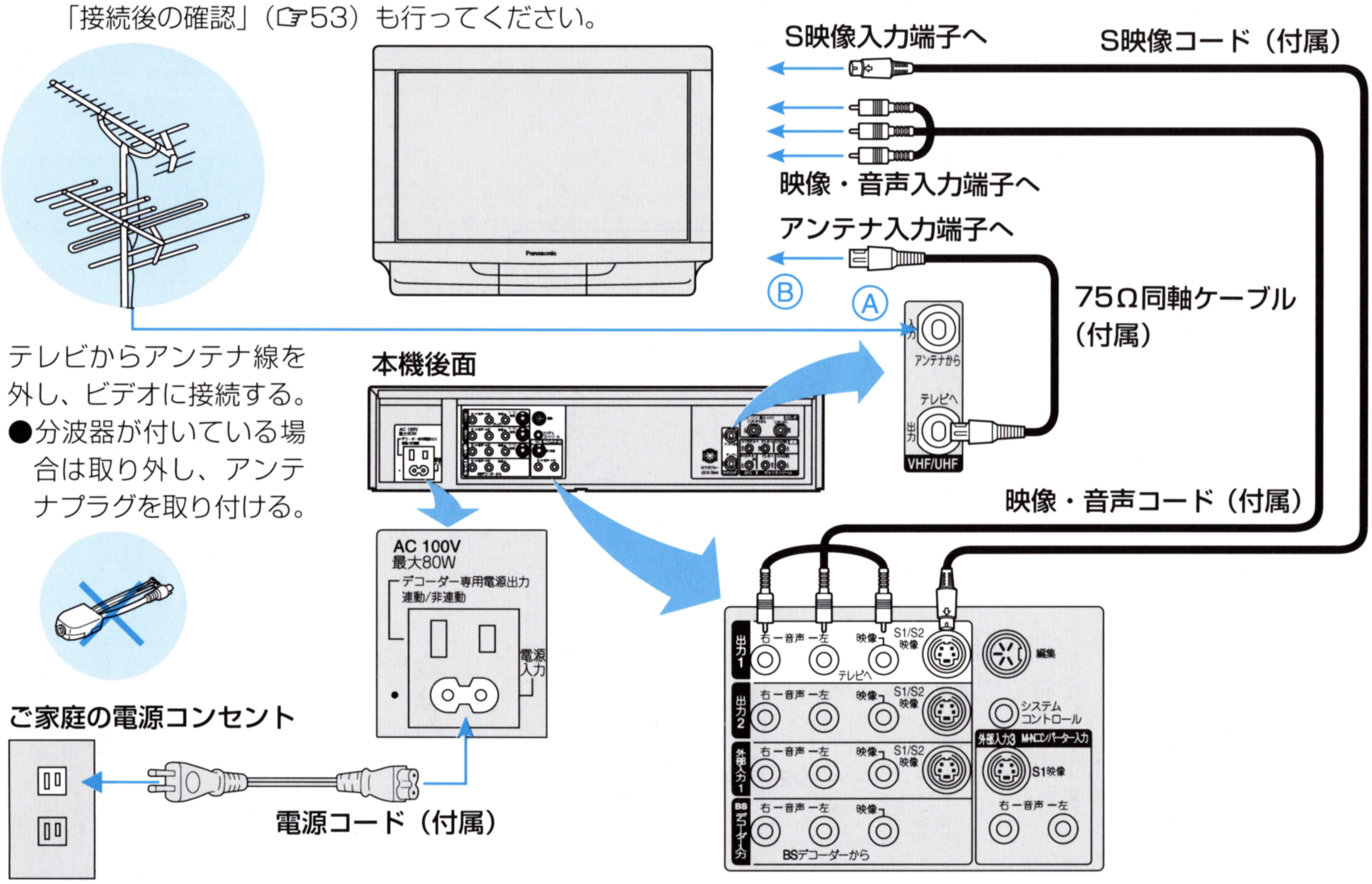
接続

アンテナ・テレビとの接続

■映像・音声コードで接続する場合

下図のように、アンテナ・テレビと接続してください

●接続が終わったらテレビの電源を「入」にし、テレビが今まで通りに使えることを確認してください。また、「接続後の確認」(☞53)も行ってください。



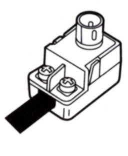
メモ

■テレビに映像・音声入力端子があるときは必ず付属の映像・音声コードで接続してください
●映像・音声コードでの接続を行っていないと、音声はすべてモノラルになります。
●テレビの音声入力端子がモノラルの場合は、映像・音声コードRP-CV16A（別売）をご使用ください。

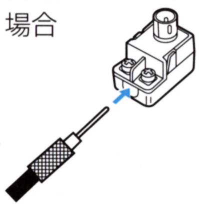
■テレビにS映像入力端子があるときは必ず付属のS映像コードで接続してください
●より鮮明な映像をお楽しみいただけます。

Ⓐ アンテナ線との接続（アンテナ線の種類によって違いますので、まず形状を確認してください）

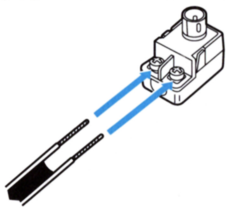
●付属のアンテナプラグと同じ場合はそのまま



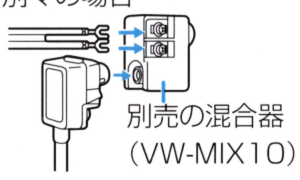
●同軸ケーブル直接型の場合



●平行フィーダー型の場合

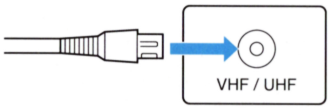


●アンテナ線が、V/U別々の場合

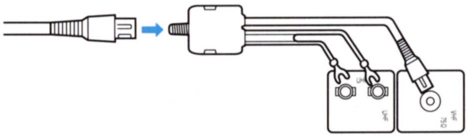


Ⓑ テレビとの接続（テレビの接続端子の種類によって違います）

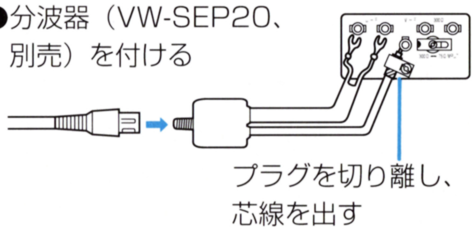
●そのまま接続する



●分波器（VW-SEP20、別売）を付ける



●分波器（VW-SEP20、別売）を付ける

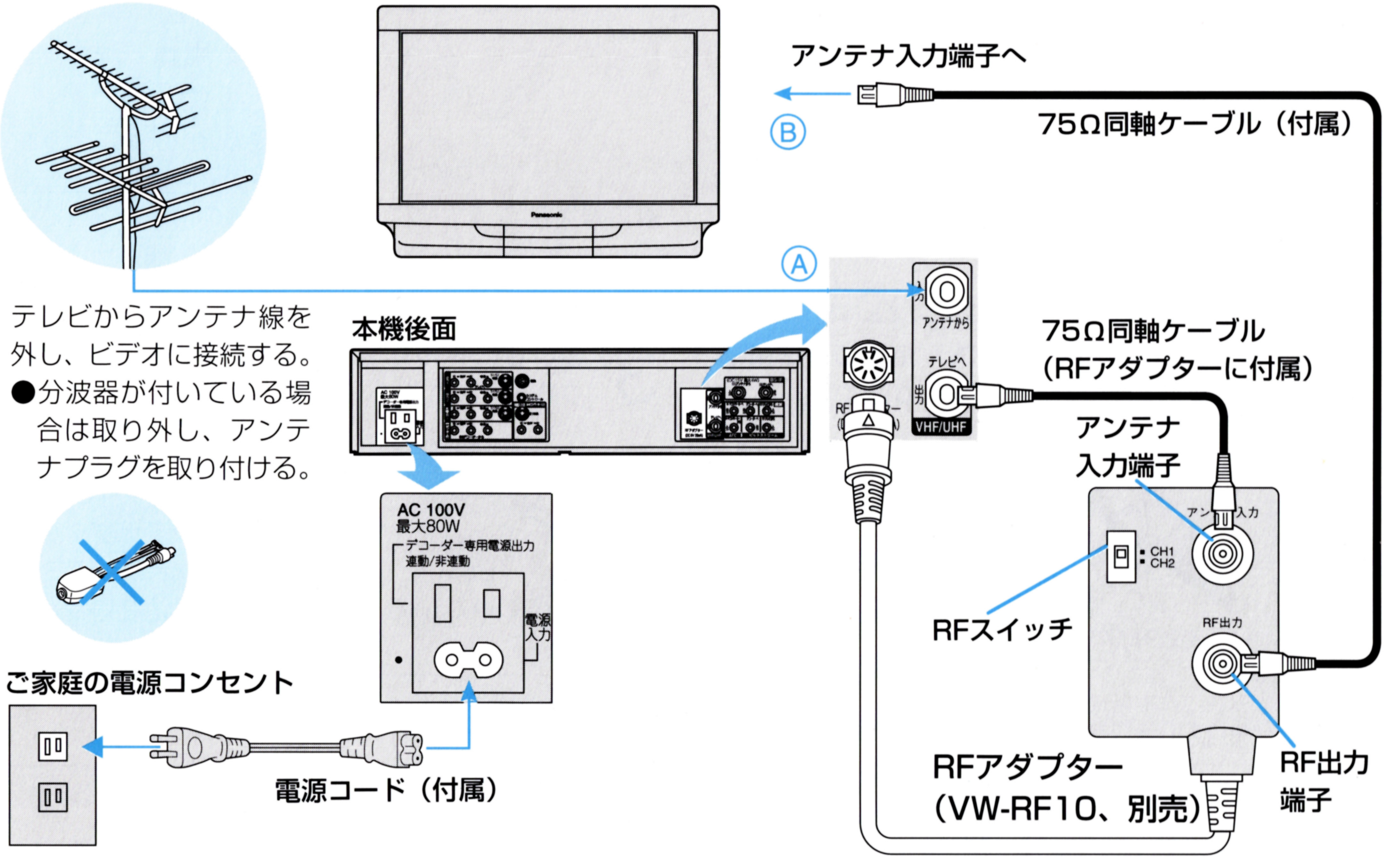


アンテナ・テレビとの接続（つづき）

■映像・音声入力端子のないテレビと接続する場合

下図のように、アンテナ・テレビと接続してください（別売のRFアダプターが必要です）

●接続が終わったらテレビの電源を「入」にし、テレビが今まで通りに使えることを確認してください。また、「接続後の確認」（下記）も行ってください。



■接続後の確認

映像・音声コードで接続している場合	映像・音声コードで接続していない場合
1. **テレビとビデオの電源を「入」にする** 2. **テレビの入力切換を「ビデオ」にする** ●リモコンの入力ボタンを押す。 3. **ビデオのチャンネルを切り換える** ●ビデオチャンネルボタンを次々に押し、きれいに映っていることを確認する。	1. **テレビとビデオの電源を「入」にする** 2. **テレビのチャンネルを「1」または「2」にする** ●放送されていない方のチャンネルにする。 3. **RFアダプターのRFスイッチを「CH1」または「CH2」にする** 4. **本体表示部に「ビデオ」表示を出す** ●ビデオ／テレビボタンを押す。 5. **ビデオのチャンネルを切り換える** ●ビデオチャンネルボタンを次々に押し、きれいに映っていることを確認する。

●録画されたテープやソフトテープがある場合は、再生してきれいに映ることを確認してください。

■画面の映りが悪いときは

電波が弱い地域では、ビデオをつなぐと映りが悪くなることがあります。その場合は、市販のアンテナブースターなどをご使用ください。

■あるチャンネルだけが映らないときは

ビデオのチャンネル調整がずれていることがあります。受信チャンネルを微調整してください。（☞74）

■映像・音声コードで接続していないときに、ビデオの画面がきれいに映らないときは

テレビのチャンネル「1」または「2」の調整をしてください。また、テレビの説明書もよくお読みください。

アンテナ線の加工

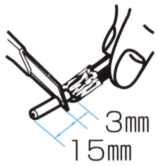
■同軸ケーブルの芯線の出しかた

3Cケーブル（同軸ケーブルの太さが約6㎜）の場合

1 外側のビニールだけにすじを入れ、切り取る

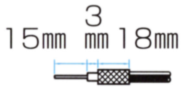
2 金属のアミ線を折り返す

3 白いビニールに切り込みを入れる



●芯線を傷つけないでください。

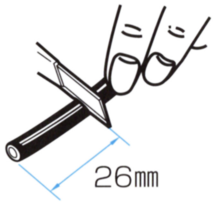
4 芯線を出す



●付属のアンテナプラグを使用する場合は、アミ線や芯線の寸法を守ってください。

5Cケーブル（同軸ケーブルの太さが約8㎜）の場合

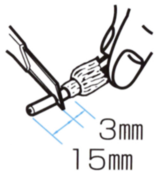
1 外側のビニールだけにすじを入れ、切り取る



2 金属のアミ線を折り返す

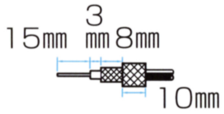
●先端から18㎜分のみ折り返してください。

3 白いビニールに切り込みを入れる



●芯線を傷つけないでください。

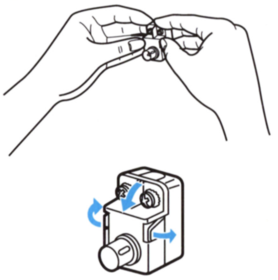
4 芯線を出す



●付属のアンテナプラグを使用する場合は、アミ線や芯線の寸法を守ってください。

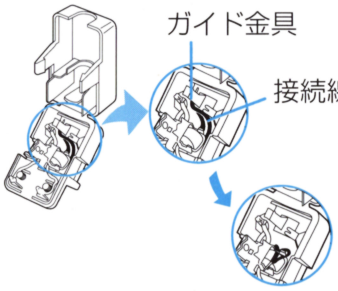
■同軸ケーブルとアンテナプラグのつなぎかた

1 カバーを外す



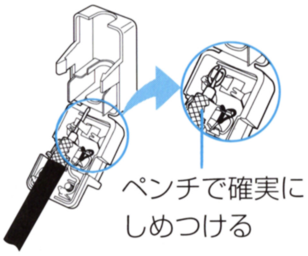
●両側の“つめ”を広げてカバーを外してください。

2 接続線を外し、曲げる



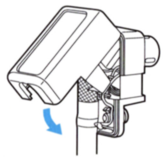
●接続線をガイド金具から外し、図のように曲げてください。

3 同軸ケーブルを付ける



●芯線が他に接触しないように、ガイド金具に確実に巻き付けてください。

4 カバーを付ける

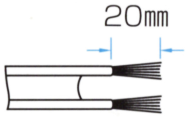


●カバーを、カチッと音がするまで確実に閉めてください。

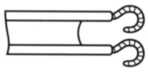
■平行フィーダー線とアンテナプラグのつなぎかた

●先端に金具が付いている場合は、手順1、2は必要ありません。

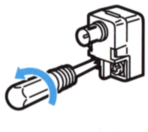
1 外側のビニールだけを切り取り、芯線を出す



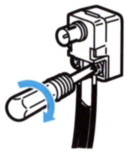
2 芯線をねじり、形を整える



3 ねじをゆるめる



4 しっかりと付ける



BSアンテナとの接続

■直接受信する場合

●BSアンテナと直接接続する場合。

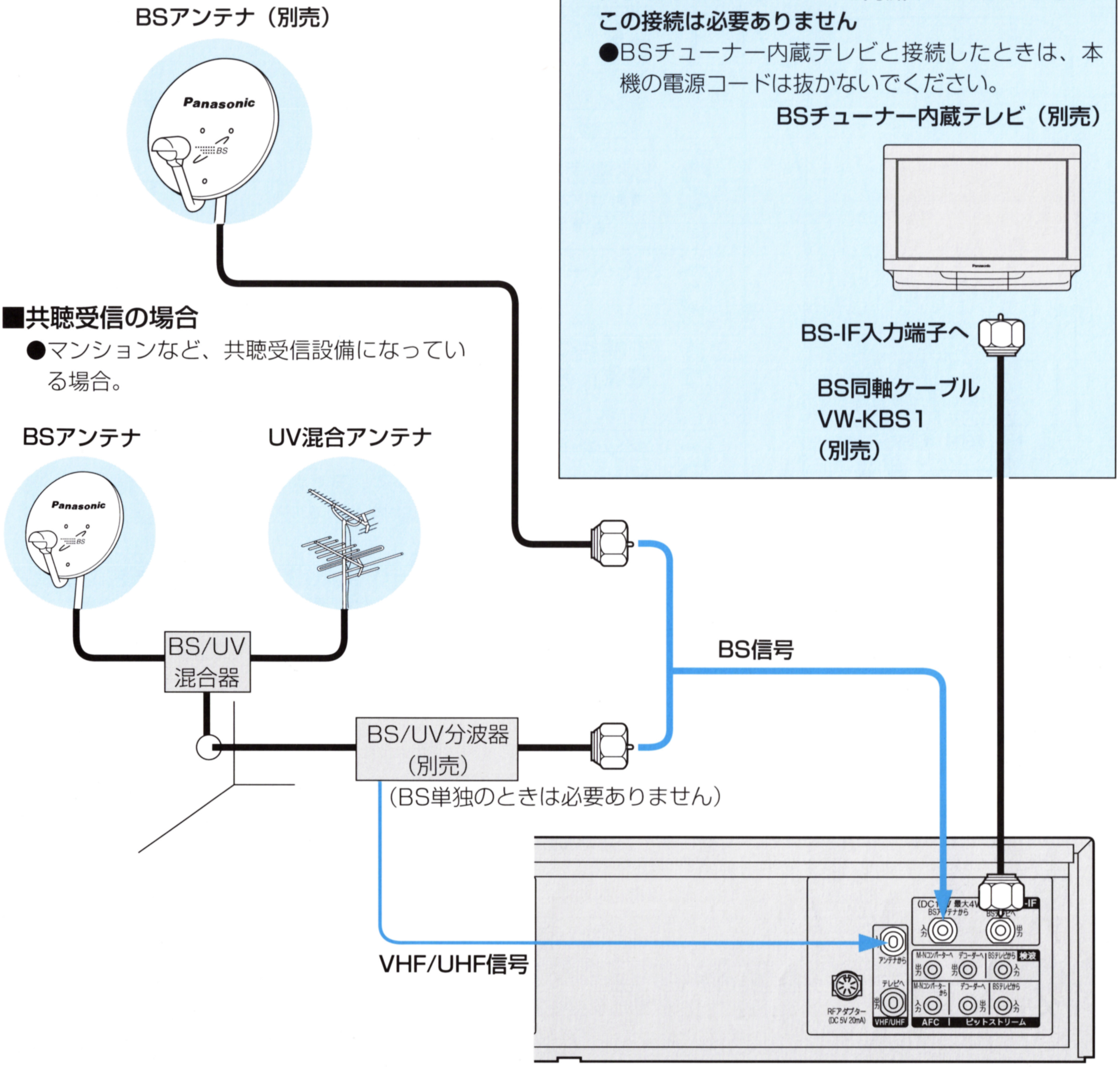
■BSチューナー内蔵テレビへの接続

テレビがBSチューナーを内蔵していないときは、この接続は必要ありません

●BSチューナー内蔵テレビと接続したときは、本機の電源コードは抜かないでください。

■共聴受信の場合

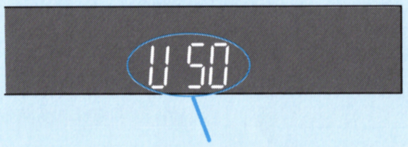
●マンションなど、共聴受信設備になっている場合。



お願い

●BSアンテナ電源を供給している状態でBSアンテナを接続すると、ケーブルの芯線とアミ線のショートが発生した場合、本機の保護回路が働き、自動的にBSアンテナ電源が「切」になり、本体表示部に「U50」が表示されます。このときは、BS-IF入力端子側のBSアンテナケーブルの芯線とアミ線がショートしていないか確かめ、正しく接続し直したあと、BSアンテナ電源を再設定してください。（☞56）

本体表示部



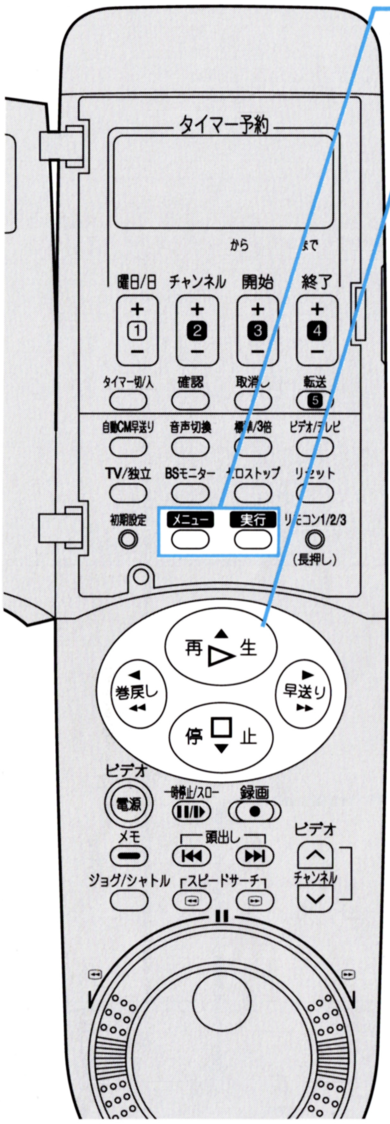
サービス番号（☞84）

●BSアンテナとの接続には、BSアンテナ用接栓を使用してください。付属のアンテナプラグは使用しないでください。

●BS-IF入力端子には、BSアンテナ以外のものは接続しないでください。

BSアンテナの接続方法

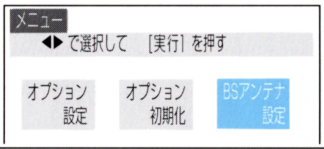
準備：●テレビにビデオの画面を出す。(☞17)
●ビデオの電源を「入」にする。



1 BSアンテナ設定の画面にする

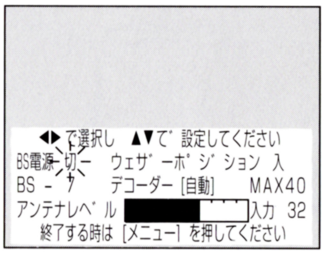
メニューボタンを押し、◀▶ボタンで「BSアンテナ設定」を選び実行ボタンを押す。

テレビ画面



2 BS電源を「切」にする

◀▶ボタンで「BS電源」を選び、▲▼ボタンで「切」にする。



3 55ページの接続をする

4 手順2と同じ操作で、「BS電源」を正しく設定する。

（下表1参照）

5 アンテナレベルを確認する

●アンテナレベルは、BSアンテナの口径、地域、設置条件、気象条件などにより異なりますが、目安として32以上あれば良好に受信できます。
●アンテナレベルが低いときは、BSアンテナの向きを微調整してください。（BSアンテナの説明書もよくお読みください）

6 メニューボタンを押す

表1

	ビデオ側	テレビ側
直接接続した場合	連動	連動または入
共聴受信の場合	切	切

■BSアンテナ設定時のチャンネル

BSアンテナ設定は、BS7チャンネルで行うように設定されています。万一、BS7チャンネルの放送がない場合は、◀▶ボタンでBSチャンネル表示を選び、▲▼ボタンでチャンネルを変えて確認してください。

■「BS電源」の設定について（手順2、4）

連動：本機でBS放送を受信したとき、またはテレビがBSアンテナ電源を出力しているときに電源を供給
入　：常に電源を供給
切　：電源の供給はしません（工場出荷時は「切」）
●テレビ側の設定についてはテレビの説明書をお読みください。

■ウェザーポジションについて（通常は「入」でご使用ください）

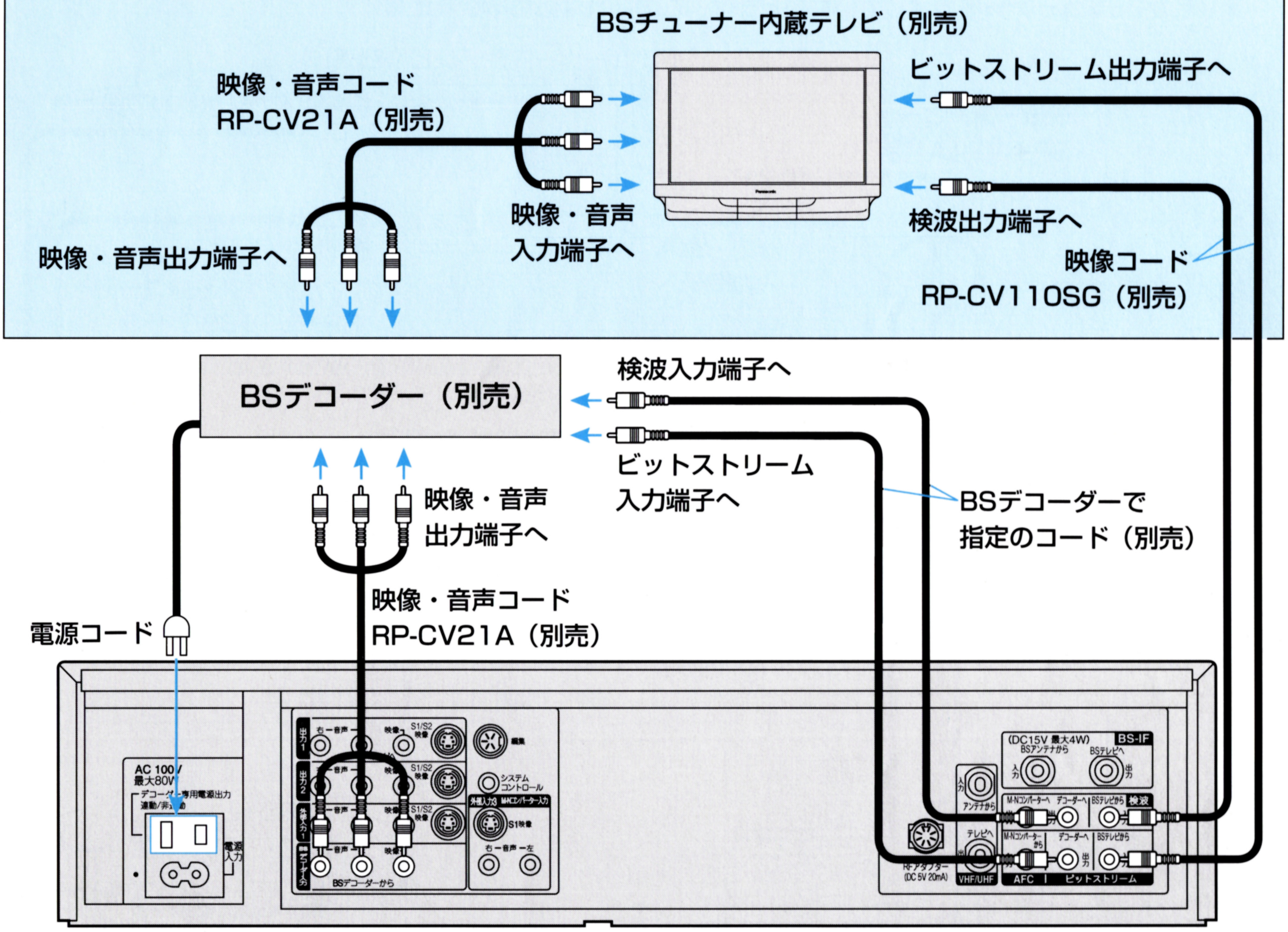
●ウェザーポジションが「入」のとき、BS放送の受信状態に応じて自動映像ノイズ・リダクション機能を働かせています。
●ウェザーポジションを「切」にするには、手順4のあとに、◀▶ボタンで「ウェザーポジション」を選び、▲▼ボタンで「切」にしてください。

BSデコーダーとの接続

WOWOWを見るための接続です

●52または53ページ、および55ページの接続のあと、以下の接続を行ってください。
●接続する機器の説明書もよくお読みください。

■BSチューナー内蔵テレビへの接続
テレビがBSチューナーを内蔵していないときは、この接続は必要ありません



お願い

●JSB（日本衛星放送株式会社）の有料放送をご覧になるには（WOWOWを見るには）、JSBとの受信契約とBSデコーダーが必要です。

■オプション設定の「デコーダー電源」は「自動」にしておいてください。（☞76）
以下の場合に、BSデコーダーの電源が自動的に「入」になります。
●スクランブル放送を受信したとき
●ハイビジョン放送を受信したとき
●テレビなどの外部BS機器からビットストリーム信号が入力されたとき

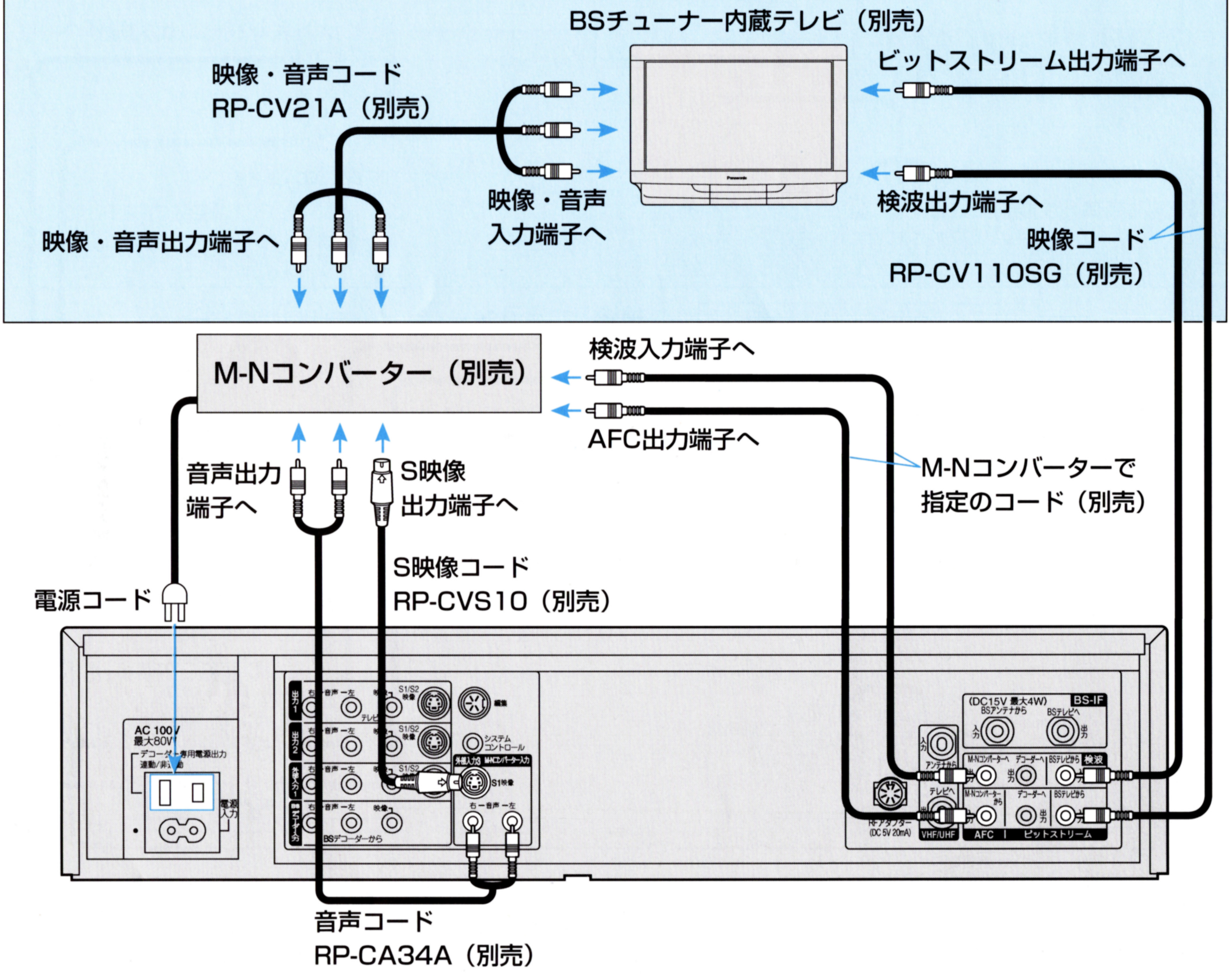
■後面の電源コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー／M-Nコンバーター専用です。
他の機器は接続しないでください。

M-Nコンバーターとの接続

ハイビジョン放送を、お手持ちのNTSC方式のテレビでお楽しみいただくための接続です
（画質はNTSC方式と同じになります）

●52または53ページ、および55ページの接続のあと、以下の接続を行ってください。
●接続する機器の説明書もよくお読みください。

■BSチューナー内蔵テレビへの接続
テレビがBSチューナーを内蔵していないときは、この接続は必要ありません



お願い

●テレビでハイビジョン放送を見るときは、一度テレビでハイビジョン放送のチャンネルを選んだあと、テレビの入力切換をM-Nコンバーターと接続している外部入力に切り換えてください。
●M-Nコンバーターと上記の接続を行うと、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の状態に戻すには、M-Nコンバーターとの接続をすべて外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」を元の表示に戻してください。（☞72）

■オプション設定の「デコーダー電源」は「自動」にしておいてください。（☞76）
以下の場合に、M-Nコンバーターの電源が自動的に「入」になります。
●スクランブル放送を受信したとき
●ハイビジョン放送を受信したとき
●テレビなどの外部BS機器からビットストリーム信号が入力されたとき

■後面の電源コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー／M-Nコンバーター専用です。
他の機器は接続しないでください。

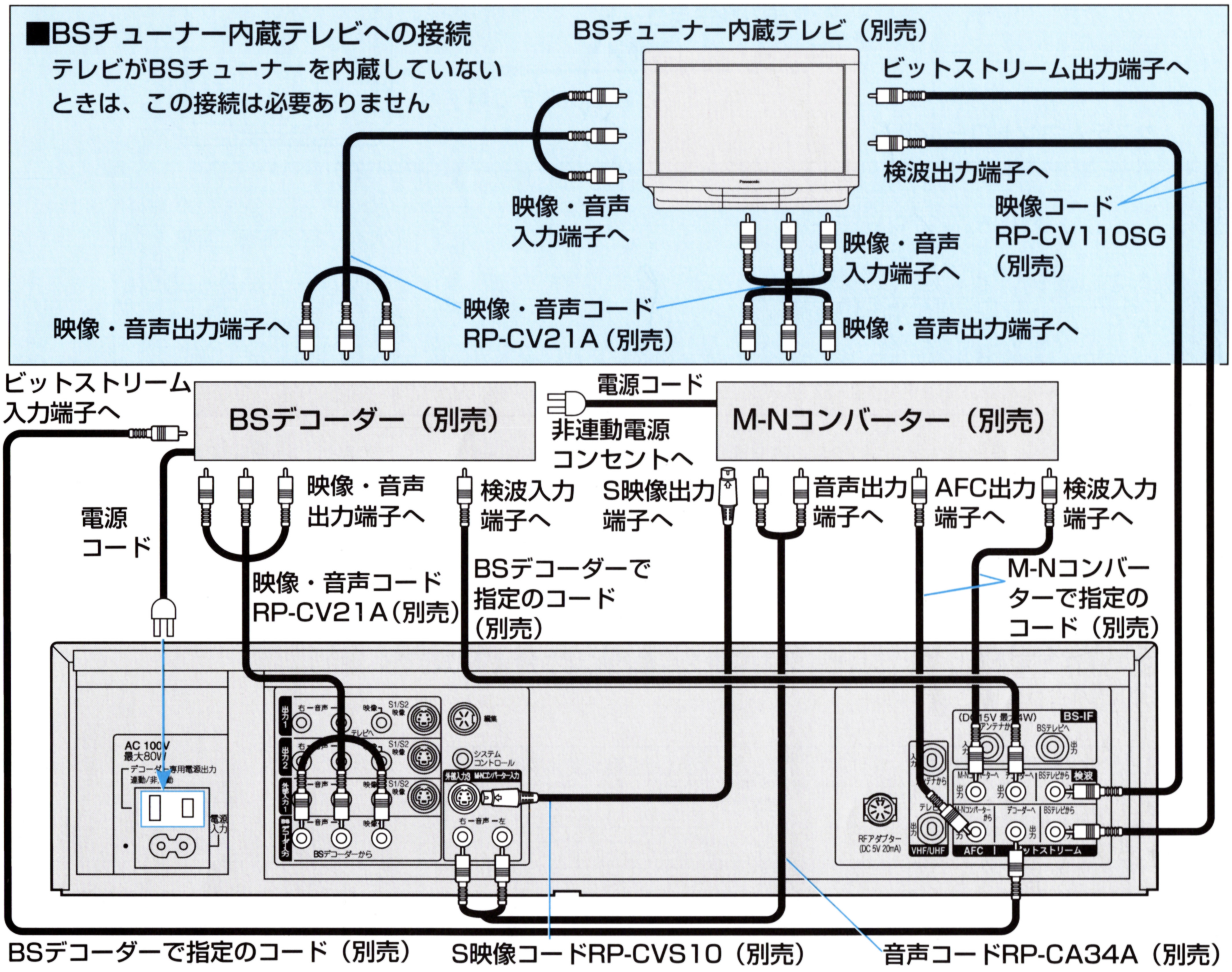
BSデコーダー・M-Nコンバーターを同時に接続するには

WOWOWとハイビジョン放送の両方をお楽しみいただくための接続です

（ハイビジョン放送の画質はNTSC方式と同じになります）

●52または53ページ、および55ページの接続のあと、以下の接続を行ってください。

●接続する機器の説明書もよくお読みください。



お願い

●JSB（日本衛星放送株式会社）の有料放送をご覧になるには（WOWOWを見るには）、JSBとの受信契約とBSデコーダーが必要です。

●テレビでハイビジョン放送を見るときは、一度テレビでハイビジョン放送のチャンネルを選んだあと、テレビの入力切換をM-Nコンバーターと接続している外部入力に切り換えてください。

●M-Nコンバーターと上記の接続を行うと、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の状態に戻すには、M-Nコンバーターとの接続をすべて外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」を元の表示に戻してください。（☞72）

●BSチューナー内蔵テレビと上記の接続を行うと、ハイビジョン放送とスクランブル放送とで裏番組録画ができます（ただし、以下のテレビ側の操作が必要です）

1. テレビでハイビジョン放送またはスクランブル放送のチャンネルを選ぶ
2. テレビの入力切換を、M-NコンバーターまたはBSデコーダーと接続している外部入力に切り換える

■オプション設定の「デコーダー電源」は「自動」にしておいてください。（☞76）

以下の場合に、BSデコーダー／M-Nコンバーターの電源が自動的に「入」になります。

●スクランブル放送を受信したとき

●ハイビジョン放送を受信したとき

●テレビなどの外部BS機器からビットストリーム信号が入力されたとき

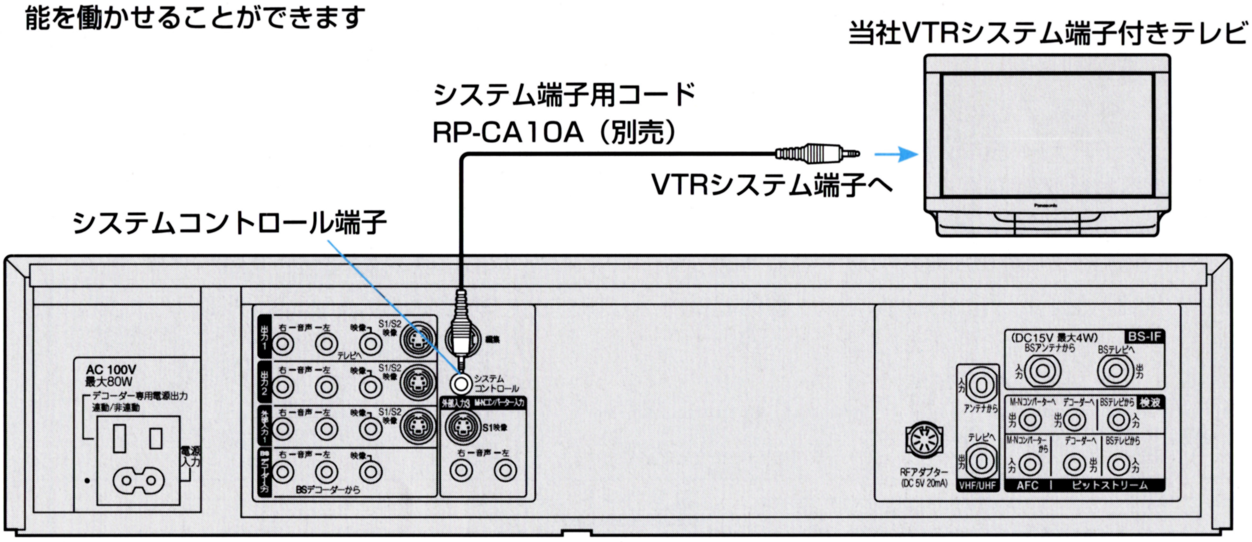
■後面の電源コンセント（ACアウトレット）は、BSデコーダー／M-Nコンバーター専用です。

他の機器は接続しないでください。

テレビコントロール（システムコントロール）

■接続のしかた

当社のVTRシステム端子付きテレビと、52ページの接続のあとに下記の接続をすると、オートコントロール機能を働かせることができます



お願い

●本機とテレビの接続の際に、テレビの入力端子は必ず「ビデオ1」を使用してください。

■オートコントロール

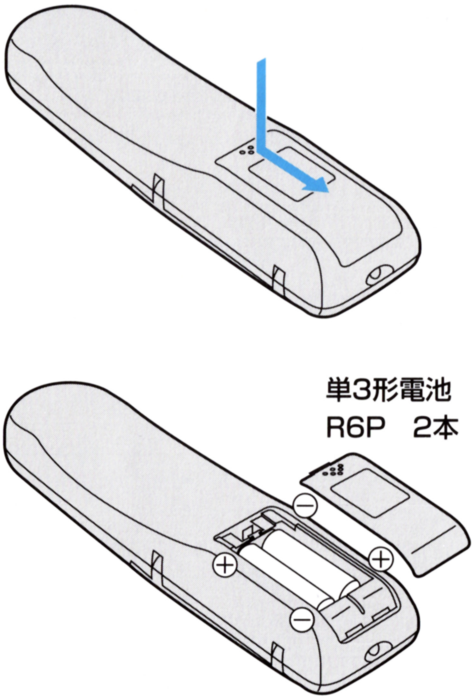
ビデオの操作をするだけで、テレビの入力切換を自動的に切り換える機能です

（以下の表のように働きます）

ビデオの操作	テレビの入力切換
録画する	変わりません
再生する	「ビデオ1」になります
電源を「切」にする または、予約録画の待機状態にする	「テレビ」になります

リモコンの準備

電池の入れかた



ふたを強く押しながら矢印の方向にずらして外し、⊕ ⊖ を確かめて、正しく入れる

お願い

- 充電式（Ni-Cd（ニッケルカドミューム））電池は使用しないでください。形状および性能の一部が異なり、所定の機能が働かないことがあります。
- 新しいものと古いもの、また違う種類のものを混用しないでください。
- 充電したり、ショートさせたりしないでください。
- 分解、加熱、火中への投入などをしないでください。
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 万一、液もれなどが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。

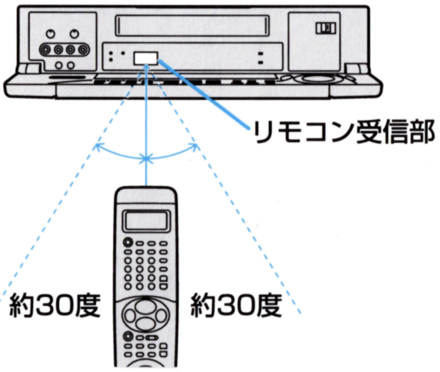
メモ

■**電池交換の目安は**

リモコン表示部の表示が薄くなってきたら交換してください

- 電池の交換後、万一ビデオやテレビの操作ができなくなっているときは、リモコンモードやテレビメーカー、予約チャンネル表示の設定を行ってください。（☞62～64）

リモコンの扱いかた

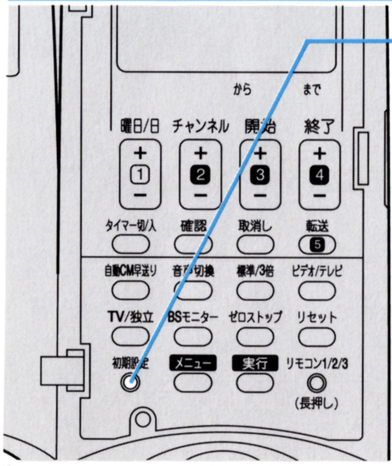


リモコン受信部に向け、正面で約7m以内、角度は約60度の範囲で、確実に操作してください（周囲の明るさで変わります）

お願い

- ふたを開けた状態では、ふた側のボタンの操作はできません。
- 水などがかからないようにしてください。（リモコンをぬらしたときは、乾くまで電池を外しておいてください）
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

初期設定ボタンについて



初期設定ボタンを押すごとに、以下のように設定できるモードが変わります

→ タイマー予約録画の設定（☞38、40）
↓
市外局番入力チャンネル設定（☞70）
↓
予約チャンネル表示設定（☞64）
↓
テレビメーカー／連動（今すぐ再生）設定（☞63）

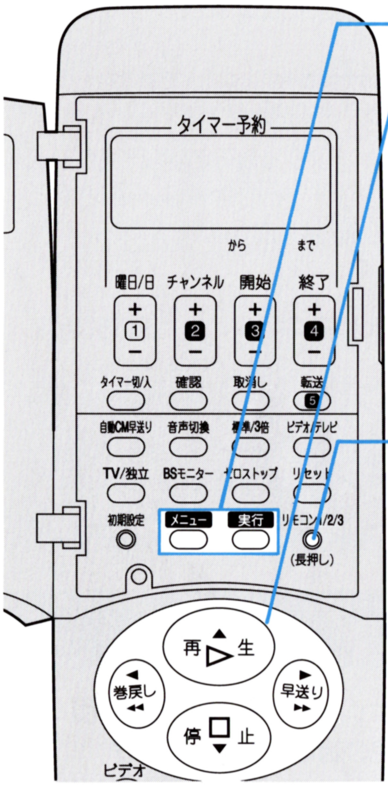
リモコンモード設定

通常は、本体とリモコンのモードを「1」にしてご使用ください

●工場出荷時には、本体とリモコンのモードはそれぞれ「1」「リモコン1」に合わせていますので、そのままご使用ください。

例えば、リモコンモードを「2」にしたいときは、以下の操作を行ってください

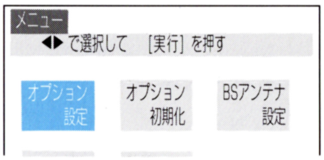
準備：●テレビにビデオの画面を出す。(☞17)



1 「オプション設定」画面を出す

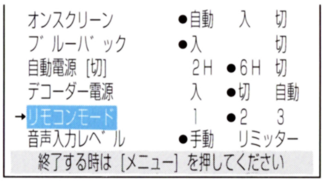
メニューボタンを押し、◀▶ボタンで「オプション設定」を選び、実行ボタンを押す。

テレビ画面



2 本体のリモコンモードを「2」にする

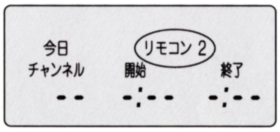
▲▼ボタンで「リモコンモード」を選び、◀▶ボタンで「2」にする。



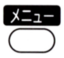
3 リモコンのリモコンモードを「リモコン2」にする

リモコン1/2/3ボタンを押し続け、「リモコン2」表示を出す。

リモコン表示部



4 メニューボタンを押す



お願い

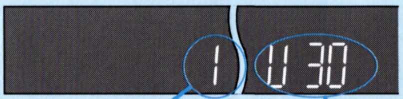
●本機のリモコンは、（財）家電製品協会に準拠した新方式です。旧方式のビデオには働きません。また、新方式に対応したビデオでも「リモコン2」、「リモコン3」モードでは正常に働かないことがありますのでご注意ください。

■リモコンモードが違っているとき

ビデオ本体とリモコンのモードが違うときは、リモコンで操作をしようとしても、本体表示部に右のような表示が出るだけで操作ができなくなります。このときは、リモコンのリモコン1/2/3ボタンを押し続け、ビデオ本体とリモコンのモードを合わせてから操作してください。

右の表示例は、リモコンモード「1」に設定されたビデオを、「リモコン2」または「リモコン3」に設定されたリモコンで操作しようとした場合です。

本体表示部



サービス番号
(☞84)

ビデオ「1」表示
ビデオ本体が、リモコンモード「1」に設定されていることを示しています。

●この表示は約3秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。また、この表示を出している間は「予約」表示も消えますが、予約内容や録画などには影響はありません。

メモ

■2台以上の当社製ビデオを使用するとき

それぞれのビデオのリモコンモードを変えておくと、別々に操作できます。

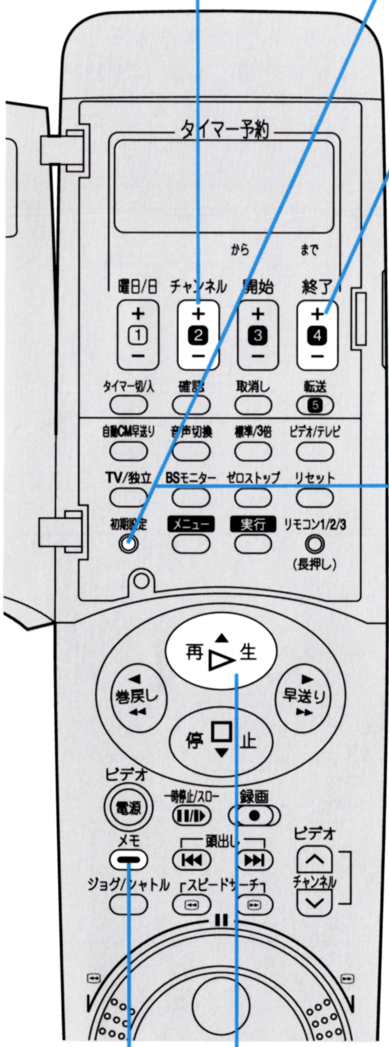
●別のビデオを操作しようとしたときに、上記のビデオ「1」表示やサービス番号が出る場合がありますが、本機の操作や動作には影響はありません。

（ご使用になるビデオによっては、本機を操作しようとしたときに別のビデオに上記の表示が出る場合もありますが、このときも、そのビデオの操作や動作には影響はありません）

テレビメーカー／連動（今すぐ再生）設定

本機のリモコンで、下記の表1の各国内メーカーのテレビ操作ができます

準備：●テレビの電源を「入」にする。

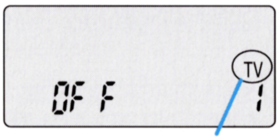


リモコン表示部

1 リモコン表示部に「TV」表示を出す

初期設定

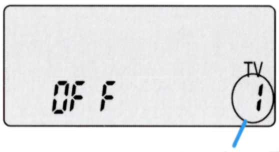
●初期設定ボタンを3回押す。



2 終了ボタンで「メーカー番号」を合わせる

終了

●メーカー番号が合ったときに、テレビの電源が「切」になります。



■メーカー番号について

終了ボタンの＋側を押すごとに、

→ 1→2→3…→17 ─

と変わります。

－側を押すと逆向きに戻ります。

3 初期設定ボタンを押す

初期設定

■テレビ連動（今すぐ再生）設定をするには

手順2でメーカー番号を合わせた後、チャンネルボタンを押し、連動設定「ON」を選ぶ

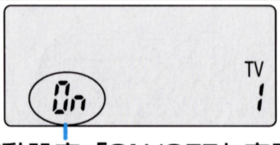


表1

番号	メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー
1	松下（新1）	7*	三洋（Ⅰ）	13	パイオニア
2*	シャープ（Ⅱ）	8*	三菱（Ⅱ）	14	ビクター
3	ソニー	9*	富士通ゼネラル	15	NEC（Ⅱ）
4	東芝	10	松下（旧）	16*	三洋（Ⅱ）
5	日立	11*	シャープ（Ⅰ）	17	松下（新2）
6	NEC（Ⅰ）	12	三菱（Ⅰ）		

●松下（新1）（新2）は、（財）家電製品協会に準拠した方式のことです。

＊ 印の番号のメーカーは、連動設定できません。

メモ

■テレビ連動操作（今すぐ再生）について

リモコンの再生ボタンを押すだけで、本機が再生を始めるとともに、テレビの入力を「ビデオ1」にすることができます

（再生ボタンを押したときに、同時にテレビの入力を「ビデオ1」にする信号も出します）

●メモボタンを押したときも、テレビの入力を「ビデオ1」にします。（☞44）

●映像・音声コードでテレビと接続していないときは、連動操作はできません。

●テレビとの接続の際に、テレビの入力端子は必ず「ビデオ1」を使用してください。

●テレビが「ビデオ1」にならないときは、テレビのリモコン受信部にも向け、再生ボタンを確実に押してください。

●連動設定「ON」を選んでいるときは、メニュー画面の操作中や「録画メモ画面」の操作中であっても、再生（▲）ボタンやメモボタンを押すたびに、同時にテレビの入力を「ビデオ1」にする信号を出しますので、テレビ画面に「ビデオ1」表示が出たり、テレビ画面が一瞬黒くなったりすることがあります。（☞44、56、62、71、76、79）

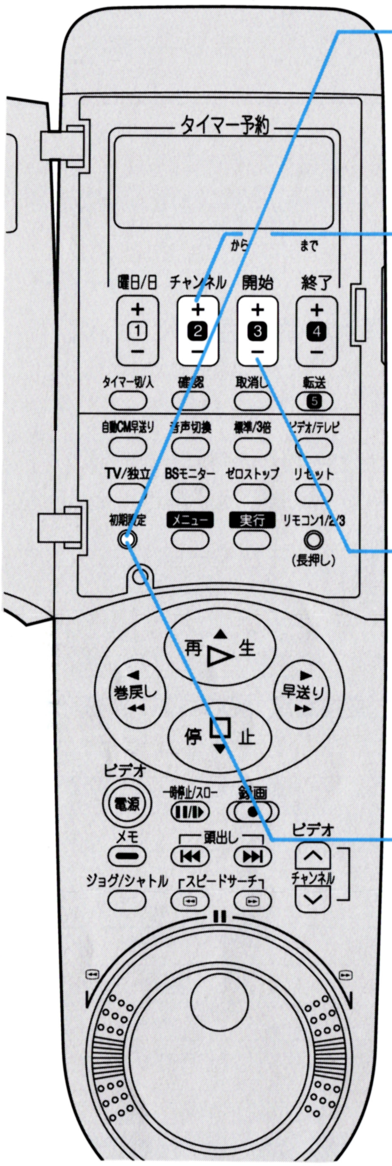
この現象が気になるときは、連動設定「OFF」を選んで連動設定を解除してください。ただし、連動設定「OFF」のときはテレビ連動操作（今すぐ再生）を行うことはできません。

●メーカーや機種によっては、操作できないテレビや正しく行えない操作があります。

予約チャンネル表示設定

リモコン予約を行うときに（☞38)、不要なチャンネルをとばして素早くチャンネルを合わせるために、リモコンの予約チャンネル（表示チャンネル）もとばしておくことをおすすめします

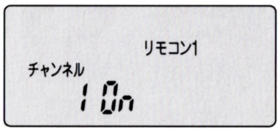
●この設定を行う前に、「受信チャンネルの設定」（☞65）を行っておいてください。



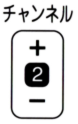
1 リモコン表示部に右のような表示を出す

●初期設定ボタンを2回押す。

リモコン表示部



2 とばしたい予約チャンネル（表示チャンネル）を選ぶ



●チャンネルボタンで選ぶ。
●押し続けると10ずつ変わります。

3 「OFF」表示を出す

●開始ボタンを押す。
●「ON」表示のチャンネルはとばされていません。

4 初期設定ボタンを2回押す

■2つ以上のチャンネルをとばすには
手順2と3を繰り返す

お願い

●**表示チャンネル**（本体表示部などに表示させているチャンネル）で設定してください。
●「受信チャンネルの設定」（☞65）で受信するように設定されたチャンネルはとばさないでください。そのチャンネルの番組をリモコン予約できなくなります。

メモ

■BSチャンネルについて

工場出荷時には、すべてのBSチャンネルが予約できる状態に設定されています。

●マンションなどの共聴受信設備で、BS放送をV/Uチャンネルに変換して受信し、そのV/Uチャンネルの表示チャンネルをBSチャンネルにしているときは、予約を行うリモコンのBSチャンネルはとばさないでください。

■CATVチャンネルについて

工場出荷時には、すべてのCATVチャンネルがとばされた状態に設定されています。CATVチャンネルを受信される場合は、上記の手順2で受信しているCATVチャンネルを選び、手順3で「ON」と表示させてください。

受信チャンネルの設定

受信チャンネルの設定について

本機の受信チャンネルを設定するには、以下の方法があります

① 市外局番入力チャンネル設定（☞70）

市外局番を入力し、転送するだけで、自動的にチャンネル設定を行います。

●詳しくは、66ページをお読みください。

●設定後の確認は、下の「マニュアルチャンネル設定」の方法で行ってください。

② マニュアルチャンネル設定（☞71）

一つ一つのチャンネルポジションについて、受信・表示・ガイドチャンネルを設定していく方法です。
微調整や、不要なチャンネルをとばすときもこの方法で行います。

●電波の状態の悪い地域のかた、UHF放送主体の地域のかた、共聴受信設備で受信されるかた、CATV放送を受信されているかた、または自分の好きな順番に設定したいかたなどは、この方法で設定してください。

ご使用になる地域の放送の形態や受信状態に合わせて、上記の ① ② のいずれかを選んでください

■「受信チャンネルの設定」の手順

●「受信チャンネルの設定」を行う前に、BS電源の設定が正しいことを確認してください。（☞56）

「市外局番入力チャンネル設定一覧表」（☞68）に記載されているVHF/UHF放送の設定内容を確認する（特に受信チャンネルをご確認ください）

↓

そのままの設定でよいと思われるかた

↓

「市外局番入力チャンネル設定」（☞70）を行う

↓

「マニュアルチャンネル設定」（☞71）で確認する

一つ一つのチャンネルポジションについて、設定を確認してください。

●きれいに映るチャンネルがとばされているとき
→受信・表示・ガイドチャンネルを設定する（登録）

●ノイズ画面の放送が設定されているとき
→チャンネルをとばす（削除）

●選局の順番を入れ換えたいとき
→設定したいチャンネルポジションに受信・表示・ガイドチャンネルを設定し、不要なチャンネルをとばす（登録・削除）

●ノイズがあるときや、色が付いていないとき
→微調整を行うと、きれいに受信できる場合があります

↓

そのままの設定では使用できない（使用したくない）かた

↓

「マニュアルチャンネル設定」（☞71）を行う

↓

以上で「受信チャンネルの設定」は終了です

■もう一度最初から設定し直したいときは

一度、工場出荷時の設定に戻してから設定し直してください。（「工場出荷時の設定に戻す」、☞75）

■Gコード予約をされる場合は

ガイドチャンネルを正しく設定してください。（「マニュアルチャンネル設定」、☞71）

●ガイドチャンネルの設定が間違っていると、Gコード予約は正しく行われません。また、同じガイドチャンネルが複数のチャンネルポジションに設定されている場合も、正しくGコード予約ができない原因となります。

受信チャンネルの設定について（つづき）

本機で受信できるVHF/UHF放送は最大20局までで、それぞれチャンネルポジション1～20に設定されます

■「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、

1 **「市外局番入力チャンネル設定一覧表」（☞68）に記載されているVHF/UHFの放送局を設定する**

2 **実際に受信できるチャンネルを調べる（オートサーチを約2分間行います）**
- ●VHF/UHF放送（1～62チャンネル）、BS放送（BS1～BS15チャンネル）、CATV放送（C13～C63チャンネル）の順に、放送の有無を調べます。
- ●「市外局番入力チャンネル設定一覧表」（☞68）に記載されているVHF/UHFの放送局が、実際には受信できなかったときは、自動的にそのチャンネルをとばします。（削除）
- ●「市外局番入力チャンネル設定一覧表」（☞68）に記載されていないVHF/UHFの放送を受信したときは、チャンネルポジション13～20（愛媛県では14～20）に追加登録します。

例：東京都（03）で市外局番入力チャンネル設定を行う場合。
●東京メトロポリタンと千葉テレビが受信できず、新たに48チャンネルと50チャンネルが受信できたとき。

（チャンネルポジション1～12：「一覧表」に記載されているチャンネル　／　13～20：追加されるチャンネル）

チャンネルポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
放送局名	NHK総合	東京メトロポリタン	NHK教育	日本テレビ	放送大学	TBSテレビ	TVKテレビ	フジテレビ	千葉テレビ	テレビ朝日	テレビ埼玉	テレビ東京	千葉テレビ	NHK総合						
受信チャンネル	1	―	3	4	16	6	42	8	―	10	38	12	48	50	―	―	―	―	―	―
表示チャンネル	1	―	3	4	16	6	42	8	―	10	38	12	48	50	―	―	―	―	―	―
ガイドチャンネル	80	―	90	4	16	6	42	8	―	10	38	12	―	―	―	―	―	―	―	―

■電波が弱かったなどで受信できなかった
- ●とばされます。

■新たに受信できた
- ●チャンネルポジション13～20に追加設定されます。
- ●ガイドチャンネルは設定されませんので、マニュアルチャンネル設定でガイドチャンネルを設定してください。
（同じガイドチャンネルが複数のチャンネルポジションに設定されないようにご注意ください）
- ●同じ放送局を複数のチャンネルポジションに設定しないでください。
（上記の場合、チャンネルポジション1と14に「NHK総合」が受信されていますが、どちらか受信状態の良い方を設定し、もう一方のチャンネルはとばしてください）

メモ
- ●上記の表は、VHF/UHF放送についてのみ記載していますが、実際には上記のチャンネルのサーチのあと、続けてBS放送、CATV放送のサーチ・登録を行います。
- ●電波の状態によっては、きれいに受信できるチャンネルをとばしたり、ノイズ画面のチャンネルを設定したりすることがあります。このときは、マニュアルチャンネル設定を行い、そのチャンネルの登録・削除を行ってください。
- ●本機は20局以上のVHF/UHFの放送局を受信することはできません。マニュアルチャンネル設定を行い、不要なチャンネルはとばし、そのチャンネルポジションに新たに追加登録してください。

ガイドチャンネル一覧表

地域	放送局	ガイドCH
全国	NHK総合	80
	NHK教育	90
北海道	北海道放送（HBC）	1
	札幌テレビ（STV）	5
	テレビ北海道（TVH）	17
	北海道文化（UHB）	27
	北海道テレビ（HTB）	35
青森	青森放送（RAB）	1
	青森朝日（ABA）	34
	青森テレビ（ATV）	38
岩手	岩手放送（IBC）	6
	めんこい（MIT）	33
	テレビ岩手（TVI）	35
	岩手朝日（IAT）	20
宮城	東北放送（TBC）	1
	仙台放送（OX）	12
	東日本放送（KHB）	32
	宮城テレビ（MMT）	34
秋田	秋田放送（ABS）	11
	秋田朝日（AAB）	31
	秋田テレビ（AKT）	37
山形	山形放送（YBC）	10
	テレビュー山形（TUY）	36
	山形テレビ（YTS）	38
福島	福島テレビ（FTV）	11
	テレビュー福島（TUF）	31
	福島中央（FCT）	33
	福島放送（KFB）	35
関東	日本テレビ（NTV）	4
	TBSテレビ（TBS）	6
	フジテレビ（CX）	8
	テレビ朝日（ANB）	10
	テレビ東京（TX）	12
	東京メトロポリタン（MX）	14
	放送大学	16
	テレビ埼玉（TVS）	38
	TVKテレビ（TVK）	42
	千葉テレビ（CTC）	46
	群馬テレビ（GTV）	48
新潟	新潟放送（BSN）	5
	新潟テレビ21（NT21）	21
	テレビ新潟（TNN）	29
	新潟総合（NST）	35
富山	北日本放送（KNB）	1
	チューリップ（TUT）	32
	富山テレビ（T34）	34

地域	放送局	ガイドCH
石川	北陸放送（MRO）	6
	北陸朝日（HAB）	25
	テレビ金沢（KTK）	33
	石川テレビ（ITC）	37
福井	福井放送（FBC）	11
	福井テレビ（FTB）	39
山梨	山梨放送（YBS）	5
	テレビ山梨（UTY）	37
長野	信越放送（SBC）	11
	長野朝日（ABN）	20
	テレビ信州（TSB）	30
	長野放送（NBS）	38
静岡	静岡放送（SBS）	11
	静岡第一（SDT）	31
	静岡朝日（SAT）	33
	テレビ静岡（SUT）	35
中京	東海テレビ（THK）	1
	中部日本放送（CBC）	5
	名古屋テレビ（NBN）	11
	テレビ愛知（TVA）	25
	三重テレビ（MTV）	33
	中京テレビ（CTV）	35
	岐阜放送（GBS）	37
関西	毎日放送（MBS）	4
	朝日放送（ABC）	6
	関西テレビ（KTV）	8
	読売テレビ（YTV）	10
	テレビ大阪（TVO）	19
	テレビ和歌山（WTV）	30
	びわ湖放送（BBC）	30
	京都テレビ（KBS）	34
	サンテレビ（SUN）	36
	奈良テレビ（TVN）	55
鳥取 島根	日本海テレビ（NKT）	1
	山陰放送（BSS）	10
	山陰中央（TSK）	34
岡山 香川	西日本放送（RNC）	9
	山陽放送（RSK）	11
	テレビせとうち（TSC）	23
	瀬戸内海放送（KSB）	33
	岡山放送（OHK）	35
広島	中国放送（RCC）	4
	広島テレビ（HTV）	12
	テレビ新広島（TSS）	31
	広島ホーム（HOME）	35

地域	放送局	ガイドCH
山口	山口放送（KRY）	11
	山口朝日（YAB）	28
	テレビ山口（TYS）	38
徳島	四国放送（JRT）	1
愛媛	南海放送（RNB）	10
	愛媛朝日（EAT）	25
	あいテレビ（ITV）	29
	愛媛放送（EBC）	37
高知	高知放送（RKC）	8
	テレビ高知（KUTV）	38
福岡	九州朝日（KBC）	1
	RKB毎日（RKB）	4
	テレビ西日本（TNC）	9
	テレビQ（TVQ）	19
	福岡放送（FBS）	37
佐賀	サガテレビ（STS）	36
長崎	長崎放送（NBC）	5
	長崎国際（NIB）	25
	長崎文化（NCC）	27
	テレビ長崎（KTN）	37
熊本	熊本放送（RKK）	11
	熊本朝日（KAB）	16
	熊本県民（KKT）	22
	テレビ熊本（TKU）	34
大分	大分放送（OBS）	5
	大分朝日（OAB）	24
	テレビ大分（TOS）	36
宮崎	宮崎放送（MRT）	10
	テレビ宮崎（UMK）	35
鹿児島	南日本放送（MBC）	1
	鹿児島読売（KYT）	30
	鹿児島放送（KKB）	32
	鹿児島テレビ（KTS）	38
沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
	琉球放送（RBC）	10
	琉球朝日（QAB）	28
BS放送	BS1	71
	BS3	72
	BS5 WOWOW(JSB)	73
	BS7 NHK 衛星第一	74
	BS9 ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK 衛星第二	76
	BS13	77
	BS15	78

メモ

●新たに追加になった放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。

市外局番入力チャンネル設定一覧表

「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、下の表のような組み合わせのVHF/UHFの放送局が設定されます

●市外局番に変更があった場合でも、この表の番号を利用して設定してください。

都道府県	都市	市外局番	チャンネルポジションと放送局名・表示チャンネル・受信チャンネル・ガイドチャンネル																			
			1				2				3				4				5			
			放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路（室蘭）	0154（0143）					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	0177	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
岩手	盛岡	0196	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
秋田	秋田	0188					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	31
山形	山形	0236													NHK教育	4	4	90				
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80								
福島	福島	0245	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	0292	NHK総合	1	44	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	46	90	日本テレビ	4	42	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	0286	NHK総合	1	29	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	27	90	日本テレビ	4	25	4				
群馬	前橋	0272	NHK総合	1	52	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	50	90	日本テレビ	4	54	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	浦和	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	0762	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
山梨	甲府	0552	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
長野	長野	0262					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	39	80					中部日本放送	5	5	5
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	0592	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	3	31	80	毎日放送	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	0775					NHK総合	28	28	80					毎日放送	4	36	4				
京都	京都	075					NHK総合	2	32	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	2	28	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	4	18	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK奈良	51	51	--
和歌山	和歌山	0734					NHK総合	2	32	80					毎日放送	4	42	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	NHK総合	1	1	80					テレビ新広島	26	26	31					広島ホーム	24	24	35
山口	山口	0839	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
徳島	徳島	0886	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
香川	高松	0878	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合	37	37	80
愛媛（※）	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	19
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	19
長崎	長崎	0958	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	0975	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	0992	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

■表示・受信・ガイドチャンネルについて

詳しくは、71ページをお読みください。

詳しくは、71ページをお読みください。

※愛媛県では、下記の表以外に、愛媛朝日が「チャンネルポジション13」に設定されます。

●松山：表示CH25・受信CH25・ガイドCH25　●新居浜：表示CH14・受信CH14・ガイドCH25

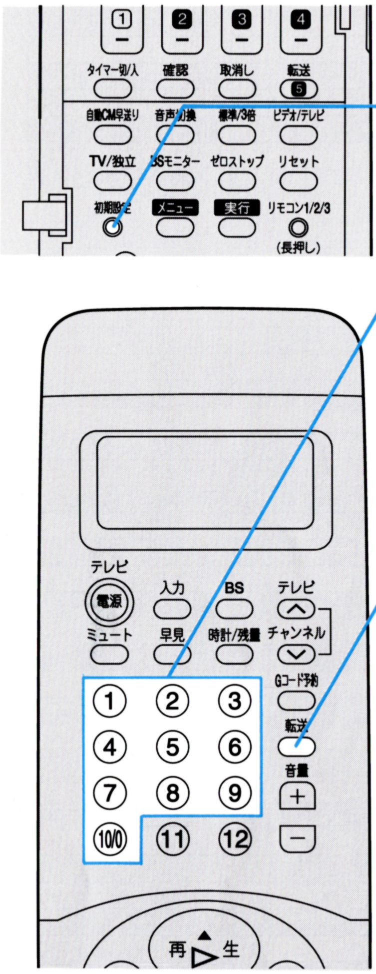
チャンネルポジションと放送局名・表示チャンネル・受信チャンネル・ガイドチャンネル

6				7				8				9				10				11				12			
放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH	放送局名	表示CH	受信CH	ガイドCH
								北海道文化	27	27	27					北海道テレビ	35	35	35					NHK教育	12	12	90
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	37	37	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	59	59	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	61	61	35	北海道放送	53	53	1				
北海道放送	6	6	1					北海道文化	32	32	27					札幌テレビ	10	10	5					NHK教育	12	12	90
				札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	41	41	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
北海道放送	6	6	1													NHK教育	10	10	90					札幌テレビ	12	12	5
								北海道文化	27	27	27					青森朝日	34	34	34	北海道テレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38
				NHK教育	7	7	90					NHK総合	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38
岩手放送	6	6	6	宮城テレビ	34	34	34	NHK教育	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
				東日本放送	32	32	32					宮城テレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
												NHK総合	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37
秋田放送	6	6	11					NHK教育	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37
テレビユー山形	36	36	36					NHK総合	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
NHK教育	6	6	90					テレビユー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
福島中央	33	33	33	東日本放送	32	32	32	宮城テレビ	34	34	34	NHK総合	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央	37	37	33	宮城テレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
福島中央	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育	10	10	90					福島放送	36	36	35
TBSテレビ	6	40	6					フジテレビ	8	38	8	千葉テレビ	46	39	46	テレビ朝日	10	36	10					テレビ東京	12	32	12
TBSテレビ	6	23	6					フジテレビ	8	21	8					テレビ朝日	10	19	10					テレビ東京	12	17	12
TBSテレビ	6	56	6	放送大学	16	40	16	フジテレビ	8	58	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	10	60	10					テレビ東京	12	62	12
TBSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
								NHK総合	8	8	80					新潟総合	35	35	35					NHK教育	12	12	90
チューリップ	32	32	32													NHK教育	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
北陸放送	6	6	6	北陸朝日	25	25	25	NHK教育	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
北陸放送	6	6	6									NHK総合	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39
テレビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
テレビ信州	30	30	30									NHK教育	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
テレビ愛知	25	25	25	岐阜放送	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
静岡朝日	33	33	33									NHK総合	9	9	80					静岡放送	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
静岡放送	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育	8	8	90					静岡朝日	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
岐阜放送	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
朝日放送	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
朝日放送	6	38	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	40	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	10	42	10					NHK教育	46	46	90
朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
朝日放送	6	20	6					関西テレビ	8	22	8					読売テレビ	10	24	10					NHK教育	12	26	90
朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育	12	12	90
朝日放送	6	44	6					関西テレビ	8	46	8					読売テレビ	10	48	10					NHK教育	12	26	90
																山陰放送	22	22	10					山陰中央	24	24	34
NHK総合	6	6	80					山陰中央	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
								山陰中央	58	58	34	NHK教育	9	9	90												
				瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11				
				NHK教育	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
				NHK教育	7	7	90									中国放送	10	10	4					広島テレビ	12	12	12
				テレビ山口	38	38	38	RKB毎日	8	8	4	NHK総合	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	福岡放送	35	35	37
朝日放送	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	38	90
朝日放送	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	岡山放送	31	31	35
NHK総合	6	6	80	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	37	37	37
南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	広島ホーム	35	35	35	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	36	36	37
NHK教育	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38								
NHK教育	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					熊本放送	11	11	11	福岡放送	37	37	37
NHK総合	6	6	80					RKB毎日	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
テレビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日	48	48	4	NHK総合	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
テレビ熊本	34	34	34	長崎国際	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化	27	27	27	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	熊本県民	22	22	22
テレビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	9	9	80	テレビQ	19	19	19	熊本放送	11	11	11	RKB毎日	4	4	4
南海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	福岡放送	37	37	37	大分朝日	24	24	24	テレビQ	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育	12	12	90
				鹿児島放送	32	32	32	NHK総合	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
宮崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																
宮崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	熊本県民	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
鹿児島テレビ	35	35	38	熊本県民	22	22	22	NHK総合	8	8	80	熊本朝日	16	16	16	南日本放送	10	10	1	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
								沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90

市外局番入力チャンネル設定

ご使用になる地域の市外局番を入力するだけで、受信チャンネルの設定を行います
ご使用になる地域により、あらかじめ決められた放送局を設定し、実際にそのチャンネルで放送が行われているかどうかをビデオが調べ（オートサーチ）、放送のない場合はそのチャンネルをとばし、設定されていない放送局を受信すると、そのチャンネルを記憶します

準備：●アンテナ・テレビ・BSアンテナなどとの接続や設定が正しく行われていることを確認する。（☞52〜60）
●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）



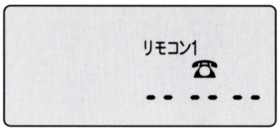
操作例：東京都（03）を入力した場合。

1 リモコン表示部に☎マークを出す

初期設定

●初期設定ボタンを押す。

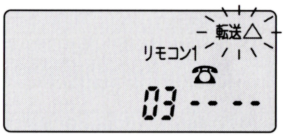
リモコン表示部



2 市外局番を入力する

⑩⑪ ③

●ふたを閉じ、数字ボタンで入力する。
●数字を間違えたときは、初期設定ボタンを4回押し、もう一度正しい数字を入力してください。

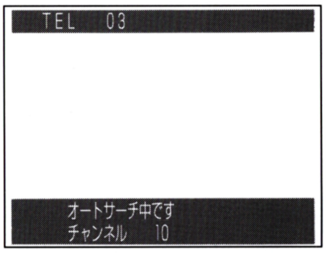


3 転送する

転送

●テレビ画面に市外局番が表示され、ビデオがオートサーチを始めます。（オートサーチは、約2分間行います）
●オートサーチ終了後は、受信したチャンネルの中で、一番小さな数字のチャンネルポジションを選んだ状態になります。

テレビ画面



4 リモコン表示部の☎マークを消す

●初期設定ボタンを3回押す。

■オートサーチは、以下の順番に行います

V/Uチャンネル → **BSチャンネル** → **CATVチャンネル**
（1→2…→62） （BS1→BS3…→BS15） （C13→C14…→C63）

■設定内容を確認するには

ビデオチャンネルボタンを押す
●次々に押し、受信したい放送局すべてがきれいに受信できているかを確認する。
●電波の状態によっては、きれいに映っているようでも信号がひずんでいたりノイズを含んでいたりする場合があり、オートサーチしても正しく受信設定できない場合があります。

■設定内容を変更するには

マニュアルチャンネル設定を行う（☞71）
●受信したい放送局が、すべてきれいに受信できるように登録・削除してください。
●ガイドチャンネルの設定も確認してください。（同じガイドチャンネルが複数のチャンネルポジションに設定されないようにご注意ください）
●ノイズがあるときや色が付いていないときは、微調整を行うときれいに受信できる場合があります。（☞74）

●最初にお買い上げいただいたときには、「BS電源」が「切」になっており、そのまま「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、BS放送のチャンネルがとばされてしまう場合があります。「市外局番入力チャンネル設定」を行う前に、必ず「BS電源」を正しく設定しておいてください。（☞56）

マニュアルチャンネル設定

■マニュアルチャンネル設定について

一つ一つのチャンネルポジションについて、受信・表示・ガイドチャンネルなどの設定（登録・削除）・確認を行う方法です

●「市外局番入力チャンネル設定」ではご希望の設定状態にならないときや、お好みの順番で受信したいときなどに行ってください。

●「市外局番入力チャンネル設定」を行ったあとの、設定内容の確認・変更も、この「マニュアルチャンネル設定」の手順で行います。

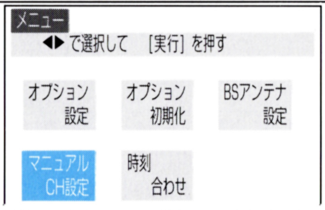
設定の手順は下記の通りです。各項目の設定について、詳しくは72～74ページをお読みください。

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）

テレビ画面

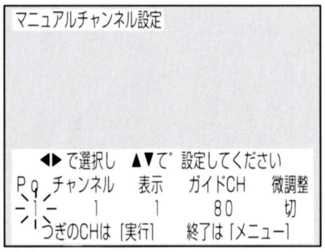
1 マニュアルチャンネル設定の画面にする

メニューボタンを押し、◀▶ボタンで「マニュアルCH設定」を選び実行ボタンを押す。



2 設定したいチャンネルポジションを選ぶ

◀▶ボタンで「Po」を選び、▲▼ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。



3 各項目の設定を行う

◀▶ボタンで設定する項目を選び、▲▼ボタンで設定する。

4 メニューボタンを押す

メモ

■チャンネルポジションとは

選局の順番を示したものです。

●手順2で、▲ボタンを押すごとに、チャンネルポジションが以下のように変わります。（▼ボタンは逆向き）

→**V/Uチャンネル**（1→2…→20）→**BSチャンネル**（BS1→BS3…→BS15）→**CATVチャンネル**（C13→C14…→C63）→**外部入力チャンネル**（ライン1→ライン2→ライン3）→**拡張チャンネル**（o1→o2…→o7）

●V/Uチャンネル、拡張チャンネルのときは「Po」が、BS・CATVチャンネルのときは「チャンネル」が、外部入力チャンネルの時は「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

■受信チャンネルとは

放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルのことです。

■表示チャンネルとは

本体表示部やテレビ画面に表示させるチャンネルのことです。
（予約録画、選局はこの表示チャンネルで行います）

■ガイドチャンネルとは

Gコード予約を行うために合わせるチャンネルのことです。

■拡張チャンネルとは

将来のシステムに対応するもので、現在は使用できません。
（本機ではチャンネルポジションo1～o7と表示しています）

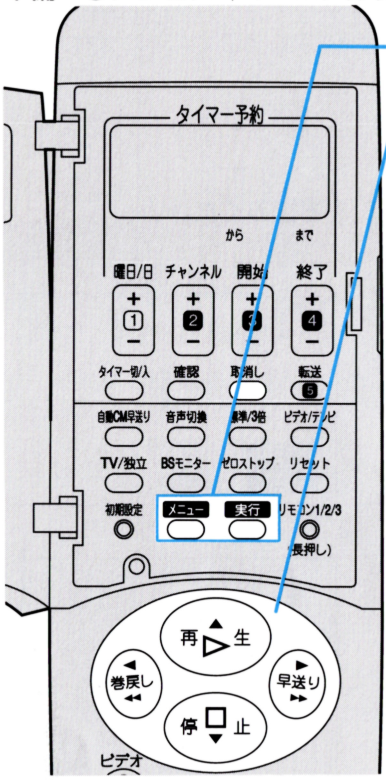
●「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、拡張チャンネルも自動的に設定されます。

マニュアルチャンネル設定（つづき）

■チャンネルの設定（登録）

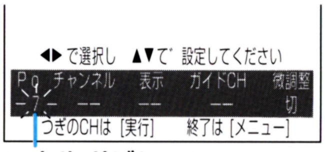
操作例：チャンネルポジション「7」に、TVKテレビを設定する場合。

準備：●テレビに「マニュアルチャンネル設定」の画面を出す。（☞71）



1 設定するチャンネルポジションを選ぶ

◀▶ボタンで「Po」を選び、▲▼ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。

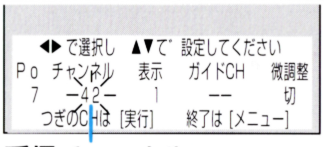


チャンネルポジション

2 受信チャンネルを合わせる

◀▶ボタンで「チャンネル」を選び、▲▼ボタンで受信チャンネルを合わせる。

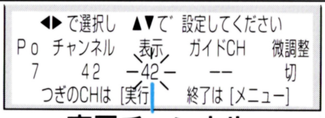
(V/Uチャンネルのみ設定します)



受信チャンネル

3 表示チャンネルを合わせる

◀▶ボタンで「表示」を選び、▲▼ボタンで表示チャンネルを合わせる。

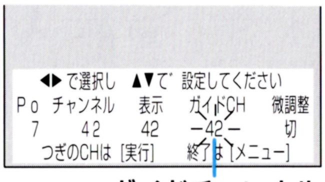


表示チャンネル

4 ガイドチャンネルを合わせる

◀▶ボタンで「ガイドCH」を選び、▲▼ボタンでガイドチャンネルを合わせる。

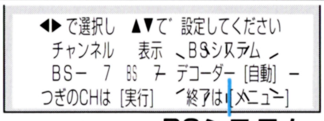
(BS・外部入力チャンネルは設定しません)



ガイドチャンネル

5 ■BSチャンネルのみ設定します BSシステムを合わせる

◀▶ボタンで「BSシステム」を選び、▲▼ボタンで合わせる



BSシステム

6 メニューボタンを押す

■2つ以上のチャンネルを設定するには
手順5のあと実行ボタンを押す
設定したチャンネルポジションの次に大きなチャンネルポジションの設定画面になります。

メモ

■チャンネルポジションの表示について
「Po」はV/U・拡張チャンネルのときの表示です。BS・CATVチャンネルは「チャンネル」が、外部入力チャンネルは「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

■表示チャンネルについて
BS・CATV・外部入力チャンネルのときは、表示チャンネルの変更はできません。

■ガイドチャンネルについて
「ガイドチャンネル一覧表」（☞67）をご参照ください。

■BSシステムについて
- **デコーダー自動：** スクランブル放送・ハイビジョン放送の受信時のみ、BSデコーダーまたはM-Nコンバーターを働かせるとき
- **デコーダー入：** 独立音声のセントギガも契約しているとき
- **デコーダー切：** BSデコーダーおよびM-Nコンバーターを接続していないとき
- **M-Nコンバーター：** デコーダー自動では、M-Nコンバーターを接続してもハイビジョン放送が受信できないとき

●M-Nコンバーターに設定すると、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の表示に戻すには、M-Nコンバーターとの接続をすべて外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」を元の表示に戻してください。

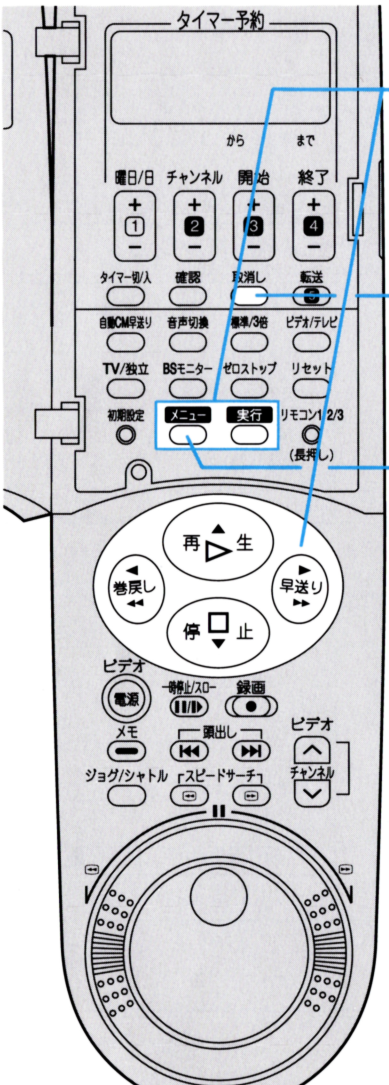
●ノイズ画面のときには、テレビ画面の表示が見えなくなることがあります。このときは取消しボタンを押すとそのチャンネルがとばされた状態になり表示が見えるようになります。
●手順2〜4のとき、▲または▼ボタンを押し続けると、10ずつ変わります。

マニュアルチャンネル設定（つづき）

■不要なチャンネルをとばす（削除）

不要なチャンネルはとばしておいてください

準備：●テレビに「マニュアルチャンネル設定」の画面を出す。（☞71）

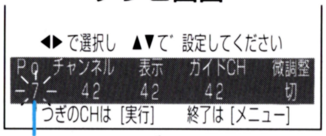


操作例：チャンネルポジション「7」をとばす場合

1 とばすチャンネルポジションを選ぶ

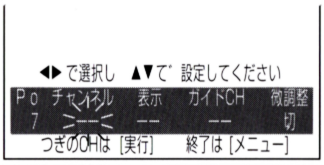
◀▶ボタンで「Po」を選び、▲▼ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。

テレビ画面



2 取消しボタンを押す

●受信・表示・ガイドチャンネルがすべて「ーー」表示になります。



3 メニューボタンを押す

■とばしたチャンネルポジションに放送局を登録するには
「マニュアルチャンネル設定」を行う（☞72）

■2つ以上のチャンネルをとばすには
手順1と2を繰り返す

メモ

■チャンネルポジションの表示について

「Po」はV/U・拡張チャンネルのときの表示です。BS・CATVチャンネルは「チャンネル」が、外部入力チャンネルは「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

■リモコンの予約チャンネルについて

リモコン予約を行うときに（☞38）、不要なチャンネルをとばして素早くチャンネルを合わせるために、リモコンの予約チャンネル（表示チャンネル）もとばしておくことをおすすめします。
（予約チャンネル表示設定、☞64）

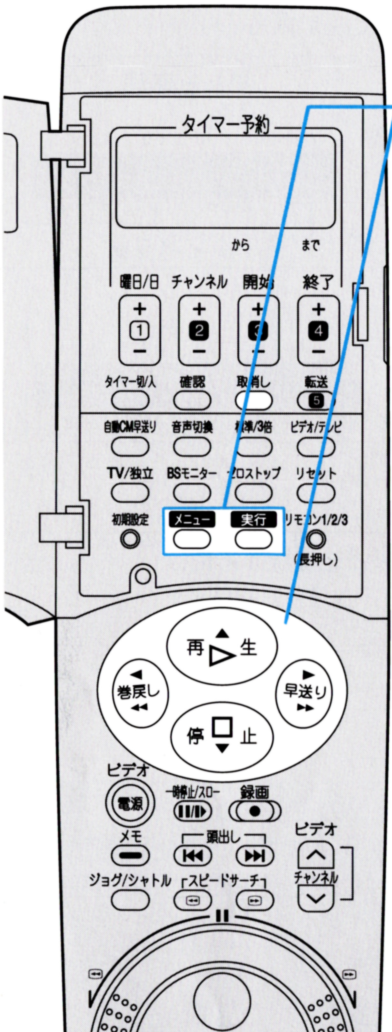
●M-Nコンバーターと接続すると（☞58、59）、外部入力チャンネル「L3」は自動的にとばされます。元の表示に戻すには、M-Nコンバーターとの接続をすべて外し、マニュアルチャンネル設定でとばされた「L3」を元の表示に戻してください。（☞72）

マニュアルチャンネル設定（つづき）

■微調整をする

ノイズがあるときや、色が付いていないときは、微調整を行うときれいに受信できる場合があります

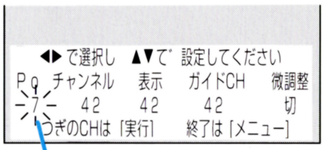
準備：●テレビに「マニュアルチャンネル設定」の画面を出す。（☞71）



操作例：チャンネルポジション「7」を微調整する場合

1 微調整するチャンネルポジションを選ぶ

◀▶ボタンで「Po」を選び、▲▼ボタンでチャンネルポジションを選ぶ。



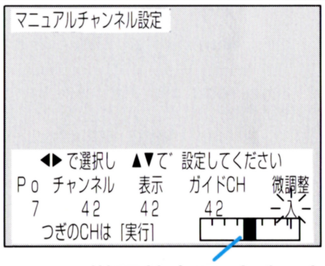
チャンネルポジション

2 「微調整　入」を選ぶ

◀▶ボタンで「微調整」を選び、▲▼ボタンで「微調整　入」を選ぶ。

●「微調整インジケーター表示（バー表示）」が出ます。

●「微調整　切」を選ぶと、「微調整インジケーター表示（バー表示）」は消えます。

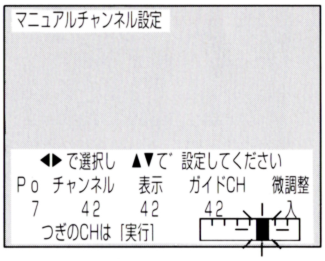


微調整表示（バー表示）

3 微調整する

◀▶ボタンで、「微調整インジケーター表示（バー表示）」を点滅させ、▲▼ボタンで微調整する。

●色が付いていないときは▲ボタンを押し、縞が出ているときは▼ボタンを押して調整してください。



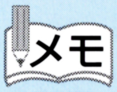
4 メニューボタンを押す

■元の状態に戻すには

手順2で、「微調整　切」を選ぶ

■2つ以上のチャンネルを微調整するには

手順1〜3を繰り返す



■チャンネルポジションの表示について

「Po」はV/U・拡張チャンネルのときの表示です。BS・CATVチャンネルは「チャンネル」が、外部入力チャンネルは「入力」がそれぞれチャンネルポジションを意味します。

●BSチャンネルは微調整できません。

●調整しすぎて画面表示が見えなくなったときは、取消しボタンを押してチャンネルをとばしたあと、再びチャンネルを登録し直してから（☞72）微調整を行ってください。

●電波の状態によっては、調整しきれない場合があります。

工場出荷時の設定に戻す

もう一度最初から設定し直したいときは、下記の操作で工場出荷時の設定に戻すことができます

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）

1 リモコン表示部に☎マークを出す

初期設定

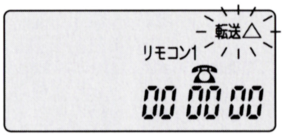
●初期設定ボタンを押す。

リモコン表示部

2 「000000」と入力する

10/0

●ふたを閉じ、「10/0」ボタンを6回押す。

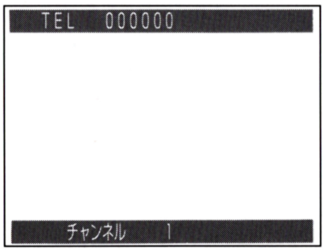


3 転送する

転送

●テレビ画面に「000000」が表示され、ビデオのチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

テレビ画面



4 リモコン表示部の☎マークを消す

初期設定

●初期設定ボタンを3回押す。

メモ

■工場出荷時の設定は

工場出荷時のビデオのチューナーは、下記のような状態に設定されています

●V/Uチャンネルについて
1～12チャンネルが受信できる状態。

●BSチャンネルについて
すべてのチャンネル（BS1～BS15チャンネル）が受信できる状態。

●CATVチャンネルについて
すべてのチャンネル（C13～C63チャンネル）がとばされた状態。

●外部入力チャンネルについて
すべてのチャンネル（L1～L3チャンネル）が受信できる状態。

●ガイドチャンネルについて
すべてのチャンネルが設定されていない状態。

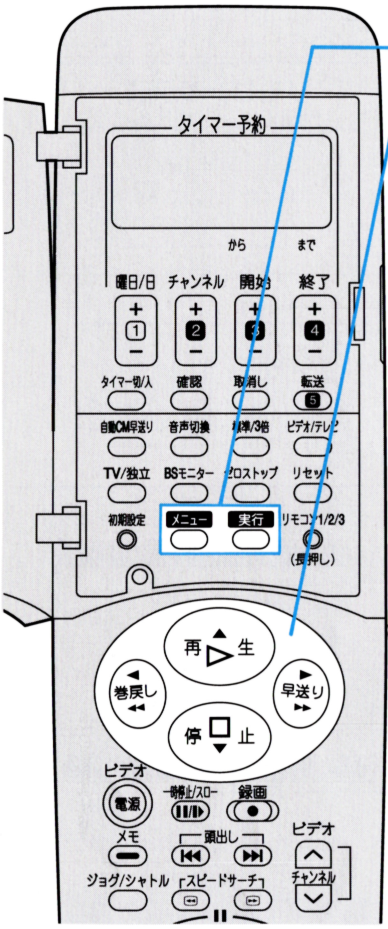
■CATVの受信について

CATVを受信する時は、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。
詳しくは、CATV会社にご相談ください。
●CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

オプション設定

オプション設定のしかた

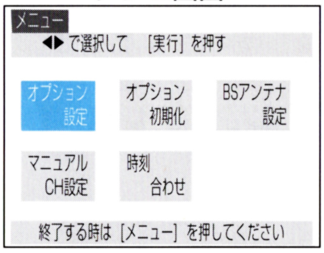
準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）



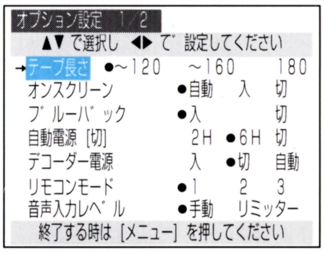
1 **「オプション設定」画面を出す**

●メニューボタンを押し、◀▶ボタンで「オプション設定」を選び実行ボタンを押す。

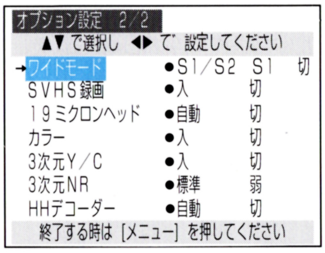
テレビ画面



2 **▲▼ボタンで設定する項目を選ぶ**



3 **◀▶ボタンで設定する**



4 **メニューボタンを押す**

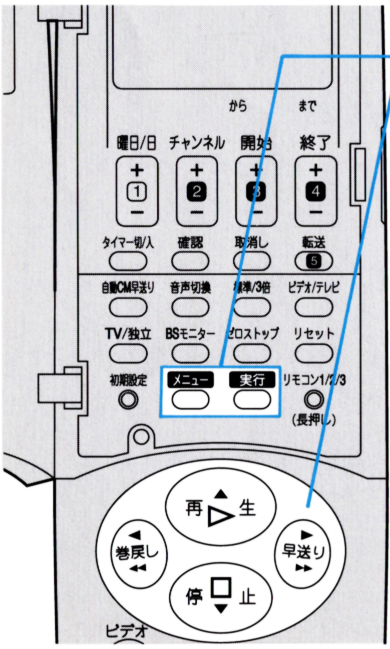
●メニュー画面が終わります。

オプション設定を初期化する

下記の操作を行うと、オプション設定の各項目を工場出荷時の設定に戻すことができます

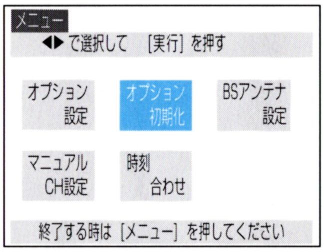
77ページのオプションメニューの表の●マークの付いている設定が、工場出荷時の設定です

準備：●テレビにビデオの画面を出す。（☞17）



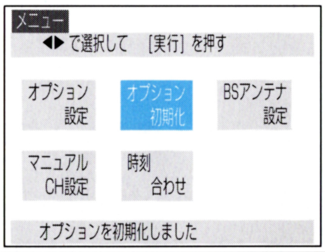
1 **「オプション初期化」を選ぶ**

●メニューボタンを押し、◀▶ボタンで「オプション初期化」を選ぶ。



2 **オプション設定を初期化する**

●実行ボタンを押す。



3 **メニューボタンを押す**

オプションメニュー

	項　目	選　択	工場出荷時の設定	各項目の内容	参照ページ
オプション設定画面（1画面）	テープ長さ	～120	●	T120、TC20（コンパクトカセット）や、それより短いテープ	27
		～160		T140、160、TC30（コンパクトカセット）	37
		180		T180	44
	オンスクリーン	自動	●	操作時にテレビ画面に表示を出し、約5秒後に自動的に消します	80
		入		画面表示を出したままにします	
		切		画面表示を出しません（ダビングなどで本機を再生側としてご使用になるときは、テレビ画面に文字などを出さないためにこの位置にしてください）	
	ブルーバック	入	●	未録画部分の再生中に、画面をブルー画面にします	－
		切		ブルー画面にしません	
	自動電源［切］	2H		本機をご使用中何も操作せずに放置すると、約2時間後に自動的に本機の電源を「切」にします	14
		6H	●	本機をご使用中何も操作せずに放置すると、約6時間後に自動的に本機の電源を「切」にします	
		切		自動電源［切］機能は働きません	
	デコーダー電源（※）	入		本機の電源の「入／切」に連動して、本機後面の電源出力コンセントからの電源の出力を「入／切」します	57 58 59
		切	●	本機の電源の「入／切」に関係なく、本機後面の電源出力コンセントからの電源の出力を「入」にしておきます	
		自動		BSデコーダー、またはM-Nコンバーターを接続するとき	
	リモコンモード	1	●	通常はこの位置	62
		2		2台の当社製ビデオを使用するとき（リモコンも「リモコン2」にする）	
		3		3台以上の当社製ビデオを使用するとき（リモコンも「リモコン3」にする）	
	音声入力レベル	手動	●	録音レベルつまみで録音レベルの調整ができます	33
		リミッター		録音レベルつまみが働かなくなり、適正な音量で録音されます	
オプション設定画面（2画面）	ワイドモード	S1/S2	●	S2端子対応ワイドテレビと接続するとき	－
		S1		S1端子対応ワイドテレビと接続するとき	
		切		S端子対応ワイドテレビと接続するとき	
	SVHS録画	入	●	S-VHS方式で録画するとき	49
		切		S-VHSのカセットに、VHS方式で録画するとき	
	19ミクロンヘッド	自動	●	3倍モード再生時も、より高画質で楽しめます（通常はこの位置）	－
		切		3倍モード再生時に、画面にノイズが出るとき	
	カラー	入	●	通常はこの位置	80
		切		白黒で録画してあるテープを再生するとき（オンスクリーン表示も出なくなります）	
	3次元Y/C	入	●	通常はこの位置	－
		切		動きの早い映像に起こる残像現象を軽減したいとき	
	3次元NR	標準	●	通常はこの位置（画面のノイズをおさえます）	－
		弱		映像の輪郭がぼやけるとき	
	HHデコーダー	自動	●	水平高画質化回路を働かせるとき（通常はこの位置）	－
		切		水平高画質化回路を働かせないとき	

メモ
※デコーダー電源の選択にかかわらず、本機後面のビットストリーム入力端子にテレビなどの外部BS機器からのビットストリーム信号が入力されたときは、本機の電源出力は「入」になります。

時計の合わせかた

ぴったり時計

本機の時計は工場出荷時に合わせてあり、約5年間は「バックアップ機能（停電対応電源）」が働いています
また、自動的に時計の誤差を修正する「自動時刻合わせ機能」がありますので、通常のご使用では時刻設定を行う必要はありません

●バックアップ機能（停電対応電源）とは

本機には停電対応電源電池が内蔵してあり、電源コンセントが接続されていない状態でも約5年間は時計が動き続けています。また、受信チャンネルの設定や、タイマー予約の内容も記憶されています。

●自動時刻合わせ機能とは

放送局（NHK教育テレビ）の時報を利用して、本機の時計の2分以内の誤差を自動的に修正しようとする機能です。7、12、19時に時報が放送され、それを正しく受信したときに働きます。

「自動時刻合わせ機能」が働くと、時計／残量ボタンを押したときに画面中央に大きく表示される時刻（時計コール）が“秒”まで表示されるようになります。

電源コードを抜いたときや停電があったときは、「自動時刻合わせ機能」がいったん解除され、次に電源コードを差し込んだときなどには、時刻表示が“分”までの表示になります。

テレビ画面

■時計表示が右のように「0：00」で点滅しているときや、誤差が2分以上あるときは、必ず時刻設定を行ってください

（時計が合っていないと、タイマー予約録画が正しく行われません）

本体表示部

お願い

次のようなときは、「自動時刻合わせ機能」は働きませんのでご注意ください

- ●「自動時刻チャンネル」が正しく設定されていないとき。
- ●時報の放送される時刻に本機の電源が「入」になっているとき。
- ●誤差が2分以上あるとき。
- ●時報が放送されていないとき。
- ●時報のバックに音楽が流れているとき。
- ●「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。

メモ

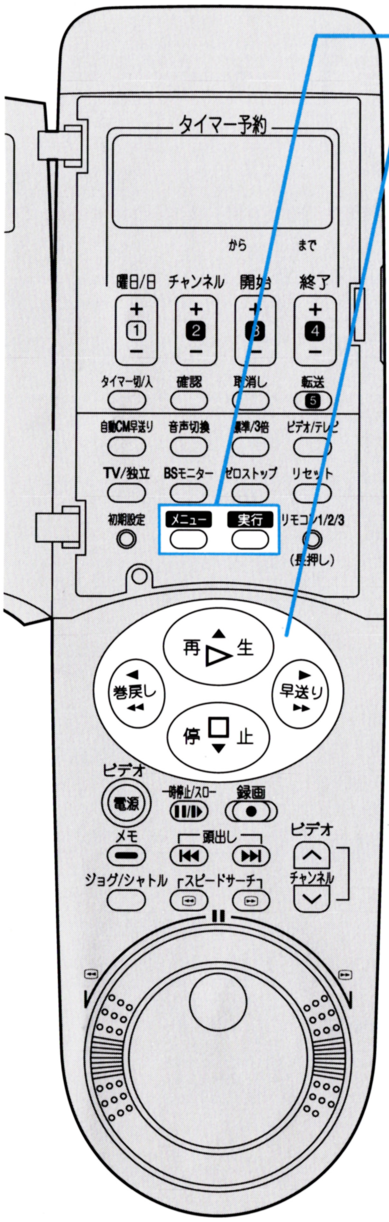
「自動時刻チャンネル」とは

- ●「自動時刻合わせ機能」を働かせるために合わせるチャンネルです。必ず「NHK教育テレビ」に合わせておいてください。
（「――」にすると、「自動時刻合わせ機能」が働かなくなります）
- ●「自動時刻合わせ機能」が正常に働いていないときは、「自動時刻チャンネル」が「NHK教育テレビ」になっていないことが考えられます。時刻設定の画面で「自動時刻チャンネル」の表示を確認し、「NHK教育テレビ」に合わせてください。

時刻合わせ

準備：●テレビにビデオの画面を出す。(☞17)

操作例：1997年4月18日、16時10分に合わせる場合。
（「NHK教育テレビ」の表示チャンネルが「3」のとき）



1 時刻合わせの画面にする
メニューボタンを押し、◀▶ボタンで「時刻合わせ」を選び実行ボタンを押す。

オプション設定　オプション初期化　BSアンテナ設定
マニュアルCH設定　時刻合わせ
終了する時は［メニュー］を押してください

2 「時」を合わせる
◀▶ボタンで「時」を選び、▲▼ボタンで合わせる。

16時00分
自動時刻チャンネル　自動
終了する時は［メニュー］を押してください

3 「分」を合わせる
◀▶ボタンで「分」を選び、▲▼ボタンで合わせる。

16時10分
自動時刻チャンネル　自動
終了する時は［メニュー］を押してください

4 「自動時刻チャンネル」を合わせる
◀▶ボタンで「自動時刻チャンネル」を選び、▲▼ボタンで合わせる。

2000年　1月　1日［土］
16時10分
自動時刻チャンネル　3
終了する時は［メニュー］を押してください

5 「年」を合わせる
◀▶ボタンで「年」を選び、▲▼ボタンで合わせる。

時刻合わせ
◀▶で選択して▲▼で設定してください
1997年　1月　1日［水］
16時10分

6 「月」を合わせる
◀▶ボタンで「月」を選び、▲▼ボタンで合わせる。

時刻合わせ
◀▶で選択して▲▼で設定してください
1997年　4月　1日［火］
16時10分

7 「日」を合わせる
◀▶ボタンで「日」を選び、▲▼ボタンで合わせる。

時刻合わせ
◀▶で選択して▲▼で設定してください
1997年　4月18日［金］
16時10分

8 メニューボタンを押す
●時計が動き始めます。

メモ

「時」について
●24時間表示です。

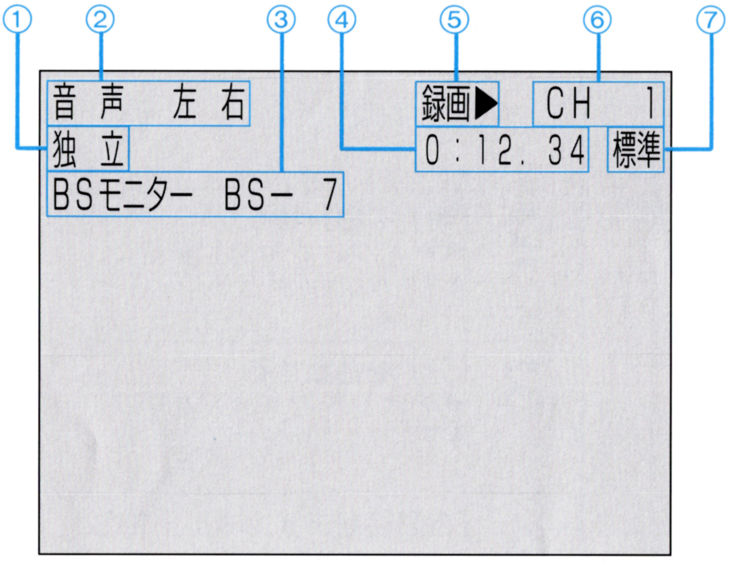
「自動時刻チャンネル」について
●受信設定されたV/Uチャンネルを、チャンネルポジションの順番で表示します。
（とばされているチャンネルは表示されません）
●「自動時刻チャンネル」を「自動」にしておくと、「NHK教育テレビ」を自動的に探し出し、そのチャンネルを記憶します。（ただし、ご使用になる地域によっては、探し出すまでに数週間かかる場合もありますので、「自動時刻チャンネル」はあらかじめ「NHK教育テレビ」に合わせておくことをおすすめします）

「年」について
●1988～2087年まで設定できます。

画面表示

オンスクリーン表示

本機にはオンスクリーン表示機能があり、本機の操作をしたときに、テレビ画面上に操作内容やビデオの状態などの情報を表示します（下記は、表示の一例です）



① **BS音声／デコーダー表示**
TV／独立ボタンでBSの音声を選んだときに「独立」と表示
スクランブル放送を受信したときに「デコーダー」と表示

② **音声表示／自動CM早送り表示**
ステレオ放送や二重放送を受信したときに、「ステレオ」または「二重」と表示
音声切換ボタンで音声を選んだときに、「左　右」などを表示
自動CM早送り機能を「入／切」したときに、「自動CM早送り入／切」を表示

③ **BSモニター表示**
地上放送を録画中にBSモニターボタンを押してBSを見るときに表示

④ **時刻／カウンター／残量表示**
時計／残量ボタンを押したときなどに、時刻・カウンター・テープ残量を表示

⑤ **ビデオモード表示**
テープの動作をしたときに表示
●カセットが入っているときは、停止状態のときに [カセットマーク] が表示されます。

⑥ **チャンネル表示**
チャンネルを切り換えたときや録画をしたときに表示

⑦ **テープ速度表示**
再生や録画時、または残量表示時の録画時間（標準／3倍）を表示

メモ

●静止画・スロー再生中は、オンスクリーン表示は出ません。
●オプション設定の「カラー」が「切」のときは、オンスクリーン表示は出ません。（☞76）

■オプション設定の「オンスクリーン」の設定について**（☞76）**

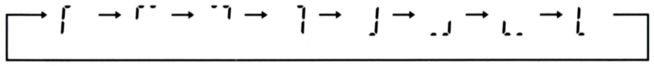
自動： 操作時などにテレビ画面に表示を出し、約5秒後に自動的に表示を消します。
入： 画面表示を出したままにします。
切： 画面表示を出しません。
ダビングなどで本機を再生側としてご使用になるときは、画面に表示を出さないためにこの位置にしてください。

困ったとき!?

下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または「お客様ご相談センター」(☞86)にお問い合わせください

	こんなときは	ここをお確かめください
電源	電源が入らない	**●電源プラグがコンセントから外れていませんか?**
	電源が入っているのにビデオの操作ができない	**●「予約」表示が点灯している。** →タイマー切/入ボタンを押し、「予約」表示を消す。 **●本体表示部に「d」が点滅し、「U10」が表示されている。**(露付きが起こっています) →「d」、「U10」が消えるまで(長くても数時間)、待ってください。 **●各種安全装置が働いている。** →電源プラグをコンセントから外し、約1分後、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください。
	電源が切れた	**●自動電源[切]が働いています。**(☞14) **●各種安全装置が働いていることがあります。** →もう一度、電源ボタンを押してください。
カセット	カセットが入らない	**●電源プラグがコンセントから外れていませんか?** **●カセットのテープが見える方を上にして入れていますか?** **●すでにカセットが入っている。**(▭表示が出ています) →取出しボタンを押し、カセットを取り出す。
	カセットが取り出せない	**●予約録画の待機中または予約録画中になっている。**(「予約」表示が点灯) →タイマー切/入ボタンを押し、「予約」表示を消したあと、取出しボタンを押す。 **●録画中になっている。** →停止ボタンを押したあと、取出しボタンを押す。 **●本機前面の扉を閉じたままリモコンで取り出そうとしたとき。** (本体表示部に「F06」と表示され、操作できなくなります) →本機前面の扉を開き、本体の電源ボタンを押して本機の電源を「入」にすると、ビデオが通常の状態に戻り、カセットの取り出しもできるようになる場合があります。それでも「F06」の表示が消えずに通常の操作ができない場合は、故障と思われますので、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。
テレビ画面	テレビに画像が出ない	→テレビにビデオの画面を出す。(☞17)
	テレビの映りが悪い	**●テレビの電波が弱い。** →アンテナの向きを調整する。 →市販のアンテナブースターなどを使用する。 **●RFアダプター(別売)を使って接続している場合** →テレビ側のビデオ専用チャンネル(1または2)を正しく調整する。
再生	テレビに再生画像が出ない	→テレビにビデオの画面を出す。(☞17)
	再生画像がチラチラする	**●ビデオヘッドがよごれている。** →別売のクリーニングカセット(NV-TCLV)でクリーニングする。 **●ビデオヘッドが摩耗している。** →ビデオヘッドの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。 **●テープが古くなっていませんか?**
	再生画像が上下に揺れる	→テレビの垂直同期を調整する。
	静止画再生画像が上下に揺れる	→本機の垂直同期調整をする。(☞28)(調整しきれない場合があります)
	音声多重放送が正しく再生されない	**●正しい音声を選んでいない。** →音声切換ボタンを押し、正しい音声を選ぶ。

	こんなときは	ここをお確かめください
再生（つづき）	静止画／スロー再生画面にノイズ（白い線）が出る	**●出る場合があります。** →スロー再生にしてから本体のチャンネルボタンの∨または∧ボタンを押し、トラッキングを調整する。（調整しきれない場合があります）
	早送り／巻戻し／静止画／スロー再生を続けたいが、自動的に解除された	**●早送り／巻戻し／静止画／スロー再生は、約5分で解除されます。** （テープとヘッドの保護のためです）
録画	録画ができない	**●カセットの“つめ”が折れている。**
	テレビ番組の録画ができない	**●録画したい番組（チャンネル）を選んでいない。** →チャンネルボタンで録画したいチャンネルを選ぶ。
	S-VHS方式で録画できない	**●S-VHSマークの付いたカセットを入れていない。** →S-VHSマークの付いたカセットを入れる。 **●オプション設定で「SVHS録画」を「入」にしていない。** →「S-VHS録画」を「入」にする。（☞76）
タイマー予約録画	タイマー予約録画が正しくできない	**●タイマー予約の設定（開始時刻や終了時刻の設定など）が正しくない。** →もう一度手順通り正しくやり直す。（タイマー予約内容を確認してください） **●「予約」表示が点灯していない。** →タイマー切／入ボタンを押し、「予約」表示を点灯させる。 **●タイマー予約の時間帯が重なっている。** **●時計は合っていますか？**
	タイマー予約録画中に本機の電源が切れた	**●テープが終端になると、電源が「切」になります。** →タイマー予約録画をするときは、タイマー予約する時間より余裕のあるカセットを入れておく。
	タイマー予約録画が終了しても、タイマー予約内容が消えない	**●毎日予約・毎週予約の場合は消えません。** →本機でできるタイマー予約は8つまでです。不要なものは取り消しておいてください。
	カセットの取り出しができない	**●「予約」表示が点灯している。** →タイマー切／入ボタンを押し、「予約」表示を消したあと、取出しボタンを押す。
	Gコード予約ができない	**●ガイドチャンネルが正しく設定されていない。** →ガイドチャンネルを正しく設定する。（☞65） **●時計が合っていない。** →時刻合わせを行う（☞78、79） **●複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。** →不要なチャンネルをとばす。（☞73）
BS（衛星放送）	「市外局番入力チャンネル設定」を行ったが、BS放送がとばされている	**●BSアンテナが接続されていない。** →BSアンテナを正しく接続する。（☞55） **●BS電源の設定が正しくない。** →BS電源を正しく設定する。（☞56）
	映像も音声も出ない	**●正しく接続していますか？** **●BSデコーダーの電源は「入」になっていますか？** **●衛星の「食」になっている。**（☞34） →放送が開始されるまでお待ちください。

	こんなときは	ここをお確かめください
BS（衛星放送）（つづき）	映像の映りが悪い、または音声にノイズが出る	●BSアンテナの向きは正しいですか？ ●BSアンテナ線が劣化している。 →詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。 ●BSアンテナに積雪していませんか？ ●豪雪、豪雨、雷雲などで電波が減衰している。 ●強風でBSアンテナが揺れている。 →気象条件による一時的なものは、故障ではありません。
	テレビの音声が出ない（Aモード受信時）	●TV／独立ボタンで独立音声を選んでいる。 →テレビ音声に切り換える。（☞34）
	JSB放送が映らない	●BSデコーダーとの接続は正しいですか？ （JSB放送を見るには、BSデコーダーが必要です） ●デコーダー設定が「切」になっていませんか？
	ハイビジョン放送が映らない	●M-Nコンバーターとの接続は正しいですか？ （ハイビジョン放送を見るには、M-Nコンバーターが必要です） ●BSチャンネルの設定の際、ハイビジョン放送のチャンネルの「BSシステム」が、「デコーダー自動」または「M-Nコンバーター」になっていますか？
音声	Hi-Fi（ステレオ）音声がプツプツ聞こえる	●再生するテープに傷などが付いている。 ●トラッキングがずれている。 →トラッキング調整をする。（☞28）
	再生される音声がHi-Fi（ステレオ）でない	●音声表示の「左」と「右」が点灯していない。 →音声切換ボタンを押し、「左」と「右」を点灯させる。 ●RFアダプター（別売）を使って接続している場合は、音声はモノラルになります。
	音声多重放送時に日本語と外国語が同時に聞こえる	●音声切換ボタンで音声を選んでください。
	Hi-Fi（ステレオ）音声とノーマル音声が混ざって聞こえる	●音声表示の「左」と「右」が点滅している。 →音声切換ボタンで音声を選んでください。
接続	ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなった	●電波をテレビとビデオに分けたためです。 →市販のアンテナブースターなどを使用すると改善されます。 （効果が少ないときは、お買い上げの販売店にご相談ください）
編集	テープに黒い帯状のノイズが録画された	●再生側のビデオをテレビから離す。
	編集できない	●正しく接続していますか？ ●外部入力チャンネル「L1」「L2」または「L3」を選んでいますか？
表示	テープカウンター表示が動かない	●テープの未録画部分では動きません。秒表示が以下のように変わります。 
その他	クローズド・キャプション・デコーダー（別売）が正しく働かない	●本機のTBC切／入スイッチを「入」にしていると、クローズド・キャプション・デコーダー（別売）が正しく働かない場合があります。 →TBC切／入スイッチを「切」にする。

リモコンが働かないとき

リモコンの操作が正常にできない場合は、この表を参考にして設定などをご確認ください

こんなときは	ここをお確かめください
リモコンが働かない	**●ビデオとリモコンモードが合っていますか？** →ビデオ本体がリモコンモード「1」に設定されているときは、リモコンを「リモコン1」にする。(☞62) **●タイマー予約録画の待機中になっていませんか？** →タイマー切／入ボタンを押し、「予約」表示を消す。(☞42) **●電池は消耗していませんか？** →新しい電池と交換してください。 (リモコン表示部は点灯していても、操作できない場合があります) **●リモコンを正しくビデオに向けていますか？** →ビデオ本体のリモコン受信部に向けて操作する。(☞61) **●リモコンとビデオ本体の間に障害物がありませんか？** →障害物を取り除く。
テレビの操作ができない	**●リモコンのテレビメーカー設定は合っていますか？** →正しい番号に合わせる。(☞63) **●メーカーや機種により、操作できない場合もあります。**

自己診断表示機能

本機は自己診断表示機能を持っています

■本機を設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示部に下記の表示（サービス番号）を自動的に表示します。

この表示は、「H01」のように、英文字と2桁の数字で表示されます。
修理を依頼されるときは、この表示をお知らせください。

本体表示部

表示記号	本機の状態	対応のしかた
U10	露付きが起こっています。	表示が消えるまでお待ちください。
U11	ビデオヘッドがよごれています。	ビデオヘッドをクリーニングしてください。(☞2)
U30	リモコンモードが違います。	リモコンモードを合わせてください。(☞62)
U50	BSアンテナケーブルがショートしています。	本機が自動でBSアンテナ電源を「切」にします。BSアンテナケーブルがショートしていないことを確認し、正しく接続し直したあと、BSアンテナ電源を再設定してください。(☞55、56)
H□□ F□□	異常と思われます。 (H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)	修理を依頼されるときに、本体表示部の表示（サービス番号）をお知らせください。 (たとえば、「H01」と表示しているときは、「サービス番号、H01」とお知らせください)

お願い

●本機が異常な動作をするときは、電源コンセントを抜いてください。
●本機は、ほとんどの操作をリモコンで行いますので、修理の際は、本機のリモコンもサービスマンにお渡しください。

Q&A

本機の操作で疑問に思われることがあったときは、この表を参考にしてください

	Q（問）	A（答）
カセット	コンパクトカセット（S-VHS-CまたはVHS-C）を使って録画・再生できるか？	●別売のカセットアダプター（VW-TCA7）を使用するとできます。
再生	海外で録画したテープを本機で再生できるか？	●同じNTSC方式で標準（SP）、3倍（SLP/EP）で録画されたものはできます。
録画	音声多重放送を録画中に音声を切り換えてモニターできるか？	●できます。 →音声切換ボタンで選ぶ。（録画している音声には影響はありません）
録画	ステレオ放送の片側のチャンネルだけ（二カ国語放送の主音声だけ）を録音できるか？	●できません。 →再生するときに、音声切換ボタンで選んでください。
録画	地上放送を録画中に、BS（衛星放送）を見れるか？	●見れます。 →BSモニターボタンを押し、ビデオチャンネルボタンでBSチャンネルを選んでください。 （BSの録画中に、他のBSチャンネルは見れません）
タイマー予約録画	タイマー予約録画は予約した順番に行われるのか？	●日付、時間順に行われます。
タイマー予約録画	タイマー予約録画が始まるまでの間、他のテープを見れるか？	●タイマー予約録画を解除しないとできません。 →タイマー切／入ボタンを押し、「予約」表示を消してから操作する。
タイマー予約録画	タイマー予約録画の待機中に、カセットの出し入れはできるか？	
タイマー予約録画	テレビの電源は「入」にしておくのか？	●テレビは「入」「切」どちらでもかまいません。
接続	テレビの音声入力端子がモノラルの場合の接続コードは？	●別売の映像・音声コード（RP-CV16A）で接続します。
接続	接続コードが色分けされているのは？	●端子の色を合わせるだけで正しく接続できます。 黄=映像用　白=左の音声用 黒または白=モノラルタイプの音声用　赤=右の音声用
表示	本体表示部に「ビデオ」と出るのは何か？	●RFアダプター（別売）で接続しているときに、テレビにビデオの画面を出せる状態になっていることを示しています。 →再生などをすると表示します。
表示	本体表示部の時計表示が「0：00」で点滅しているが？	●時計が合っていません。 →時刻合わせを行う（☞78、79）
CATV	CATV放送はすべて受信できるのか？	●CATVを受信する時は、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。 →詳しくは、CATV会社にご相談ください。 ・CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！

●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼されるとき

81～84ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示部に「サービス番号」(☞84)が表示されている場合はその番号を確認し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談センター

0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）

年中無休／受付9時～20時

International Customer Care Center
海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）についてのご相談は....

TOKYO ☎ (03)3256-5444
AKIHABARA 秋葉原
1-8-1 Sotokanda Chiyoda-ku Tokyo

OSAKA ☎ (06)645-8787
NIPPOMBASHI 日本橋
4-10-2 Nippombashi Naniwa-ku Osaka

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0696

修理ご相談窓口

北海道地区

地区	電話	住所
札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎(0166)31-6151	旭川市2条通21丁目左1号
帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西19条南1丁目7-11
函館	☎(0138)53-7107	函館市山の手1丁目1-15

東北地区

地区	電話	住所
青森	☎(0177)39-9712	青森市大字八ツ役字矢作1-37
秋田	☎(0188)26-1600	秋田市御所野湯本2丁目1-2
岩手	☎(0196)39-5120	盛岡市羽場13地割30-3
宮城	☎(022)375-2512	仙台市泉区市名坂字清水端59-2
山形	☎(0236)41-8100	山形市流通センター3丁目12-2
福島	☎(0243)34-1309	福島県安達郡本宮町字南ノ内65

首都圏地区

地区	電話	住所
栃木	☎(028)632-8450	宇都宮市中央1丁目8-13
群馬	☎(0273)52-1217	高崎市萩原町沖中205-18
両毛	☎(0276)25-6870	太田市東新町244-1
水戸	☎(029)225-0119	水戸市柳河町309-2
つくば	☎(0298)55-7860	つくば市梅園2丁目1-13
埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎(043)251-3537	千葉市稲毛区園生町369-1
船橋	☎(0473)34-5111	船橋市本中山6丁目11-7
柏	☎(0471)63-8905	柏市北柏1丁目7-6
東京	☎(03)5477-9780	東京都世田谷区経堂5丁目26-8
山梨	☎(0552)22-5171	甲府市下飯田2丁目1-27
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎(025)286-0171	新潟市東明1丁目8-14
佐渡	☎(0259)23-2898	両津市秋津字境108-1
長岡	☎(0258)28-2111	長岡市寺島町308-12
上越	☎(0255)44-6871	上越市大字藤野新田字大割353-3

中部地区

地区	電話	住所
石川	☎(0762)94-2683	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
富山	☎(0764)32-8705	富山市寺島1298
福井	☎(0776)54-5606	福井市開発4丁目112
長野	☎(0263)58-0073	松本市大字笹賀7600-7
静岡	☎(054)287-9000	静岡市西島765
愛知	☎(052)614-3136	名古屋市南区西又兵衛町3-48
岐阜	☎(058)323-6010	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
高山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三重	☎(0592)55-1380	久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

地区	電話	住所
滋賀	☎(0775)82-5021	守山市勝部町260
京都	☎(075)672-9636	京都市南区上鳥羽石橋町20-1
大阪	☎(06)359-6225	大阪市北区本庄西1丁目1-7
奈良	☎(07435)9-2770	大和郡山市椎木町404-2
和歌山	☎(0734)75-1311	和歌山市中島499-1
兵庫	☎(078)272-6645	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

中国地区

地区	電話	住所
鳥取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎(0852)23-1128	松江市西津田2丁目10-19
出雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎(086)292-1162	岡山県都窪郡早島町矢尾807
広島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音8丁目13-20
山口	☎(0839)89-4445	山口市大字佐山1120-1

四国地区

地区	電話	住所
香川	☎(0878)74-6200	香川県綾歌郡国分寺町新名663-1
徳島	☎(0886)98-1125	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
高知	☎(0888)66-3142	南国市岡豊町中島331-1
愛媛	☎(089)971-2144	松山市土居田町750-2

九州地区

地区	電話	住所
福岡	☎(092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎(0952)26-9151	佐賀市本庄町大字本庄896-2
長崎	☎(0958)30-1658	長崎市東町1949-1
大分	☎(0975)56-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎(0985)85-6530	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
熊本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天草	☎(0969)22-3125	本渡市港町18-11
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目7-36
大島	☎(0997)53-5101	名瀬市矢之脇町10-15

沖縄地区

地区	電話	住所
沖縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

定格

電源	AC100V±10%, 50/60 Hz±0.5%
消費電力	27W（電源「切」の時、約6.5W）

録画方式	S-VHS規格	
テープ速度	33.35㎜/秒（標準）、11.12㎜/秒（3倍）	
使用テープ	S-VHS/VHSビデオカセット	
録画時間	最大9時間（ST-180使用の場合）	
早送り・巻戻し時間	約2分20秒（ST-120使用の場合）	
テレビジョン方式	NTSC方式 525本 60フィールド	
受信チャンネル	VHF	1～12チャンネル
	UHF	13～62チャンネル
	BS	1・3・5・7・9・11・13・15チャンネル
	CATV	C13～C63チャンネル
映像		
入出力	1.0 Vp-p	75Ω（ピンジャック）
S映像入出力端子	Y/1 Vp-p	75Ω
（セパレートYC信号端子）	C/0.286Vp-p	75Ω
音声		
ライン入力	309mV	47kΩ（ピンジャック）
マイク入力	−70dB	適合マイク
	600Ω以下	（ミニジャック）
ライン出力	309mV	1kΩ（ピンジャック）
	負荷インピーダンス　10kΩ	
ヘッドホン出力	8Ω以上	（ミニジャック）
トラック数	3トラック	（ハイファイ2トラック ノーマル　1トラック）

BS		
検波入出力	0.67Vp-p	75Ω（ピンジャック）
ビットストリーム入出力	0.5Vp-p	75Ω（ピンジャック）
ハイファイ音声特性	ダイナミックレンジ　90dB以上	
	周波数特性　20Hz～20kHz	
	ワウフラッター　0.005%以下	
VHF/UHF一軸アンテナ入力	75Ω	
BS入力端子	アンテナ入力　75Ω	
	BSアンテナ用電源出力（DC15V、最大4W）	
RF出力	—（RFアダプター端子対応）	
外形寸法	幅430×高さ108.5×奥行328㎜	
本体質量	約5.7㎏	
許容周囲温度	5℃～40℃	
許容相対湿度	35%～80%	
時計部	クォーツ制御24時間デジタル表示	

「Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。」

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This video tape recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検	**長年ご使用のビデオの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時計表示などに異常がある
- テープをいためた
- その他の異常や故障がある

以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い上げの販売店に点検をご相談ください。
- ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

便利メモ●おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年　月　日	**品　番**	NV-SB800W
販売店名	電話（　）　―	**お客様ご相談窓口**	電話（　）　―

松下電器産業株式会社

ビデオ事業部
〒571　大阪府門真市松生町1番15号

ビデオシステム事業部
〒571　大阪府門真市松葉町2番15号

VQT6778
F0896P1086-3000 Ⓓ